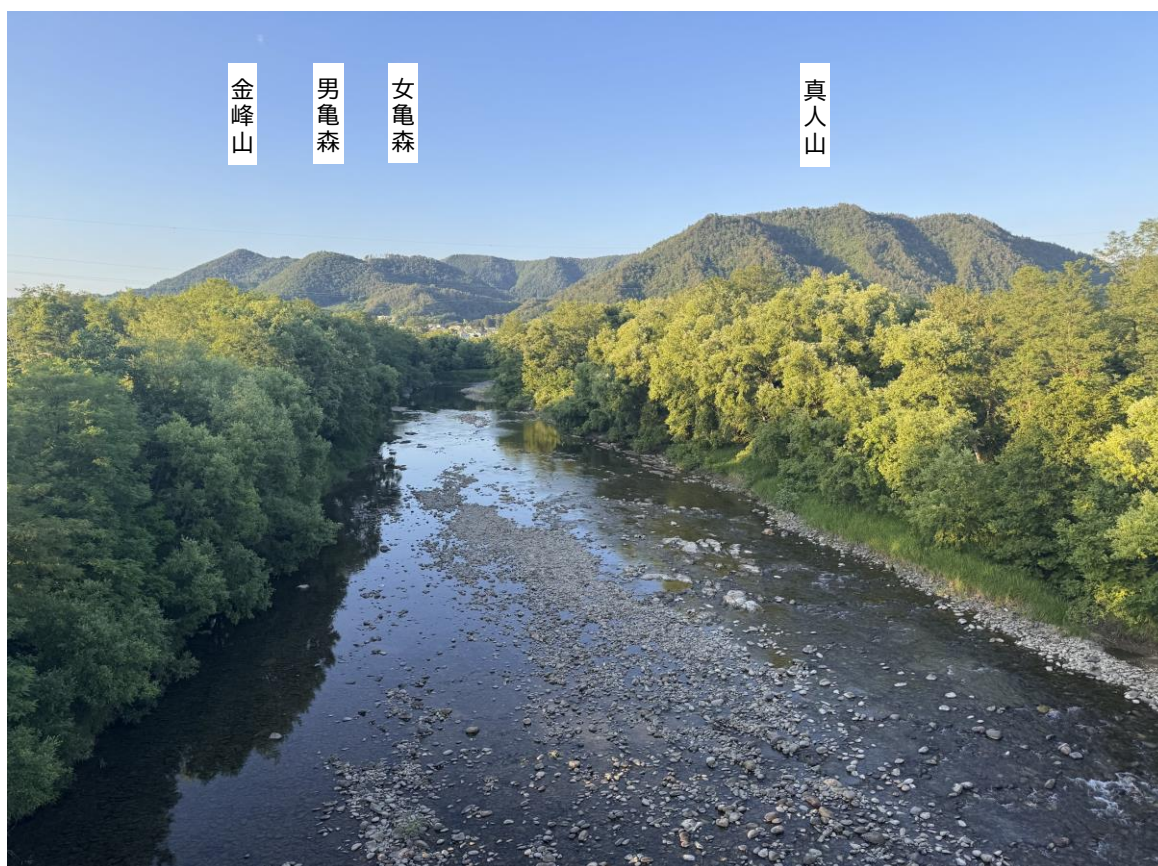


消防年報



りんご三山と成瀬川の風景

横手市消防本部
令和8年(2026)刊行



りんご三山と成瀬川の風景

【表紙写真説明】

横手盆地は秋田県の内陸南部に位置し、奥羽山脈と出羽山地に囲まれ、雄物川とその支流が流れる県内最大の平地です。平鹿平野とも呼ばれ県内有数の穀倉地帯でもあり、「あきたこまち」や「サキホコレ」などの米の生産が盛んに行われています。

奥羽山脈より流れ出る成瀬川は、約10,000haにも及ぶ平鹿平野を潤すかんがい用水の源であり、横手市のみならず湯沢市や大仙市にもその清らかな水を供給しております。現在、上流部では「洪水防止」、「川の流量の安定」、「水道・農業用水の安定確保」及び「水力発電」を目的とした成瀬ダムの建設が、2027年度の完成を目指し進められております。

また、平鹿地域から増田地域にかけて連なる丘陵地は、りんごをはじめとした果樹栽培が盛んに行われており、なかでも、最高峰の金峰山、ふたコブピークの男亀森と女亀森、お椀を伏せたような半円形の真人山は、麓に広がるりんご園にちなんで「りんご三山」とも呼ばれております。

目 次

はしがき

横手市章	
横手市消防本部一目統計	
横手市の特性	1
消防の沿革	2
管内状況	10
横手市の位置	11

総務編

消防庁舎配置図	12
消防庁舎所在地一覧	13
消防組織図	14
消防本部事務分掌表	15
消防署事務分掌表	17
分署事務分掌表	18
職員配置状況、職員勤続年数	19
職員階級別年齢表	20
職員研修状況	21
職員の資格、免許等取得状況	22
年度別一般会計予算	23
令和8年度予算分類表	24
歴代消防長一覧表	25
歴代次長一覧表	26
歴代署長一覧表	27
消防相互応援協定等締結状況	28

予防編

防火対象物の現況	29
用途別中高層建築物の現況	30
用途別消防用設備等の設置状況	31
用途別消防用設備等 点検結果報告件数	32
用途別立入検査状況	33
建築同意等事務処理件数	34
防火管理者選任状況	35
地域別危険物施設数	36
危険物施設検査状況、 危険物手数料徴収状況	37

幼年消防クラブ

火災予防組合結成状況	38
過去5年間の火災概況	39
過去5年間の火災原因	40
過去5年間の主なる火災	41

警防編

車両配置状況	42
消防車両等一覧表	43
気象統計、月別平均風速 と最大風速	45
過去5年間の1日最多降雪量、 最深積雪、気温の推移	46
救助概況	47
救助器具保有一覧	48

指令編

指令設備	49
指令システム系統図	55
消防デジタル無線 システム概略図	56
119番通報受付状況、 119番発信種別の比較	57

救急編

救急業務の推移	58
救急業務の実施状況	59
住民に対する応急手当の 普及状況	65

消防団編

横手市消防団概況、報酬	66
歴代消防団長一覧表	67
支部訓練大会種目別成績表	68

災害記録編

災害年表	69
------	----

は し が き

この消防年報は、主に令和7年中における消防諸般の統計及び令和8年4月1日現在の管内の消防現況を収録し、災害や消防活動の現状を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

この年報により、市消防行政へのご理解とより一層のご指導をいただければ幸いに存じます。

令和8年9月

横 手 市 消 防 本 部

市章（シンボルマークとシンボルカラー）

● シンボルマーク

横手市の「よ」と平鹿郡の「ひ」と横手市の頭文字「Y」をモチーフにデザインし、実り、田園、清流を象徴する配色としました。
さわやかで元気な人々のまち「豊かな自然・豊かな心・夢あふれる田園都市」をイメージしています。



● シンボルカラー

横手市を象徴する3色のシンボルカラーです。色名についても、横手平鹿地方にちなんだ独自の名称を設定しています。

横手美の里色[よこてみのりいろ]

一面の稲穂、色付きはじめた四季の果実などの「みのり」から、連想されるオレンジ色に、豊かで美しい里への思いを込めて命名した横手市のシンボルカラー。



横手萌木色[よこてもえぎいろ]

春から初夏の横手盆地を彩る、生命力溢れる若々しい稲や木々から連想される生命と活力、未来への実りと希望を象徴し、命名した横手市のシンボルカラー。



横手花浅葱色[よこてはなあさぎいろ]

横手の清流と、そこから連想される初夏の青系の花を表す花色と、生命力溢れる葱の碧（あお・みどり）に由来する古典的な花色である花浅葱色に、ふるさとの清々しい環境と活力を象徴し、命名した横手市のシンボルカラー。



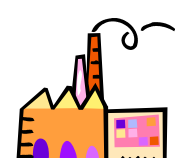
横手市消防本部一目統計

面積・人口・世帯・気象	面積	人口	世帯数	気象
	692.80km ² 	78,175 人 男 37,135 人 女 41,040 人 (令和8年3月末) 	33,499 世帯 (令和8年3月末) 	年平均気温 12.6℃ 年間降水量 1,700 mm (令和7年中) 

予算・機構・人事	消防費	職員数	消防本部・消防署・分署	人員配置
	令和8年度当初 23 億 4104 万円 	定数 190 人 実員 180 人 (令和8年4月1日) 	消防本部 1 消防署 1 分署 4 	消防本部 29 人 消防署 41 人 南分署 36 人 西分署 36 人 平鹿分署 24 人 山内分署 14 人 計 180 人

車両	消防ポンプ車	特殊車両	救急車	その他
	ポンプ車 5 台 タンク車 4 台 予備消防車 2 台 	はしご車(35m) 1 台 救助工作車(Ⅱ) 1 台 化学車(Ⅲ) 1 台 	高規格車 7 台 予備高規格車 1 台 	指揮車 2 台 査察車 1 台 資器材搬送車 2 台 連絡車 1 台 広報車 6 台 予備広報車 1 台 

消防団・施設	消防団員数	地域別消防団員数(実員)・ポンプ数					消防水利
	定数 2,200 人 実員 1,885 人 (令和8年4月1日) 	地域	人員	小型	自動車	積載車	(私設、基準外含む)
		横手	303 人	15		14	消火栓 1,587
		増田	178 人	15		6	防火水槽 1,114
		平鹿	296 人			19	プール 9
		雄物川	310 人	24	1	10	
		大森	157 人	11	1	12	
		十文字	403 人	33	2	3	
		山内	110 人			11	
		大雄	128 人	3		9	

予防	防火対象物数	危険物施設数	立入検査数	消防同意数
	3,773 (令和8年3月31日) 	409 (令和8年3月31日)	防火対象物 397 危険物施設 157 (令和7年度) 	防火対象物 56 一般建築物 35 (令和7年度) 

横手市の特性

1. 自然的特性

本市は、秋田県の内陸南部に位置しており、東の奥羽山脈と西の出羽丘陵に囲まれた東西約45.4km、南北35.2kmに広がっている。東北地方有数の広さを持つ横手盆地は、古くから稲作が盛んであり、今も日本を代表する穀倉地帯となっている。気候は四季の移り変わりがはっきりしており、日照時間が少なく、統計的にも肌の白い女性が多いため、秋田美人として全国的に知られている。また、全国有数の豪雪地帯で、伝統的な冬の祭り「かまくら」も有名である。

2. 社会的特性

本地域は、石器時代から人が住み集落を形成した遺跡が今でも随所に見られる。また、大和朝廷の国内統一により、秋田に出羽の柵が設けられ、平安時代には、土着の豪族清原氏が勢力を持っていたが、前九年、後三年の役を経て鎌倉時代小野寺氏の領地となり、横手地方は城下町として栄え、県南における政治、経済、文化の中心となった。

その後、幾多の変遷を経て、慶長年間には佐竹藩の領地となり、明治維新後、廃藩置県が行われ、現在の秋田県が誕生し、明治22年町村制実施とともに横手、平鹿地域は1町24村となり、その後、地方自治制度の改革により1市5町2村となる。

平成17年10月1日、平成の大合併を期に、1市5町2村が合併し新横手市が誕生、秋田県第2の都市として現在に至っている。

消 防 の 沿 革

昭和 45 年 8 月、横手平鹿広域市町村圏組合設立許可申請書（地方自治法第 284 条第 1 項）を県知事に提出、同年 8 月 10 日指令地 1072 号にて許可され、昭和 47 年 4 月 1 日、横手平鹿広域市町村圏組合（横手市及び郡内 7 ヶ町村）消防本部・消防署が発足した。

組合消防発足に伴い、従来各市町村の消防本部、消防署等に勤務していた消防長以下職員 76 名が、同付けで組合消防吏員を拝命し、1 本部 1 署 7 分署 1 出張所消防庁舎、消防車両、救急車両、消防機械器具及び各種装備品等は組合に無償で貸与及び譲渡され、組合消防業務を開始した。

その後、平成 17 年 10 月 1 日、構成市町村の合併により、新横手市が誕生し横手市消防本部と名称を変更する。

以下、主なる変遷は次のとおりである。

S47.4. 1	横手平鹿広域市町村圏組合消防本部発足。
4.27	十文字分署に救急自動車（トヨタ 2B 型）購入配置し、救急業務開始。
6. 1	消防職員 44 名新規採用する。定数 120 名
12.27	山内、大雄分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水 2 t トヨタ A-2 級）購入配置。
S48. 3.16	従来の 5W 消防無線を廃止し、10W 消防無線に変更。基地局（固定局）4 局、移動局 54 局運用開始。
4. 1	増田、十文字、山内、大雄分署庁舎新築開設。消防職員 35 名新規採用する。定数 155 名。 横手市・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部消防相互応援協定締結。 （大曲仙北広域市町村圏組合） 横手市・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部消防相互応援協定覚書締結。 （大曲仙北広域市町村圏組合消防本部）
9.18	消防署に作業車（いすゞ 1. 5 t トラック）購入配置。
12.25	大森分署に救急自動車（トヨタ 2B 型）購入配備し、救急業務開始。
S49. 2.14	横手駅前出張所に普通消防ポンプ自動車 BD-I 型（ニッサン A-2 級）購入配置。 大森分署に同上。
3.26	増田分署に水槽付ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水 2 t トヨタ A-2 級）購入配置。
4. 1	平鹿、雄物川、大森分署庁舎新築開設。
4.19	消防本部に連絡車（トヨタ）購入配置。
S51.10. 5	横手駅前出張所、駅前地区都市計画により新築移転（木造 2 階建）
S52.12.12	雄物川分署に救急自動車（トヨタ 2B 型）配置し、救急業務開始。 日本損害保険協会寄贈車。
12.26	消防署に救急自動車（ニッサン 2B 型）更新配置。秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。
S53. 2.22	横手駅前出張所に梯子付消防ポンプ自動車（24m 級いすゞ・艀装日本機械）購入配置。
5. 7	消防本部に指揮車（スズキ 4WD）購入配置。
6. 1	増員 4 名、定数 159 名。
12.27	横手駅前出張所新築移転。（鉄骨サイディング平屋建）
S54. 3.17	消防署に水槽付ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水 2. 5 t いすゞ A-2 級）更新購入配置。
9.22	平鹿分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水 1. 6 t いすゞ A-1 級）配置。 日本損害保険協会寄贈車。
11.20	平鹿分署に救急自動車（ニッサン 2B 型）配置し、救急業務開始。 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。
S55.11.20	十文字分署に消防ポンプ自動車 BD-I 型（ニッサン A-2 級）購入配置。
11.25	消防署に消防ポンプ自動車 BD-I 型（ニッサン A-2 級）購入配置。

S56.10. 9	雄物川分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S57. 1.13	旧市役所屋上望楼全面廃止。
9.17	増田分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S58. 9.30	平鹿分署に消防ポンプ自動車BD-I型（トヨタA-2級）購入配置。
S59. 2.26	十文字分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新配置。日本自動車工業会寄贈車。
7. 9	雄物川分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
7.11	増田分署に広報車（トヨタバン）購入配置。（H4. 6 駅前出張所へ移動）
9.26	消防本部に広報車（ニッサン）配置。日本船舶振興会寄贈車。
11. 5	大森分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S60. 6.25	平鹿分署に広報車（スバルバン）購入配置。
	十文字分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
12.25	消防署に水槽付ポンプ自動車（積載水3t いすゞA-2級）更新購入配置。
S61. 8.29	大雄分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
11.17	山内分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）更新購入配置。
12.26	大森分署に救急自動車（いすゞ2B型）更新配置。日本自動車工業会寄贈車。
S62.12.23	十文字分署に水槽付消防ポンプ自動車水-II型（積載水3t 日野A-2級）更新購入配置。
S63. 3.28	消防署に救急自動車（いすゞ2B型）更新購入配置。
4. 1	中国杭州市長来横を契機として歓迎演奏のため「ファンファーレ隊」編成。隊長以下10名で発足。
8.29	消防署に電源照明車（いすゞ1Kw×4灯）配置。日本船舶振興会寄贈車。
10.24	横手平鹿幼少年婦人防火委員会5団体で発足。
H 1. 2. 9	横手駅前出張所に化学消防車（水槽容量2. 5t 日野A-2級）購入配置。
3.20	解体前の旧市役所庁舎を使用しての大規模消防訓練実施。
3.28	増田分署に救急自動車（ニッサン2B型）配置、救急業務開始。日本自動車工業会寄贈車。
4. 1	消防本部に総務課、警防課の2課を新設。条例定数155名。 「ファンファーレ隊」を消防音楽隊「アップバンドチーム」に改名、隊長以下15名に増員。
5.18	消防本部に公用車（ニッサン）購入配置。
12. 8	雄物川分署に水槽付消防ポンプ自動車水-II型（積載水2. 5t 日野A-2級）更新配置。 大森分署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）更新購入配置。
H 2. 1.12	雄物川分署に救急自動車（いすゞ2B型）更新購入配置。
5.16	大森分署に広報車（ニッサンバン）更新購入配置。
5.19	消防署に連絡車（サニーバン）更新購入配置。
10. 1	管内消防無線呼出名称変更申請認定され、基地局（固定局）4局、移動局54局（含携帯22局）運用開始。
12.10	救急波（基地局4局、移動局8局）増設申請許可され運用開始。
H 3. 2.22	平鹿分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新配置。日本損害保険協会寄贈車。
3.28	消防署に特別救助隊用工作車II型（三菱・艤装日本機械）配置。日本損害保険協会寄贈車。
5.20	横手平鹿幼少年婦人防火委員会総団体数30団体。
6.27	消防署に防火号（ニッサンワゴンタイプ）配置。（財）日本防火協会寄贈車。
7. 1	消防音楽隊隊長以下23名。延べ演奏回数20回。
7. 5	秋田自動車道（横手IC～秋田南IC）の救急業務に係る覚書締結。 （東日本高速道路株式会社）
7.15	秋田自動車道用救急自動車（いすゞ2B型）駅前出張所配置。秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。 秋田自動車道（横手IC～秋田南IC）消防相互応援協定締結。

	(秋田市・大曲仙北広域市町村圏組合) 秋田自動車道(横手IC～秋田南IC)消防相互応援協定覚書締結。 (秋田市消防本部・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部)
7.16	雄物川分署に広報車更新購入配置。
7.25	秋田自動車道(横手～秋田)供用開始。
8.23	消防署に資器材搬送車(作業車いすゞ1.5tトラック)更新購入配置。
9.1	条例定数改正により4名増員し159名。
9.20	従来チャンネル切替えて使用していた市町村波、県内波分離許可。
12.18	大森分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型(積載水2.5t日野A-2級)更新購入配置。 横手駅前出張所に消防ポンプ自動車CD-I型4WD(三菱A-2級)更新購入配置。
H 4. 4. 1	消防本部に予防課新設。
5.29	増田分署に広報車更新購入配置。
9.10	無線呼出符号簡略化のため一部無線局名称変更申請許可。
H 5. 2.10	増田分署水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型(積載水2.5t日野A-2級)更新購入配置。
2.22	消防署に救急自動車(いすゞ2B型)更新購入配置。
3.11	消防本部に指令車(1,500cc FAX付)購入配置。
3.15	消防緊急通信指令施設(Ⅱ型沖電気製)導入。
3.23	消防訓練塔(鉄筋コンクリート6階建)完成。
5.28	消防署に連絡車(トヨタ1,800cc)配置。(財)日本消防協会寄贈車。
6.18	平鹿分署、山内分署に広報車(ニッサンADバン)更新購入配置。
7.31	消防等合同庁舎竣工。同年8月25日移転完了し、消防業務開始。
8.18	高圧ガス製造施設(空気定置式)完成。許可申請(指令資-322)
8.30	衣服器材殺菌消毒装置設置。
9.1	消防等合同庁舎竣工式挙行。
11.1	秋田県広域消防相互応援協定締結。(秋田県内市町・消防一部事務組合) 秋田県広域消防相互応援協定覚書締結。(秋田県内消防本部)
H 6. 2.28	消防署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD(三菱A-2級)及び山内分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型(積載水2.0t日野A-2級)更新購入配置。
4.11	梯子車、化学車を横手駅前出張所から消防署へ移動配置。
11.22	自動車専用道路(湯沢～横手)供用開始。
12.1	秋田県広域消防相互応援協定再締結。(秋田県内市町・消防一部事務組合) 秋田県広域消防相互応援協定覚書再締結。(秋田県内消防本部)
12.19	消防無線全国波(増設)変更申請許可。(基地局1局、移動局11局)
12.27	大雄分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型(積載水2.0tいすゞA-2級)更新購入配置。
H 7. 3.14	十文字分署に救急自動車(ニッサン2B型)更新配置。秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。
9.1	秋田県総合防災訓練横手市で実施。
9.21	秋田自動車道(湯田IC～秋田南IC)の救急業務に係る覚書再締結。 (東日本高速道路株式会社)
10.16	秋田自動車道北上・横手間(横手IC～湯田IC)消防相互応援協定締結。 (北上地区消防組合) 秋田自動車道(横手IC～湯田IC)消防相互応援協定覚書締結。 (北上地区消防組合消防本部)
10.27	秋田自動車道山内トンネルで北上地区消防組合と合同消防訓練を実施。

11.10	秋田自動車道（横手～湯田）供用開始。
H 8. 3. 6	十文字分署に消防ポンプ自動車CD－I型4WD（三菱A－2級）更新購入配置。
4. 1	職員3名増員。職員定数162名。
5. 8	救急救命士1名養成。
7.31	指揮車更新購入配置。（ニッサン1, 800cc）
11.15	消防用携帯無線機5W1局更新購入配置。
12.17	大森分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新購入配置。
	平鹿分署に水槽付消防ポンプ自動車水－II型（積載水2.0tいすゞA－2級）更新購入配置。
H 9. 3.25	秋田県災害・救急医療システム設置。
4. 1	職員2名増員。職員定数164名。
5. 7	救急救命士1名養成。（計2名）
6. 5	湯沢横手道路（十文字IC～湯沢IC）消防相互応援協定締結。 （湯沢雄勝広域市町村圏組合）
	湯沢横手道路（横手IC～十文字IC）消防相互応援協定覚書締結。 （湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部）
	湯沢・横手道路（湯沢～十文字）供用開始。
6.26	湯沢横手道路（湯沢IC～横手IC）における覚書締結。（東日本高速道路株式会社）
7.23	秋田自動車道（北上西～湯田）供用開始により秋田自動車道全線開通。
9.17	消防用携帯無線5W5局更新購入配置。
9.30	秋田県災害・救急医療システム運用開始。
10. 6	消防署に高規格救急車1台購入配置。（いすゞ）
10.13	秋田自動車道（湯田IC～秋田北IC）の救急業務に係る覚書再締結。 （東日本高速道路株式会社）
H10. 1.16	雄物川分署に消防ポンプ自動車CD－I型4WD（三菱A－2級）更新購入配置。
1.28	救命索発射銃（空気式）一丁購入配置。
2. 1	高規格救急自動車運用開始。
2.27	緊急消防援助隊野営用天幕一式購入配置。
5.11	救急救命士1名養成。（計3名）
11.18	救急救命士1名養成。（計4名）
11.26	増田分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新購入配置。
12. 8	増田分署に消防ポンプ自動車CD－I型4WD（三菱A－2級）更新購入配置。
H11. 2.22	消防署に35m級梯子付消防自動車（日産・艤装日本機械）更新購入配置。
	消防用携帯無線機5W1局購入配置。
4. 1	職員1名増員。職員定数165名。
	秋田県消防防災ヘリコプター応援協定締結。（秋田県・県内市町・消防一部事務組合）
	秋田県消防防災航空隊発足に伴う救助隊員として秋田県に職員1名派遣。
4.30	消防署に救助用救命ボート購入配置。
9.13	消防用携帯無線機5W3局更新購入配置。
11.29	救急救命士1名養成。（計5名）
12.15	雄物川分署に救急自動車（トヨタ2B型）更新購入配置。
H12. 2.21	平鹿分署に消防ポンプ自動車CD－I型4WD（三菱A－2級）更新購入配置。
4. 1	大森、大雄両分署を統合し名称を大森大雄分署とする。
6. 1	平鹿分署にショックパンツ購入配置。
6.20	消防本部連絡1号車（日産マーチ）更新購入配置。

7.21	十文字分署にエアジャッキ購入配置。
9.25	消防用携帯無線機 5W2 局更新配置。
11.21	救急救命士 1 名養成。(計 6 名)
H13. 2.27	消防署に水Ⅱ型水槽付ポンプ自動車(日野)更新購入配置。
7. 3	雄物川分署に広報車(日産ADバン)更新購入配置。
8. 7	消防用携帯無線機 5W2 局更新配置。
8.27	広域市町村圏組合発足 30 周年記念式典。
9.28	平鹿分署に 2B 型救急車(トヨタ・アンビュランス)更新購入配置。
11.14	救急救命士 1 名養成。(計 7 名)
12. 4	十文字分署に高規格救急車(トヨタ・ハイメデック)更新購入配置。
12.14	呼吸器用高圧空気圧縮機(バウアーM3E／SP-2)購入配置。
H14. 2.19	山内分署にCD-I 型 4WD ポンプ車(三菱)更新購入配置。
2.25	ホームページ開設。
4. 1	消防本部に救急課新設。
6.28	増田分署に広報車(日産)更新購入配置。
8.30	消防本部に指令車(トヨタ)更新購入配置。
10.16	雄物川分署に救助資機材購入配置。
11.20	救急救命士 1 名養成。(計 8 名)
H15. 1.29	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定締結。(北上地区消防組合)
	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定覚書締結。(北上地区消防組合消防本部)
3.12	十文字分署に水Ⅱ型水槽付ポンプ自動車(日野)更新購入配置。
9. 5	消防用携帯無線機 5W2 局購入配置。
11.12	救急救命士 1 名養成。(計 9 名)
H16. 2. 5	消防署に救助工作車Ⅱ型(いすゞ)更新購入配置。
	消防署に救命索発射銃一丁(空気式)購入配置。
	消防用携帯無線機 5W2 局購入配置。
10.22	横手駅前出張所に 2B 型救急車(トヨタ・アンビュランス)更新購入配置。
12.13	救急救命士 2 名養成。(計 11 名)
H17. 2.25	大森大雄分署にCD-I 型 4WD ポンプ車(日野)更新購入配置。
3.15	消防署に化学消防車(水槽 2 t、薬液槽 1. 2 t、A-2 級)更新購入配置。
10. 1	新横手市誕生。消防本部名を横手市消防本部に変更。
12. 7	救急救命士 2 名養成。(計 13 名)
12.14	大森大雄分署に高規格救急車(トヨタ・ハイメデック)更新購入配置。
H18. 3.31	横手駅前出張所廃止。
4. 1	救急救命士 1 名採用。(計 14 名)
5. 1	山内分署に救急車(2B 型トヨタ・アンビュランス、旧横手駅前出張所)配置運用開始。
H19. 3.14	高機能消防指令センター(Ⅱ型対応NEC製)更新運用開始。
4.20	救急救命士 2 名養成。(計 16 名)
6.26	秋田自動車道北上・横手間(横手 IC～湯田 IC)消防相互応援協定再締結。 (北上地区消防組合)
	秋田自動車道(横手 IC～湯田 IC)消防相互応援協定覚書再締結。 (北上地区消防組合消防本部)
	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定再締結。(北上地区消防組合)
	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定覚書再締結。(北上地区消防組合消防本部)
7.19	消防署へ指揮車(日産)購入配置。

11.20	水難救助隊（5名）運用開始。
11.29	消防署へ高規格救急車（日産パラメデック）更新購入配置。 消防用携帯無線機 5W1 局購入配置。
H20. 5. 2	救急救命士 2 名養成。（計 18 名）
11.17	増田分署へ救急車（日産パラメデック高規格準拠）更新購入配置。
H21. 5. 7	救急救命士 3 名養成。（計 21 名）
7.14	消防署へ資器材搬送車（トヨタ）更新購入配置。
10.28	消防用携帯無線機 5W6 局購入配置。
11.18	雄物川分署に救急車（トヨタハイメデック高規格準拠）更新購入配置。
11.27	消防本部に公用車（ホンダ）更新購入配置。
12.18	平鹿・大森大雄・十文字・山内分署に広報車（日産ADバン）4 台更新購入配置。
H22. 5. 7	救急救命士 2 名養成。（計 23 名）
10. 1	大量退職に備え、定数を 12 名増員。条例定数 177 名。
11.17	消防署へCD-I 型 4WD ポンプ車（日野）更新購入配置。
12.22	秋田県広域消防相互応援協定再締結。（秋田県内市町・消防一部事務組合） 秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書再締結。（秋田県内消防本部）
H23. 4. 1	消防本部に通信指令課新設。
4.12	救急救命士 1 名養成。（計 24 名）
12.7	十文字分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
H24.5.21	救急救命士 2 名養成。（計 26 名）
10.29	平鹿分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
11.26	十文字分署にCD-I 型 4WD ポンプ車（日野）更新購入配置。
11.30	山内分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。JA 共済連寄贈車。
H25. 4. 1	救急救命士 1 名採用。（計 27 名）
5.20	救急救命士 2 名養成。（計 29 名）
11.22	消防本部に査察車更新購入配置。
H26. 3. 5	大森大雄分署に水-II 型災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）更新購入配置。 山内分署新庁舎完成。
3.24	増田分署にI-B 型水槽付消防ポンプ自動車 CAFS 装置付（いすゞ）更新購入配置。
5.26	救急救命士 4 名養成。（計 33 名）
11.5	消防救急デジタル無線運用開始。
H27. 1. 15	雄物川分署にI-B 型水槽付消防ポンプ自動車 CAFS 装置付（いすゞ）更新購入配置。
3.31	救急救命士 1 名退職。（計 32 名） 救急救命士 4 名養成。（計 36 名）
4. 1	救急救命士 1 名採用。（計 37 名）
11.13	大森大雄分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
H28. 3. 9	平鹿分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。市民寄贈車。
3.31	救急救命士 2 名養成。（計 39 名）
4. 1	定数を 7 名減員。条例定数 170 名。 救急救命士 1 名採用。（計 40 名）
11.25	平鹿分署にCD-I 型災害対応特殊ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
H29. 2.23	消防本部に指揮車（トヨタ）購入配置。
3.27	秋田県広域消防相互応援協定再締結。（秋田県内市町・消防一部事務組合） 秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書再締結。（秋田県内消防本部）
10.28	平鹿分署新庁舎完成。

12.20	山内分署にCDーI型災害対応特殊ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
3.31	救急救命士2名養成。（計42名）
4.1	救急救命士1名採用。（計43名）
H30.3.31	救急救命士2名養成。（計45名）
4.1	救急救命士2名採用。（計47名）
10.4	増田分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
H31.2.27	災害時における消防用水等の確保に関する協定書締結。 （秋田県南地区生コンクリート協同組合）
3.22	南分署新庁舎完成。
3.31	救急救命士2名養成。（計49名）
R1.8.4	秋田自動車道（横手IC～秋田南IC）消防相互応援協定再締結。 （秋田市・大曲仙北広域市町村圏組合） 秋田自動車道（横手IC～秋田南IC）消防相互応援協定覚書再締結。 （秋田市消防本部・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部） 秋田自動車道（湯田IC～秋田北IC）の救急業務に係る覚書再締結。 （東日本高速道路株式会社）
8.20	南分署に広報車更新購入配置。
9.20	雄物川分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
11.28	大森大雄分署にCDーI型災害対応特殊ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
12.19	消防署に救助工作車Ⅱ型（日野）更新購入配置。
R2.3.17	西分署新庁舎完成。
3.31	救急救命士2名養成。（計51名）
4.1	救急救命士1名採用。（計52名）
12.21	消防署に35m級はしご付消防自動車（先端屈折式）更新購入配置。
R3.3.31	救急救命士2名養成。（計54名）
4.1	救急救命士1名採用。（計55名）
11.8	南分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
R4.2.15	消防署に水ーⅡ型災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）更新購入配置。
3.31	救急救命士2名養成、1名退職。（計56名）
4.1	救急救命士1名採用。（計57名）
10.3	消防署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
R5.1.26	消防本部に指揮2号車（トヨタ）更新購入配置。
1.30	西分署に広報車更新購入配置。
3.31	救急救命士2名養成、1名退職。（計58名）
4.1	定数を20名増員。条例定数190名。
R6.1.29	山内分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
3.31	救急救命士1名養成、1名退職。（計58名）
4.1	救急救命士2名採用。（計60名）
11.18	平鹿分署に広報車更新購入配置。
R7.3.12	消防署に資器材搬送車（いすゞ）更新購入配置。
3.31	救急救命士1名養成、3名退職。（計58名）
4.1	救急救命士2名採用。（計60名）
7.22	消防署にCDーI型災害対応特殊ポンプ自動車（いすゞ）更新購入配置。
9.10	西分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。 平鹿分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。

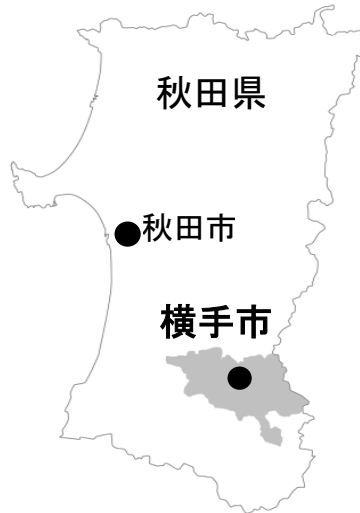
R8.3.31 4. 1	救急救命士 1 名養成。（計 61 名） 消防本部通信指令室から消防本部情報指令課へ名称変更。 救急救命士 1 名採用。（計 62 名） 秋田県広域消防相互応援協定再締結。（秋田県内市町・消防一部事務組合） 秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書再締結。（秋田県内消防本部） 秋田県消防防災ヘリコプター応援協定再締結。 （秋田県・県内市町・消防一部事務組合） 鉄道災害発生時における消防活動に関する協定書再締結。 （東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社・盛岡支社）
----------------------------	--

管内状況

令和8年4月1日現在
(人口・世帯数は令和8年3月末現在)

区分 地域別	人口			世帯数	消防職員数	消防ポンプ車台数	救急自動車台数	その他の車両台数
	総数 (人)	男 (人)	女 (人)					
横手	32,546	15,354	17,192	15,043	70	5	2	9
増田	5,461	2,636	2,825	2,296	36	2	2	2
十文字	11,132	5,309	5,823	4,614				
雄物川	7,470	3,545	3,925	2,905	36	2	2	2
大森	4,792	2,258	2,534	1,988				
大雄	3,950	1,914	2,036	1,524				
平鹿	10,246	4,866	5,380	4,007	24	2	1	1
山内	2,578	1,253	1,325	1,122	14	1	1	1
計	78,175	37,135	41,040	33,499	180	12	8	15

横手市の位置



「大森リゾート村の芝桜フェスタ」
大森リゾート村内、旧大森スキー場の斜面に植栽された芝桜。その数10万株！



「大雄サマーフェスティバル」
イベント盛りだくさん！恒例のメインイベント・歌謡ショーは毎年大盛況です！祭りのフィナーレを飾る花火にも注目！



「横手のかまくら」
水神様をまつる民族伝統行事。幻想的な横手のかまくらをお楽しみください！



「名物！横手やきそば！」
他の焼きそばとは一味も二味も違う！？福神漬と一緒にどうぞ！



「山内いものこ」
粘りが強く、口の中でトロッと溶けます！毎年9月に「いものこまつりin鶴ヶ池」が開催されます！



「雄物川のスイカ」
雄物川町はスイカの名産地です！糖度が高く瑞々しい！



「浅舞公園あやめまつり」
60万本のハナショウブ！浅舞公園は全国有数の「あやめ園」です！



「さくらんぼ」
十文字を代表するさくらんぼ！6月中旬～7月上旬にかけて各観光農園でさくらんぼ祭りが開催されます！



「花火大会」
増田と山内では毎年9月に花火大会がおこなわれます！



「増田の内蔵」
国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている！

総務



令和8年度 秋田県消防学校初任科 入校式

消防庁舎配置図

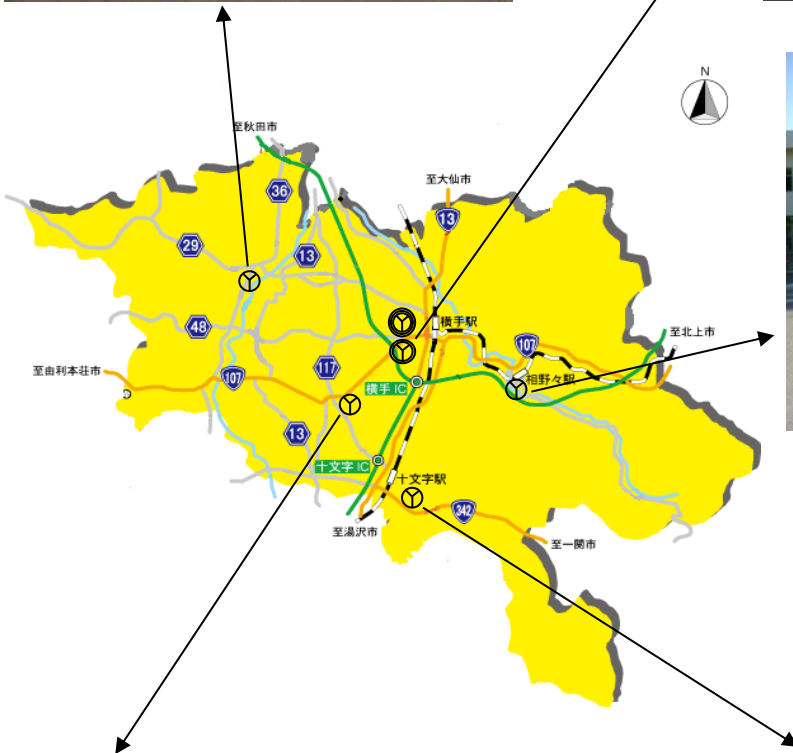
西分署

建築年月日 令和2年3月
 構造 鉄骨造2階建
 敷地面積 5,567㎡
 建築面積 798.65㎡



消防本部・消防署

建築年月日 平成5年8月
 構造 鉄筋コンクリート4階建
 敷地面積 7,100㎡
 建築面積 1,621.39㎡
 延べ面積 4,142.26㎡



山内分署

建築年月日 平成26年3月
 構造 鉄筋コンクリート平屋建
 敷地面積 7,442㎡
 建築面積 343㎡
 (市役所山内庁舎含む)



平鹿分署

建築年月日 平成29年10月
 構造 鉄骨造平屋建
 敷地面積 4,992㎡
 建築面積 445.2㎡
 (市役所平鹿庁舎含む)



南分署

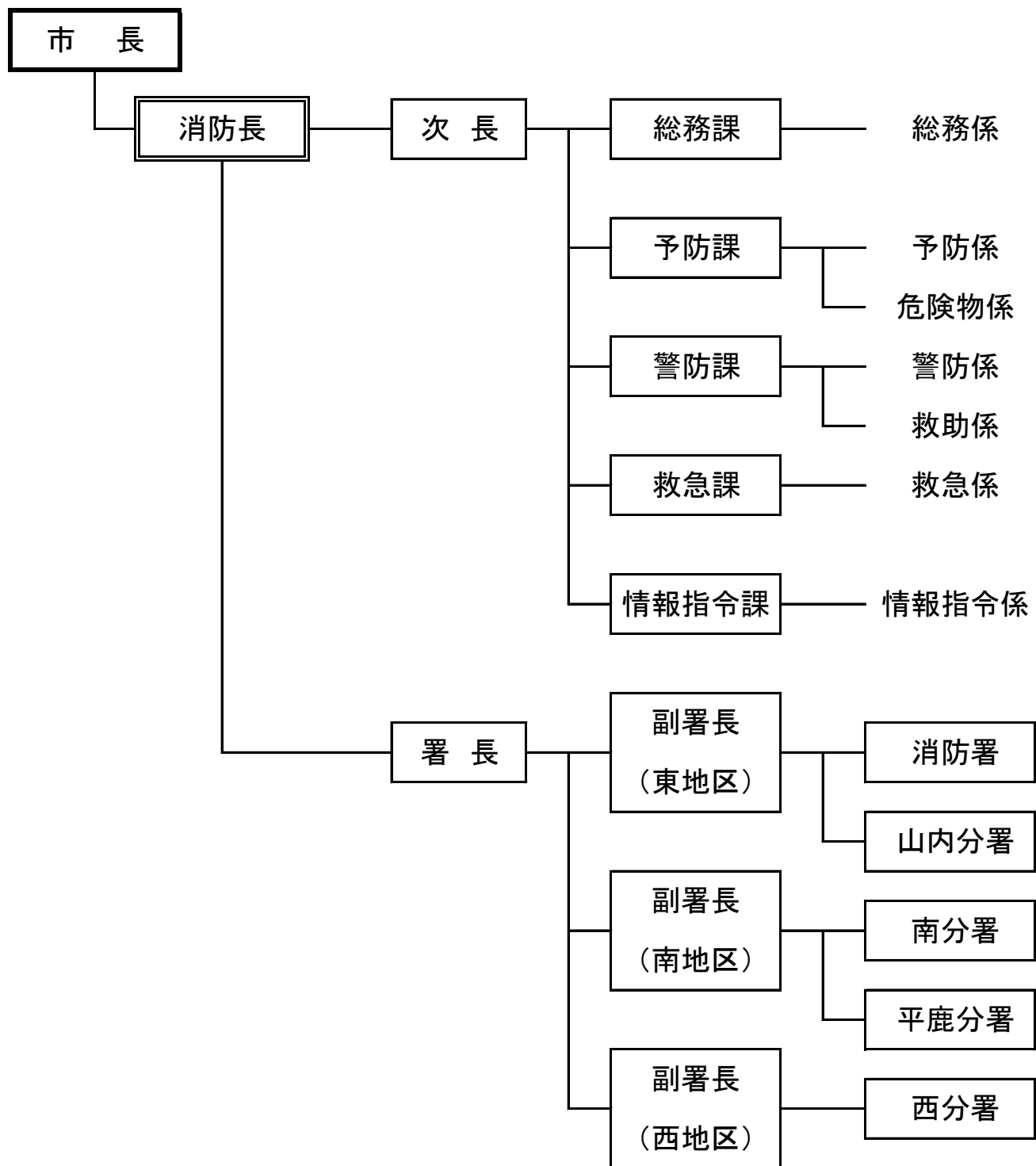
建築年月日 平成31年3月
 構造 鉄骨造2階建
 敷地面積 5,559㎡
 建築面積 804.01㎡

消防庁舎所在地一覧

令和 8 年 4 月 1 日現在

本部・署	所 在 地	電話番号
消 防 本 部	〒013-0060 横手市条里一丁目 1 番 1 号	(消防本部代表) 0182-32-1111
消 防 署		(消防署代表) 0182-32-1138 FAX 0182-33-1300
南 分 署	〒019-0701 横手市増田町増田字一本柳西 126 番地	TEL 0182-45-2601 FAX 0182-45-2602
西 分 署	〒013-0481 横手市雄物川町薄井字両頭 196 番地 1	TEL 0182-22-5575 FAX 0182-22-5576
平 鹿 分 署	〒013-0105 横手市平鹿町浅舞字覚町後 138 番地	TEL 0182-24-1119 FAX 0182-24-0700
山 内 分 署	〒019-1108 横手市山内土渕字二瀬 8 番地 4	TEL 0182-53-2182 FAX 0182-53-3800

消防組織図



消防本部事務分掌表

総務課

(1) 総務係

- 組織に関すること。
- 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- 公印の保管に関すること。
- 公文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。
- 条例、規則、規程、告示等に関すること。
- 職員の研修に関すること。
- 職員の福利厚生に関すること。
- 職員の公務災害に関すること。
- 職員の安全衛生委員会及び職員委員会に関すること。
- 職員の表彰に関すること。
- 議案及び議会に関すること。
- 予算編成及び予算執行に関すること。
- 職員の給与及び旅費に関すること。
- 物品の調達及び検収に関すること。
- 被服等の貸与に関すること。
- 消防団に関すること。
- 所管に属する建物及び附属施設の保守管理に関すること。
- その他他の課に属さない備品管理に関すること。
- その他他の課に属さないこと。

予防課

(1) 予防係

- 防火思想の普及広報に関すること。
- 火災予防査察に関すること。
- 火災の原因調査及び損害調査に関すること。
- 防火管理者講習及び指導に関すること。
- 火災の罹災証明に関すること。
- 火災予防条例に関すること。
- 幼少年婦人防火委員会及び火災予防組合に関すること。
- 建築確認の同意に関すること。
- 防火対象物の使用届及び消防用設備検査の指導に関すること。
- その他予防全般に関すること。

(2) 危険物係

- 危険物施設等の許認可及び検査指導に関すること。
- 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律等に係る意見書に関すること。
- 指定可燃物に関すること。
- その他危険物全般に関すること。

警防課

(1) 警防係

- 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- 警防計画に関すること。
- 消防力の整備指針に関すること。
- 自衛消防隊の育成指導に関すること。
- 警防に係る統計及び消防年報作成に関すること。
- 車両の安全運行管理に関すること。
- 消防施設整備に関すること。
- 消防水利施設の調査、同意及び管理に関すること。
- 消防機械器具の維持管理に関すること。
- 消防機械の燃料及び機械部品の出納管理に関すること。
- その他警防に関すること。

(2) 救助係

- 救助業務に関すること。
- 救助資機材の保守管理に関すること。
- 救助技術の養成及び指導に関すること。
- 緊急消防援助隊に関すること。
- 諸訓練の安全管理に関すること。
- 機械器具の操作及び指導に関すること。
- その他救助に関すること。

救急課

(1) 救急係

- 救急業務の管理及び計画に関すること。
- 救急備品及び消耗品の出納管理に関すること。
- 救急技術の指導、訓練及び教育に関すること。
- 応急手当普及啓発に関すること。
- 救急の搬送証明に関すること。
- 救急医療機関との連絡調整に関すること。
- 救急統計及び報告に関すること。
- メディカルコントロール体制に関すること。
- その他救急全般に関すること。

情報指令課

(1) 情報指令係

- 各種災害の通報の受信及び出動指令に関すること。
- 通信指令施設の運用及び維持管理に関すること。
- 無線通信事務に関すること。
- 災害の情報収集に関すること。
- 火災警報及び気象情報に関すること

消防署事務分掌表

消防署

(1) 庶務係

- 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。
- 署員の教養訓練及び服務規律に関すること。
- 署員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- 庁舎及び附属施設の保守管理並びに備品の管理に関すること。
- その他他の担当に属さないこと。

(2) 予防係

- 火災予防及び査察に関すること。
- 火災の原因調査に関すること。
- 危険物に関すること。
- 消防用設備等の検査及び維持管理の指導に関すること。
- 火災予防組合の指導に関すること。
- その他予防に関すること。

(3) 警防係

- 消防水利の維持管理に関すること。
- 消防資機材の維持管理及び操作技術の指導に関すること。
- 自衛消防隊の指導育成及び警備警戒に関すること。
- 消防統計に関すること。
- 車両の安全運転管理に関すること。
- 機械器具の維持管理及び操作技術の指導に関すること。
- その他警防に関すること。

(4) 救助係

- 救助業務に関すること。
- 救助隊の訓練に関すること。
- 救助資機材の維持管理に関すること。

(5) 救急係

- 救急業務に関すること。
- 救急隊の訓練に関すること。
- 救急資機材の維持管理に関すること。

分署事務分掌表

分署

(1) 庶務係

- 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。
- 庁舎及び附属施設の保守管理並びに備品の管理に関すること。
- その他庶務に関すること。

(2) 予防係

- 火災予防及び査察に関すること。
- 火災の原因調査に関すること。
- 危険物に関すること。
- 消防用設備等の検査及び維持管理の指導に関すること。
- 火災予防組合の指導に関すること。
- その他予防に関すること。

(3) 警防係

- 消防水利の維持管理に関すること。
- 消防資機材の整備保管に関すること。
- 諸警備及び警戒に関すること。
- 自衛消防隊の指導育成に関すること。
- 救助業務に関すること。
- 救助隊の訓練に関すること。
- 機械器具の維持管理及び操作技術の指導に関すること。
- その他警防に関すること。

(4) 救急係

- 救急救助業務に関すること。
- 救急隊及び救助隊の訓練に関すること。
- 救急資機材の維持管理に関すること。
- その他救急に関すること。

職 員 配 置 状 況

令和8年4月1日現在

階級 所屬	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員
消 防 本 部	29	1	6	7	5	7	2		1
消 防 署	41		3	7	5	14	5	7	
南 分 署	36			5	6	10	8	7	
西 分 署	36			6	5	12	6	7	
平 鹿 分 署	24			4	3	8	5	4	
山 内 分 署	14			3	3	4	3	1	
計	180	1	9	32	27	55	29	26	1

職 員 勤 続 年 数

令和8年4月1日現在

階級 年数	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員
0	8							8	
1	8							8	
2	5							5	
3	2							2	
4	2						1	1	
5	3						1	2	
6	3						3		
7	3						3		
8	4					1	3		
9	2						2		
10	3						3		
11	7					1	5		1
12	9					2	7		
13	15					14	1		
14	6					6			
15	5					5			
16	6					6			
17	4					4			
18	13				2	11			
19	5				3	2			
20	5				4	1			
21	3				1	2			
22	2				2				
23	4			1	3				
24	0								
25	7				7				
26	3				3				
27	1				1				
28	3			3					
29	1			1					
30	6			6					
31	5		1	4					
32	5			4	1				
33	5			5					
34	7		2	5					
35	0								
36	1		1						
37	4		2	2					
38	2	1	1						
39	1		1						
40	0								
41	1		1						
42	1			1					
43									
44									
45									
計	180	1	9	32	27	55	29	26	1

職員階級別年齢表

令和8年4月1日現在

階級 年齢	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員
1 8	4							4	
1 9	4							4	
2 0	3							3	
2 1	2							2	
2 2	5							5	
2 3	4							4	
2 4	3						1	2	
2 5	4						4		
2 6	7						5	2	
2 7	1						1		
2 8	2						2		
2 9	5						5		
3 0	9						9		
3 1	8					7	1		
3 2									
3 3	9					8			1
3 4	9					8	1		
3 5	4					4			
3 6	6					6			
3 7	6					6			
3 8	6					6			
3 9	3					3			
4 0	7					7			
4 1	4				4				
4 2	3				3				
4 3	7				7				
4 4	5				5				
4 5	2				2				
4 6	1				1				
4 7	5			1	4				
4 8	3			3					
4 9	7			7					
5 0	4			3	1				
5 1	4			4					
5 2	1			1					
5 3	3			3					
5 4	6		2	4					
5 5	4		2	2					
5 6	3	1	2						
5 7	3		1	2					
5 8	2		1	1					
5 9	1		1						
6 0	1			1					
6 1									
6 2									
6 3									
6 4									
計	180	1	9	32	27	55	29	26	1

職 員 研 修 状 況

学校別		消防大学校									消防学校															
年度別	科別 計	幹部科	上級幹部科	幹部研修科	予防防火調査科	火災調査科	警防急助科	救急助科	査察業務マネジメント	初任教育	幹部教育	予防防火調査科	火災調査科	危険物科	警防助科	救特殊災害科	無線通信課程	救急科	薬剤投与追加講習	消防操法指導員講習	女性消防操法指導員講習	救急特別講習	ビデオ喉頭鏡追加講習	救急救命処置再教育		
H14	28						1			4	3	3	3		2	2		1	6		2		1			
H15	27					1					3		4	2	2	3		1	7		2		2			
H16	29							1		3	4	3	4		2	2			6		2		2			
H17	31				1					2	6		4	4	2	2			6		2		2			
H18	25					1				3	2	4	2		2	2			5		2		2			
H19	20							1		5	1		1	1	1	1			5		2		2			
H20	26	1								7	1		1	1	1	1	1		5	3	3		1			
H21	26				1					7	1		1	1	1	1	1		5	3	3		1			
H22	44	1								10	1	5	1		5	1	1		11	3	3		2			
H23	58	1								13	3		5	5	5	3	5		10	3	3		2			
H24	61	1								7	2	4	4		7	3	5		19		3		4	2		
H25	74									16	4		5	3	7	4	5		16	5	3		4	2		
H26	78				1					9	3	8	3		3	6	4		7	27	3		2	2		
H27	43	1	1							6	2		3	3	3	4	3		7	4	3		2	1		
H28	38		1			1				4	2	3	3		3	2	3		4	3	3		2	4		
H29	37							1		2	2		3	3	3	3	3		2	3	3	2	2	3	2	
H30	36	1								3	2	2	2		2	2	2		3	4	3	2		3	5	
R1	30				1					3	2		2	2	2	2	2		3	3	3			3	2	
R2	27									2	2	2	2		2	2	2		3	2				6	2	
R3	27					1				3	2		2	2	2	2	2		3		3	2			3	
R4	23									1	2	2	2		2	2	2		2		3	2			3	
R5	27						1			3	2		2	2	2	2	2		3		3	2			3	
R6	32									6	2	2	2		2	2	2		6		3	2			3	
R7	35								1	7	2		2	2	2	2	2		7		3	2			3	

職員の資格、免許等資格状況

令和8年4月1日現在

	計	階級別								所属別						
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	本部	通信指令室	消防署	南分署	西分署	平鹿分署	山内分署
実員	180	1	9	32	27	55	29	26	1	17	12	41	36	36	24	14
大型自動車免許	131		7	29	23	52	19	1		12	8	30	27	26	17	11
中型自動車免許	5	1			2	1		1		2	1		1	1		
中型自動車免許（8 t 未満）	9		2	3	2	2				2	1	1	1	1	2	1
準中型免許（7.5 t 未満）	20						1	19				6	5	3	4	2
準中型免許（5 t 未満）	9						6	2	1	1	2	1	1	3	1	
普通自動車免許	6						3	3				3	1	2		
大型自動車二種免許	15		1	1	3	8	2			1	1	4	3	3	2	1
大型特殊免許	18		2	8	2	3	2	1		1		5	5	2	4	1
けん引免許	2			1		1						1	1			
大型自動二輪免許	25		1	6	6	7	4	1		3	3	7	3	4	4	1
普通二輪免許	31		1	9	4	12	4	1		4		11	3	8	3	2
第二級特殊無線技師	165	1	9	32	26	53	27	17		14	12	38	32	33	22	14
第三級陸上特殊無線技師	5				1	2	2			2			2	1		
アマチュア無線技師	4		1	1			2			1	1				2	
航空特殊無線技師	6			3	2	1				1		2	2			1
救急救命士	62	1	5	13	14	15	8	6		6	4	15	10	13	7	7
救助科	67	1	6	16	14	29	1			9	5	21	7	11	9	5
潜水士	53		1	8	5	26	13			5	2	13	9	12	9	3
小型船舶操縦士	10		1	2	2	4	1			2		2	1	3	1	1
スクーバーダイビング	2			2									1			1
二等無人航空機操縦士	2					1		1						1	1	
危険物取扱者（甲）	3		1	1		1				2		1				
危険物取扱者（乙）	154		5	28	25	53	26	17		9	12	34	33	32	21	13
危険物取扱者（丙）	8	1	2	3	1	1				3		1		2	1	1
消防設備士（甲）	3			1		1	1			2			1			
消防設備士（乙）	10			1		5	1	3		2		1	3	4		
電気工事士	5					5				1			1	2	1	
予防技術検定（防火査察）	48			5	13	19	11			5	5	9	9	10	5	5
予防技術検定（消防用設備等）	16				7	5	4			2	1	3	3	1	3	3
予防技術検定（危険物）	17			1	7	5	4			2	1	3	5	1	3	2
玉掛免許	53		4	9	11	25	3	1		8	4	14	4	13	7	3
移動式小型クレーン	53		4	9	12	24	3	1		6	4	14	5	14	6	4
建設機械免許	4			1		1	2						1		2	1
足場組免許	4		1	1	1	1				2			1		1	
ガス溶接取扱者	5		3	1				1		3			1	1		
第一種衛生管理免許	4	1	1			2				2		1		1		
毒劇物取扱者	2			1			1			1						1
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	7		1	2	1	3					1	3	2	1		
第二種酸素欠乏危険作業主任者	8			1	2	4	1			1			2	4	1	
J P T E C	23		2	2	6	10	2	1		3		5	1	5	2	7
T R R テクニシャン	35		2	7	5	18	3			5	1	6	6	8	7	2

年度別一般会計予算

(単位:千円)

年度 区分		H29	H30	R1	R2	R3	R4
常備 消防 費	人 件 費	1, 164, 804	1, 190, 402	1, 254, 463	1, 252, 230	1, 257, 579	1, 292, 137
	常 備 消 防 経 費	105, 259	104, 788	102, 880	116, 884	109, 121	130, 729
	常備消防施設等 整 備 事 業	54, 711	45, 014	268, 976	262, 887	132, 623	64, 051
	消防分署統合事業	112, 537	452, 033	402, 662			
	地 方 創 生 臨 時 交 付 金 事 業					2, 585	7, 305
非 常 備 消 防 費		155, 318	150, 082	153, 617	130, 361	126, 054	129, 701
消 防 施 設 費		74, 461	86, 031	69, 307	104, 455	89, 091	135, 576
水防費・災害対策費 (市部局所管)		84, 138	105, 766	18, 625	32, 692	26, 495	26, 867
消 防 費 決 算 額		1, 751, 227	2, 134, 116	2, 270, 530	1, 899, 509	1, 743, 549	1, 786, 365

(単位:千円)

年度 区分		R5	R6	R7	R8 (当初予算)
常備 消防 費	人 件 費	1, 322, 295	1, 423, 690	1, 504, 937	1, 556, 491
	常 備 消 防 経 費	136, 373	143, 599	113, 322	112, 058
	常備消防施設等 整 備 事 業	78, 799	229, 570	1, 161, 280	242, 906
非 常 備 消 防 費		128, 829	129, 579	154, 063	226, 420
消 防 施 設 費		130, 762	162, 776	152, 970	151, 481
水防費・災害対策費 (市部局所管)		64, 753	18, 704	50, 235	51, 680
消 防 費 決 算 額		1, 861, 810	2, 107, 918	3, 136, 807	2, 341, 036

※金額は千円未満を四捨五入しているため、各区分の合計が決算額と一致しないことがあります。

令和8年度 予算分類表（常備）

（単位：千円）

事業	項目	当初予算
常備消防費	人件費	1,556,491
	常備消防経費	112,058
	常備消防施設等整備事業	242,906
	計	1,911,455

事業	区分	当初予算
常備消防費	給料	684,317
	職員手当等	637,048
	共済費	235,126
	報償費	173
	旅費	3,423
	交際費	30
	需用費	53,653
	役務費	18,610
	委託料	14,269
	使用料及び賃借料	4,311
	備品購入費	245,809
	負担金補助及び交付金	13,464
	公課費	1,222
	計	1,911,455

○消防職員給与・手当支給状況（令和8年4月1日現在）

- ・初級初任給 208,343 円 中級初任給 224,369 円 上級初任給 239,488 円
- ・各種手当 災害緊急出動手当 1 回 240 円 夜間特殊勤務手当 1 勤務 730 円
- 機関員手当 1 回 300 円 高所作業手当（10m以上）1 回 300 円
- 潜水作業手当 1 日 350 円 救急救命処置業務手当 1 回 1,000 円
- 災害応急作業等手当 1 日 840 円

歴代消防長一覧表

令和 8 年 4 月 1 日現在

歴代		氏名	就任	退任	備考（在職期間）
消防長	初代	佐々木 一 郎	昭23. 11. 8	昭27. 12. 8	市長兼務 4年1ヶ月
	2代	福 田 武 治	昭27. 12. 21	昭31. 4. 7	消防長心得期間2年1ヶ月、消防長在職期間1年3ヶ月
	3代	小 味 淵 肇	昭31. 4. 10	昭38. 5. 1	市長兼務 7年1ヶ月
	4代	黒 沢 鉄 二 郎	昭38. 12. 26	昭41. 3. 31	在職期間2年3ヶ月 内 署長兼務1年
	5代	稲 川 慶 之 助	昭41. 4. 1	昭43. 3. 31	在職期間 2年
	6代	碓 石 孝 太 郎	昭43. 4. 1	昭45. 3. 31	在職期間2年 内 署長兼務1年
	7代	高 橋 信 吉	昭45. 4. 1	昭56. 7. 30	昭47. 4. 1横手平鹿広域消防長 在職期間10年3ヶ月
	8代	高 橋 吉 之 助	昭56. 9. 1	昭58. 2. 27	在職期間 1年6ヶ月
	9代	加 藤 康 治	昭58. 3. 1	昭58. 3. 31	在職期間1ヶ月 内 署長兼務1ヶ月
	10代	佐 藤 正 吉	昭58. 4. 1	昭59. 3. 31	在職期間 1年
	11代	高 橋 金 蔵	昭59. 4. 1	昭62. 3. 6	在職期間2年11ヶ月 内 署長兼務1年
	12代	和 賀 利 助	昭62. 5. 20	昭63. 3. 31	在職期間 10ヶ月
	13代	柿 崎 芳 夫	昭63. 4. 1	平 1. 3. 31	在職期間 1年
	14代	高 橋 操	平 1. 4. 1	平 7. 3. 31	在職期間 6年
	15代	新 森 陽 一	平 7. 4. 1	平 8. 3. 31	在職期間 1年
	16代	斎 藤 完	平 8. 4. 1	平10. 3. 31	在職期間 2年
	17代	高 橋 茂 喜	平10. 4. 1	平13. 3. 31	在職期間 3年
	18代	永 沢 正 毅	平13. 4. 1	平18. 3. 31	在職期間 5年
	19代	中 山 榮 治	平18. 4. 1	平20. 3. 31	在職期間 2年
	20代	川 村 東 吉	平20. 4. 1	平23. 3. 31	在職期間 3年
	21代	泉 田 榮 次	平23. 4. 1	平25. 3. 31	在職期間 2年
	22代	伊 藤 弘 明	平25. 4. 1	平27. 3. 31	在職期間 2年
	23代	大 石 義 孝	平27. 4. 1	平31. 3. 31	在職期間 4年
	24代	菅 谷 和 明	平31. 4. 1	令 5. 3. 31	在職期間 4年
	25代	鈴 木 勉	令 5. 4. 1	令 6. 3. 31	在職期間 1年
	26代	高 田 俊 之	令 6. 4. 1	現在	

歴代次長一覧表

令和8年4月1日現在

歴代		氏名	就任	退任	備考（在職期間）
本部次長	初代	加 藤 康 治	昭47. 4. 1	昭58. 3. 31	在職期間 1 1 年
	2 代	高 橋 操	昭58. 4. 1	平 1. 3. 31	在職期間 6 年
	3 代	新 森 陽 一	平 1. 4. 1	平 7. 3. 31	在職期間 6 年 内 署長兼務 1
	4 代	斎 藤 完	平 7. 4. 1	平 8. 3. 31	在職期間 1 年
	5 代	高 橋 茂 喜	平 8. 4. 1	平10. 3. 31	在職期間 2 年
	6 代	畠 山 光 三	平10. 4. 1	平12. 3. 31	在職期間 2 年
	7 代	永 沢 正 毅	平12. 4. 1	平13. 3. 31	在職期間 1 年
	8 代	菅 谷 嘗 一	平13. 4. 1	平18. 3. 31	在職期間 5 年
	9 代	中 山 榮 次	平17. 4. 1	平18. 3. 31	在職期間 1 年
	1 0 代	加 賀 谷 長 吉	平18. 4. 1	平20. 3. 31	在職期間 2 年
	1 1 代	川 村 東 吉	平19. 4. 1	平20. 3. 31	在職期間 1 年 内 総務課長兼務 1 年
	1 2 代	佐 藤 茂	平20. 4. 1	平22. 3. 31	在職期間 2 年
	1 3 代	泉 田 榮 次	平22. 4. 1	平23. 3. 31	在職期間 1 年
	1 4 代	伊 藤 弘 明	平23. 4. 1	平25. 3. 31	在職期間 2 年
	1 5 代	東 海 林 俊 一	平25. 4. 1	平27. 3. 31	在職期間 2 年 内 予防課長兼務 1 年
	1 6 代	大 石 義 孝	平26. 4. 1	平27. 3. 31	在職期間 1 年 内 総務課長兼務 1 年
	1 7 代	中 村 広 幸	平27. 4. 1	平28. 3. 31	在職期間 1 年 内 総務課長兼務 1 年
	1 8 代	菅 谷 和 明	平28. 4. 1	平31. 3. 31	在職期間 3 年 内 総務課長兼務 2 年 署長兼務 1 年
	1 9 代	菊 地 俊 宏	平31. 4. 1	令 2. 3. 31	在職期間 1 年 内 署長兼務 1 年
	2 0 代	鈴 木 勉	令 2. 4. 1	令 3. 3. 31	在職期間 1 年 内 通信指令室長兼務 1 年
	2 1 代	菊 地 俊 宏	令 3. 4. 1	令 4. 3. 31	在職期間 1 年
	2 2 代	鈴 木 勉	令 4. 4. 1	令 5. 3. 31	在職期間 1 年
	2 3 代	高 田 俊 之	令 5. 4. 1	令 6. 3. 31	在職期間 1 年 内 総務課長兼務 1 年
	2 4 代	中 川 原 一 智	令 6. 4. 1	現在	

歴代署長一覧表

令和8年4月1日現在

歴代		氏名	就任	退任	備考（在職期間）	
消防署長	初代	佐々木 一郎	昭23. 11. 8	昭24. 10. 29	在職期間 1 1 ヶ月	
	2代	福田 武 治	昭24. 10. 30 昭30. 9. 5	昭30. 1. 4 昭31. 4. 7	在職期間 5年3 ヶ月 在職期間 7 ヶ月	
	3代	鳥 海 三 郎	昭30. 1. 5	昭30. 9. 5	在職期間 8 ヶ月	
	4代	黒 沢 鉄 二 郎	昭31. 4. 10	昭39. 12. 31	在職期間 8年8 ヶ月	
	5代	稲 川 慶 之 助	昭40. 1. 1	昭41. 3. 31	在職期間 1年3 ヶ月	
	6代	碓 石 孝 太 郎	昭41. 4. 1	昭44. 3. 31	在職期間 3年	
	7代	高 橋 信 吉	昭44. 4. 1	昭45. 3. 31	在職期間 1年	
	8代	高 橋 吉 之 助	昭45. 4. 1	昭58. 2. 27	昭47. 4. 1横手平鹿広域消防署長 在職期間11年11 ヶ月	
	9代	加 藤 康 治	昭58. 3. 1	昭58. 3. 31	在職期間 1 ヶ月	
	1 0代	高 橋 金 蔵	昭58. 4. 1	昭60. 3. 31	在職期間 2年	
	1 1代	菅 原 弥 之 助	昭60. 4. 1	昭62. 3. 31	在職期間 2年	
	1 2代	柿 崎 芳 夫	昭62. 5. 20	昭63. 3. 31	在職期間 1 0 ヶ月	
	1 3代	赤 川 長 重	昭63. 4. 1	平 1. 3. 31	在職期間 1年	
	1 4代	黒 沢 一 男	平 1. 4. 1	平 5. 3. 31	在職期間 4年	
	1 5代	齊 藤 幸 雄	平 5. 4. 1	平 6. 3. 31	在職期間 1年	
	1 6代	新 森 陽 一	平 6. 4. 1	平 7. 3. 31	在職期間 1年	
	1 7代	高 橋 茂 喜	平 7. 4. 1	平 8. 3. 31	在職期間 1年	
	1 8代	佐々木 慎 吾	平 8. 4. 1	平12. 3. 31	在職期間 4年	
	1 9代	金 沢 廣 治	平12. 4. 1	平13. 3. 31	在職期間 1年	
	2 0代	久 米 吉 紀	平13. 4. 1	平16. 3. 31	在職期間 3年	
	2 1代	高 橋 保 夫	平16. 4. 1	平18. 3. 31	在職期間 2年	
	2 2代	東 海 林 隆	平18. 4. 1	平20. 3. 31	在職期間 2年	
	2 3代	佐 藤 定 治	平20. 4. 1	平21. 3. 31	在職期間 1年	
	2 4代	佐 藤 憲 悦	平21. 4. 1	平22. 3. 31	在職期間 1年	
	2 5代	佐 藤 晋 作	平22. 4. 1	平24. 3. 31	在職期間 2年	
	2 6代	藤 原 正 美	平24. 4. 1	平26. 3. 31	在職期間 2年	
	2 7代	小 野 一 男	平26. 4. 1	平27. 3. 31	在職期間 1年 内 通信指令室長兼務1年	
	2 8代	鎌 田 広 行	平27. 4. 1	平30. 3. 31	在職期間 3年	
	2 9代	菅 谷 和 明	平30. 4. 1	平31. 3. 31	在職期間 1年	
	3 0代	菊 地 俊 宏	平31. 4. 1	令 3. 3. 31	在職期間 2年	
	3 1代	鈴 木 勉	令 3. 4. 1	令 4. 3. 31	在職期間 1年	
	3 2代	松 井 正 一	令 4. 4. 1	令 5. 3. 31	在職期間 1年	
	3 3代	中川原 一 智	令 5. 4. 1	現在		

消防相互応援協定等締結状況

令和8年4月1日現在

区分	締 結 先	締 結 種 別 締 結 年 月 日
相互 応援 協 定	大曲仙北広域市町村圏組合	横手市・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防相互応援協定 昭和48年4月1日
	秋田市 大曲仙北広域市町村圏組合	秋田自動車道消防相互応援協定 (横手IC～秋田南IC間) 令和元年8月4日(再締結)
	秋田県内市町・消防一部事務組合	秋田県広域消防相互応援協定 令和8年4月1日(再締結)
	北上地区消防組合	秋田自動車道北上・横手間消防相互応援協定 (横手IC～湯田IC間) 平成19年6月26日(再締結)
	湯沢雄勝広域市町村圏組合	湯沢横手道路消防相互応援協定 (十文字IC～湯沢IC間) 平成9年6月5日
	秋田県・県内市町・消防一部 事務組合	秋田県消防防災ヘリコプター応援協定 令和8年4月1日(再締結)
	北上地区消防組合	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定 平成19年6月26日(再締結)
業 務 協 定	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	横手市・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防相互応援協定覚書 昭和48年4月1日
	秋田市消防本部 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	秋田自動車道消防相互応援協定覚書 (横手IC～秋田南IC間) 令和元年8月4日(再締結)
	秋田県内消防本部	秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書 令和8年4月1日(再締結)
	東日本高速道路株式会社 東北支社	秋田自動車道の救急業務に係る覚書(湯田IC～秋田北IC間) 令和元年8月4日(再締結) (関係消防本部) 秋田市消防本部 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
	北上地区消防組合消防本部	秋田自動車道消防相互応援協定覚書 (横手IC～湯田IC間) 平成19年6月26日(再締結)
	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	湯沢横手道路消防相互応援協定覚書 (横手IC～十文字IC間) 平成9年6月5日
	東日本高速道路株式会社 東北支社	湯沢横手道路における覚書 (湯沢IC～横手IC間) 平成9年6月26日 (関係消防本部) 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
	北上地区消防組合消防本部	北上地区消防組合・横手市消防相互応援協定覚書 平成19年6月26日(再締結)
	東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社・盛岡支社	鉄道災害発生時における消防活動に関する協定書 令和8年4月1日(再締結)
	秋田県南地区生コンクリート 協同組合	災害時における消防用水の確保に関する協定書 平成31年2月27日

予 防



予防実務研修会（株式会社防災対策研究所）の様子

防 火 対 象 物 の 現 況

令和8年3月31日現在

地 域 別		横	増	平	雄	大	十	山	大	合
用 途 別		手	田	鹿	物	森	文	内	雄	計
1	イ 劇場・映画館等	2	1	1		2	1		1	8
	ロ 公会堂又は集会場	23	33	21	11	6	28	9	11	142
2	イ キャバレー・カフェ等						1			1
	ロ 遊技場又はダンスホール	6					2			8
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ カラオケボックス等	3								3
3	イ 待合・料理店等	2			2		1			5
	ロ 飲食店	79	2	8	3		27	2	3	124
4	百貨店・マーケット等	127	3	11	7	3	29	3	3	186
5	イ 旅館・ホテル等	12	6	3	1	3	2		1	28
	ロ 寄宿舍・下宿等	344	9	10	8	5	64	3		443
6	イ（１）病院									
	イ（２）有床診療所									
	イ（３）（１）以外の病院、 （２）以外の有床診療所、有床助産所	5				1				6
	イ（４）無床診療所、無床助産所	30	4	3	1	2	10	2		52
	ロ（１）特別養護老人ホーム等	24	3	12	7	7	9	2	4	68
	ロ（２）救護施設									
	ロ（３）乳児院									
	ロ（４）障害児入所施設									
	ロ（５）障害者支援、短期入所施設								1	1
	ハ（１）老人デイサービスセンター等	8	1	7	3	2	5	1		27
	ハ（２）更生施設									
	ハ（３）助産施設、保育所等	25	1	6	3	2	5	1	1	44
	ハ（４）児童発達支援施設等	2								2
	ハ（５）身体障害者支援施設	21		2	1	1	3		4	32
	ニ 幼稚園・盲学校等	4								4
7	各学校・各種学校	27	13	6	5	1	3		4	59
8	図書館・博物館等	5	3	1	2	1	1			13
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ イ以外の公衆浴場					2				2
10	車両の停車場等	2					1			3
11	神社・寺院等	50	2	23	10	6	8	1	2	102
12	イ 工場又は作業場	237	62	119	70	44	90	14	42	678
	ロ 映画スタジオ等									
13	イ 自動車車庫又は駐車場	42	4	11	4	6	7	7	3	84
	ロ 飛行機の格納庫等									
14	倉庫	175	31	79	45	30	64	7	22	453
15	前各項に該当しない対象物	345	28	75	84	42	71	12	27	684
16	イ 複合用途対象物（特定）	162	28	22	22	15	47	6	8	310
	ロ イ以外の複合用途	87	12	18	10	11	33	5	9	185
17	文化財等	1	10		4	1				16
合 計		1,850	256	438	303	193	512	75	146	3,773

用途別中高層建築物の現況

令和8年3月31日現在

用途別		防火対象物数	中高層建築物								
			3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階
1	イ 劇場・映画館等	8	1	1							
	ロ 公会堂又は集会場	142	1	1							
2	イ キャバレー・カフェ等	1									
	ロ 遊技場又はダンスホール	8	1								
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等										
	ニ カラオケボックス等	3									
3	イ 待合・料理店等	5			1						
	ロ 飲食店	124	4	1							
4	百貨店・マーケット等	186									
5	イ 旅館・ホテル等	28		8		1		3	1		
	ロ 寄宿舎・下宿等	443	28		12		1			1	1
6	イ（１）病院										
	イ（２）有床診療所										
	イ（３）（１）以外の病院 （２）以外の有床診療所、有床助産所	6			2	1			1		
	イ（４）無床診療所、無床助産所	52	2	1							
	ロ（１）特別養護老人ホーム等	68	2	1							
	ロ（２）救護施設										
	ロ（３）乳児院										
	ロ（４）障害児入所施設										
	ロ（５）障害者支援、短期入所施設	1									
	ハ（１）老人デイサービスセンター等	27		1							
	ハ（２）更生施設										
	ハ（３）助産施設、保育所等	44									
	ハ（４）児童発達支援施設等	2									
	ハ（５）身体障害者支援施設	32	2								
	ニ 幼稚園・盲学校等	4									
7	各学校・各種学校	59	21	5							
8	図書館・博物館等	13		8				1			
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等										
	ロ イ以外の公衆浴場	2									
10	車両の停車場等	3									
11	神社・寺院等	102	6								
12	イ 工場又は作業場	678	13	1							
	ロ 映画スタジオ等										
13	イ 自動車車庫又は駐車場	84	1	1							
	ロ 飛行機の格納庫等										
14	倉庫	453		1							
15	前各項に該当しない対象物	684	44	9	4	1		2			
16	イ 複合用途対象物（特定）	310	43	5	3	2	2				
	ロ イ以外の複合用途	185	23	1	2		1				
17	文化財等	16									
合 計		3,773	192	45	24	5	4	6	2	1	1

用途別消防用設備等の設置状況（棟別）

令和8年3月31日現在

消防用設備等 用 途 別		消 火 設 備			警 報 設 備			避難設備	
		消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯
1	イ 劇場・映画館等	8	4		8		8		8
	ロ 公会堂又は集会場	107	19		54	7	151	39	130
2	イ キャバレー・カフェー等	1					1		1
	ロ 遊技場又はダンスホール	8	1	1	7		6		8
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
	ニ カラオケボックス等	3			3	1			3
3	イ 待合・料理店等	4	1		3	1	1	3	5
	ロ 飲食店	119	1		34	5	24	17	117
4	百貨店・マーケット等	176	17	7	100	2	71		174
5	イ 旅館・ホテル等	27	7	2	30	4	9	4	25
	ロ 寄宿舍・下宿等	431	2		45	4	13	28	18
6	イ（１）病院								
	イ（２）有床診療所								
	イ（３）（１）以外の病院、（２）以外の有床診療所、有床助産所	6	2	5	5		5	3	5
	イ（４）無床診療所、無床助産所	53			24	4	5		52
	ロ（１）特別養護老人ホーム等	68	2	66	67		17	8	68
	ロ（２）救護施設								
	ロ（３）乳児院								
	ロ（４）障害児入所施設								
	ロ（５）障害者支援、短期入所施設	1		1	1		1		1
	ハ（１）老人デイサービスセンター等	24	2	2	15		9	1	26
	ハ（２）更生施設								
	ハ（３）助産施設、保育所等	42	7		39	1	12	3	43
	ハ（４）児童発達支援施設等	1							3
	ハ（５）身体障害者支援施設	27		1	20		4	4	32
	ニ 幼稚園・盲学校等	4	2		4			3	4
7	各学校・各種学校	59	40		46		28	16	38
8	図書館・博物館等	10	3		10		9	2	9
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ イ以外の公衆浴場	2	1		1				2
10	車両の停車場等	3	1		2		1		1
11	神社・寺院等	88	5		14	11	31	2	17
12	イ 工場又は作業場	657	106		271	11	14		89
	ロ 映画スタジオ等								
13	イ 自動車車庫又は駐車場	73			15				6
	ロ 飛行機の格納庫等								
14	倉庫	429	28		131	2	1		43
15	前各項に該当しない対象物	464	23		94	1	50	7	171
16	イ 複合用途対象物（特定）	267	21	18	185	9	43	22	274
	ロ イ以外の複合用途	153	4		29	5	5	6	56
17	文化財等	6			6	4			4
合 計		3,321	299	103	1,263	72	519	168	1,433

用途別消防用設備等点検結果報告件数

令和7年度中

地域別 用途別		横 手	増 田	平 鹿	雄 物 川	大 森	十 文 字	山 内	大 雄	合 計
1	イ 劇場・映画館等	1	1	1		2	1		1	7
	ロ 公会堂又は集会場	14	5	14	12	6	8	9	6	74
2	イ キャバレー・カフェー等									
	ロ 遊技場又はダンスホール	3					1			4
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ カラオケボックス等	3								3
3	イ 待合・料理店等									
	ロ 飲食店	2	1	1	1	1	5		1	12
4	百貨店・マーケット等	73	3	9	8	3	12	1	2	111
5	イ 旅館・ホテル等	7	1	1	1	3			1	14
	ロ 寄宿舎・下宿等	26	3	5	2	5	5	1		47
6	イ（１）病院									
	イ（２）有床診療所									
	イ（３）(1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所	5				1				6
	イ（４）無床診療所、無床助産所	1	2	2		1	5	2		13
	ロ（１）特別養護老人ホーム等	15	3	1	7	5		2	2	35
	ロ（２）救護施設									
	ロ（３）乳児院									
	ロ（４）障害児入所施設									
	ロ（５）障害者支援、短期入所施設								1	1
	ハ（１）老人デイサービスセンター等	4		6	3	1	1	1		16
	ハ（２）更生施設									
	ハ（３）助産施設、保育所等	1	1	5	3	2	5	1	1	19
	ハ（４）児童発達支援施設等	1								1
	ハ（５）身体障害者支援施設	1		1		1	2		4	9
	ニ 幼稚園・盲学校等	3								3
7	各学校・各種学校	24	13	5	5	1	3	1	4	56
8	図書館・博物館等	2		1	2	1	1			7
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ イ以外の公衆浴場					2				2
10	車両の停車場等	1					1			2
11	神社・寺院等	18	1	7	2	1	1	1		31
12	イ 工場又は作業場	98	33	57	34	17	26	9	15	289
	ロ 映画スタジオ等									
13	イ 自動車車庫又は駐車場	8	3	3	2	3		7	2	28
	ロ 飛行機の格納庫等									
14	倉庫	67	15	2	23	8	18	4	8	145
15	前各項に該当しない対象物	121	17	29	19	21	18	13	15	253
16	イ 複合用途対象物（特定）	48	1	12	1	7	8	5	6	88
	ロ イ以外の複合用途	13	5	2			9	2	2	33
17	文化財等	1			4	1				6
合 計		561	108	164	129	93	130	59	71	1,315

用 途 別 立 入 検 査 状 況

令和7年度中

地 域 別 用 途 別		横 手	増 田	平 鹿	雄 物 川	大 森	十 文 字	山 内	大 雄	合 計
1	イ 劇場・映画館等									
	ロ 公会堂又は集会場	4	2	5		2	5	3		21
2	イ キャバレー・カフェ等									
	ロ 遊技場又はダンスホール	2								2
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ カラオケボックス等									
3	イ 待合・料理店等									
	ロ 飲食店	9		3		1	3	1	1	18
4	百貨店・マーケット等	22		3	3	2	7		1	38
5	イ 旅館・ホテル等	1	3		1	2	2		1	10
	ロ 寄宿舍・下宿等	2	2		2	2				8
6	イ（１）病院									
	イ（２）有床診療所									
	イ（３）(1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所	2								2
	イ（４）無床診療所、無床助産所	7				1	3			11
	ロ（１）特別養護老人ホーム等	2	2	1			3	2		10
	ロ（２）救護施設									
	ロ（３）乳児院									
	ロ（４）障害児入所施設									
	ロ（５）障害者支援、短期入所施設									
	ハ（１）老人デイサービスセンター等				1	1	1			3
	ハ（２）更生施設									
	ハ（３）助産施設、保育所等	6		4		1	2	1		14
	ハ（４）児童発達支援施設等									
	ハ（５）身体障害者支援施設						2			2
	ニ 幼稚園・盲学校等									
7	各学校・各種学校	18			9					27
8	図書館・博物館等									
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ イ以外の公衆浴場					1				1
10	車両の停車場等									
11	神社・寺院等	2		1			2	1		6
12	イ 工場又は作業場	16	4	24		2	1	1	2	50
	ロ 映画スタジオ等									
13	イ 自動車車庫又は駐車場	14	1	4				3		22
	ロ 飛行機の格納庫等									
14	倉庫	7	2	9	8	2	1	1	3	33
15	前各項に該当しない対象物	33		9		8	4	3	2	59
16	イ 複合用途対象物（特定）	19	5	4	2	5	9	4	1	49
	ロ イ以外の複合用途	5		2			3			10
17	文化財等					1				1
合 計		171	21	69	26	31	48	20	11	397

建築同意等事務処理件数

令和7年度中

地 域 別		横	増	平	雄	大	十	山	大	合
用 途 別		手	田	鹿	物	森	文	内	雄	計
1	イ 劇場・映画館等									
	ロ 公会堂又は集会場	2		1						3
2	イ キャバレー・カフェ等									
	ロ 遊技場又はダンスホール	1								1
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ カラオケボックス等									
3	イ 待合・料理店等									
	ロ 飲食店	2								2
4	百貨店・マーケット等	2								2
5	イ 旅館・ホテル等									
	ロ 寄宿舍・下宿等	1								1
6	イ（１）病院									
	イ（２）有床診療所									
	イ（３）（１）以外の病院、 （２）以外の有床診療所、有床助産所									
	イ（４）無床診療所、無床助産所									
	ロ（１）特別養護老人ホーム等	1								1
	ロ（２）救護施設									
	ロ（３）乳児院									
	ロ（４）障害児入所施設									
	ロ（５）障害者支援、短期入所施設									
	ハ（１）老人デイサービスセンター等									
	ハ（２）更生施設									
	ハ（３）助産施設、保育所等	1					1			2
	ハ（４）児童発達支援施設等									
	ハ（５）身体障害者支援施設									
	ニ 幼稚園・盲学校等									
7	各学校・各種学校	1								1
8	図書館・博物館等									
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ イ以外の公衆浴場									
10	車両の停車場等									
11	神社・寺院等			1						1
12	イ 工場又は作業場	3		3		1				7
	ロ 映画スタジオ等									
13	イ 自動車車庫又は駐車場	2		2					1	5
	ロ 飛行機の格納庫等									
14	倉庫	6		3	4		1			14
15	前各項に該当しない対象物	9			1			1		11
16	イ 複合用途対象物（特定）	3					1			4
	ロ イ以外の複合用途	1								1
17	文化財等									
そ の 他 ・ 一 般 住 宅		27		1	3	3	1			35
合 計		62		11	8	4	4	1	1	91

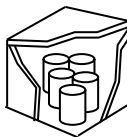
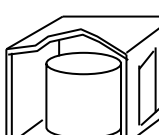
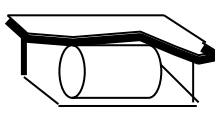
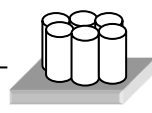
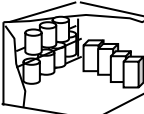
防 火 管 理 者 選 任 状 況

令和8年3月31日現在

区 分 用 途 別		甲 種		乙 種	
		法第8条 該当防火 対象物数	防火管理 者届出済 対象物数	法第8条 該当防火 対象物数	防火管理 者届出済 対象物数
1	イ 劇場・映画館等	5	5		
	ロ 公会堂又は集会場	51	51	98	74
2	イ キャバレー・カフェー等			1	1
	ロ 遊技場又はダンスホール	7	7		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等				
	ニ カラオケボックス等	3	3		
3	イ 待合・料理店等	3	3		
	ロ 飲食店	29	25	39	33
4	百貨店・マーケット等	93	88	48	41
5	イ 旅館・ホテル等	17	17		
	ロ 寄宿舍・下宿等	6	5	1	1
6	イ（１）病院				
	イ（２）有床診療所				
	イ（３）(1)以外の病院、 (2)以外の有床診療所、有床助産所	4	4		
	イ（４）無床診療所、無床助産所	2	2		
	ロ（１）特別養護老人ホーム等	62	61		
	ロ（２）救護施設				
	ロ（３）乳児院				
	ロ（４）障害児入所施設				
	ロ（５）障害者支援、短期入所施設	1	1		
	ハ（１）老人デイサービスセンター等	10	9	3	3
	ハ（２）更生施設				
	ハ（３）助産施設、保育所等	31	31		
	ハ（４）児童発達支援施設等				
	ハ（５）身体障害者支援施設	3	3	2	2
	ニ 幼稚園・盲学校等	4	4		
7	各学校・各種学校	27	27	1	1
8	図書館・博物館等	6	6	3	3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等				
	ロ イ以外の公衆浴場	1	1		
10	車両の停車場等				
11	神社・寺院等	34	30	4	2
12	イ 工場又は作業場	41	40		
	ロ 映画スタジオ等				
13	イ 自動車車庫又は駐車場				
	ロ 飛行機の格納庫等				
14	倉庫				
15	前各項に該当しない対象物	73	69	24	18
16	イ 複合用途対象物（特定）	100	89	17	15
	ロ イ以外の複合用途	20	17	2	1
17	文化財等	1	1		
合 計		634	599	243	195

地域別危険物施設数

令和8年3月31日現在

		横手	増田	平鹿	雄物川	大森	十文字	山内	大雄	合計		
危険物施設	貯蔵所	屋内貯蔵所		18	3	1	2	2	1		1	28
		屋外タンク貯蔵所		11	2	1	3	3	4		1	25
		屋内タンク貯蔵所		1								1
		地下タンク貯蔵所		53	9	19	16	11	15	5	5	133
		簡易タンク貯蔵所						1				1
		移動タンク貯蔵所		48	8	9	20	8	9	3	2	107
		屋外貯蔵所					1	1	1			3
危険物施設	取扱所	(営業)給油取扱所(他)		15	3	4	5	4	3	1	1	36
		販売取扱所		15		3					1	19
		一般取扱所		1								1
		一般取扱所		27	6	7	3	6	4		2	55
合計				189	31	44	50	36	37	9	13	409

危険物施設検査状況

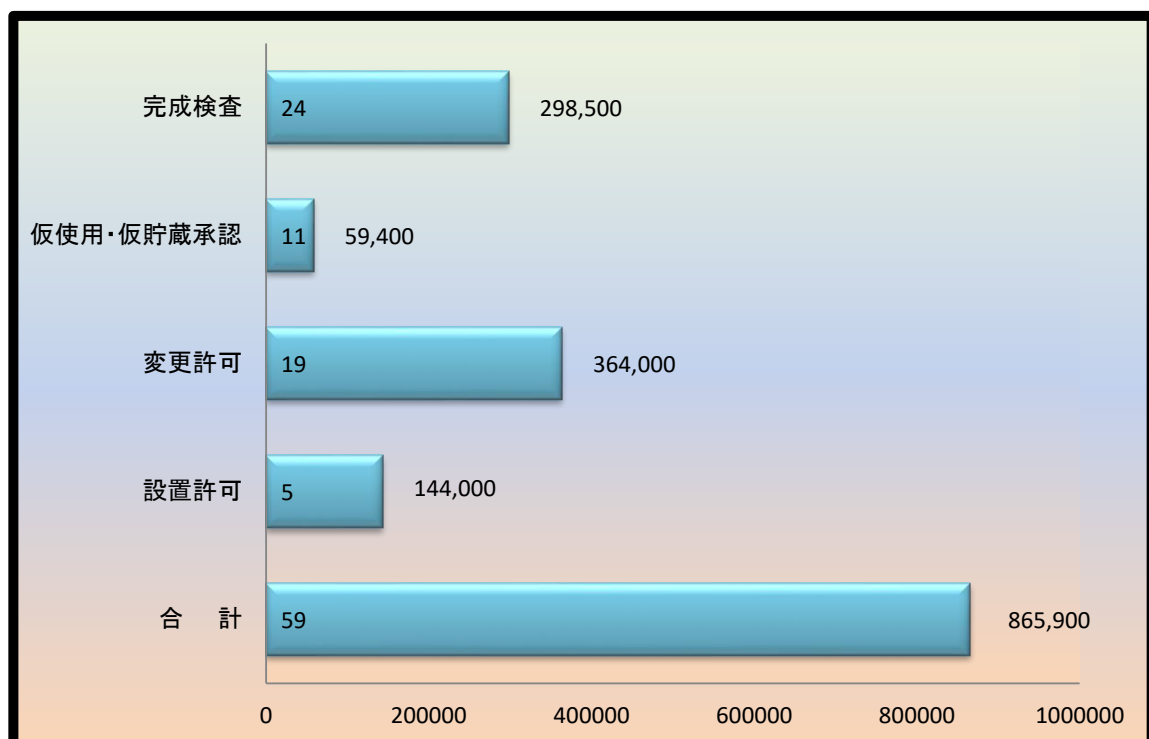
令和7年度中

区 分		項 目	施 設 数	立入検査件数
貯蔵所	屋 内	貯 蔵 所	28	6
	屋 外	タ ン ク 貯 蔵 所	25	5
	屋 内	タ ン ク 貯 蔵 所	1	1
	地 下	タ ン ク 貯 蔵 所	133	33
	簡 易	タ ン ク 貯 蔵 所	1	1
	移 動	タ ン ク 貯 蔵 所	107	56
	屋 外	貯 蔵 所	3	
取扱所	給 油	取 扱 所	55	40
	販 売	取 扱 所	1	
	一 般	取 扱 所	55	15
合 計			409	157

危険物手数料徴収状況

令和7年度中

項 目	件 数	料 金 (円)
完成検査	24	298,500
仮使用・仮貯蔵承認	11	59,400
変更許可	19	364,000
設置許可	5	144,000
合 計	59	865,900



幼 年 消 防 ク ラ ブ 火 災 予 防 組 合 結 成 状 況

令和8年3月31日現在

区 分 地域局別	幼 年		少 年		婦 人		計	
	団体数	人	団体数	人	団体数	人	団体数	人
横 手	13	730			6	528	19	1,258
増 田	1	62			1	100	2	162
平 鹿	5	205			3	276	8	481
雄物川	1	51			6	530	7	581
大 森	2	47			1	1,985	3	2,032
十文字	3	191			46	1,682	49	1,873
山 内	1	32			1	26	2	58
大 雄	1	46	4	17	1	47	6	110
合 計	27	1,364	4	17	65	5,174	96	6,555

過 去 5 年 間 の 火 災 概 況

年 別		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
区 分						
火災件数	建 物	21	13	17	23	19
	林 野	2	2	3	3	1
	車 両	1	1	3	5	3
	その他	15	13	9	17	7
	計	39	29	32	48	30
出 動	人 員	645	514	598	653	537
	ポンプ車	121	109	104	115	89
焼失程度	全 焼	12	10	13	10	18
	半 焼	3	2	3	1	7
	部分焼	14	5	13	9	9
	ぼ や	14	7	8	13	8
罹災世帯	全 損	7	4	11	8	9
	半 損		1			2
	小 損	14	8	11	16	9
焼失面積	建 物 (㎡)	2,813	3,134	2,591	2,603	2,881
	林 野 (a)	12	27	98	206	10
死傷者	死 者	1		3		4
	傷 者	5	8	14	16	8
損害見積額	建 物 (千円)	115,205	132,636	43,329	83,224	131,891
	内容物 (千円)	17,254	46,453	20,495	34,438	24,586
	林 野 (千円)	105			60	
	車 両 (千円)	352	570	768	5,822	1,040
	その他 (千円)	231	7,290	56	2,739	689
	計 (千円)	133,147	186,949	64,648	126,283	158,206

過去5年間の火災原因

年 原因別	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
たばこ	1	2	1	1	
こんろ		1	3	4	
かまど					
風呂かまど	1				
炉				1	
焼却炉			1		
ストーブ	1	2	2	1	4
こたつ					
ボイラー					
煙突・煙道	1	1		1	
排気管				1	
電気機器			1	3	1
電気装置		1	3	1	1
電灯・電話等の配線		2		2	
内燃機関	1	1			
配線器具	5		1	2	4
火遊び					
マッチ・ライター					
溶断機・切断機	2				1
灯 火				1	
衝突の火花					
取 灰	1				
火 入 れ				1	
放 火	1	2	1	2	3
放火の疑い		2	1	1	
ごみ焼き等	12	10	11	14	4
そ の 他	8	3		7	7
不明・調査中	5	2	7	5	5
合 計	39	29	32	48	30

過去５年間の主なる火災（損害額一千万円以上）

年	月	出火時間	鎮火時間	火災種別	出火原因	焼 損 棟 数				焼損面積	罹 災 状 況	死 者	傷 者	損害額
						全焼	半焼	部分焼	ぼや	m ²	世帯 人員			(千円)
3	6月	8:50	12:32	建物	不明	4	1	4		764	3 7			85,472
4	9月	14:15	22:52	建物	自動半田付け装置の高温となっていたプロペラシャフトやベアリングの可動部に第2石油類をかけたことにより発火、延焼拡大したもの		1			1,798			1	140,916
	9月	17:40	21:09	建物	屋内電気配線が短絡し配線被覆に着火、延焼拡大したと推定	3		2	1	540	3 13			22,832
5	5月	17:30	20:52	建物	草焼の火種が断熱材に飛火し通風口の空気の流入で延焼拡大したもの	3		3	1	699	5 13		1	15,140
	12月	4:15	11:20	建物	トラッキング現象が生じ、紙類や配線被覆に着火、延焼拡大したもの	2		5	1	821	6 23	1	2	22,287
6	3月	5:30	11:15	建物	低圧コンデンサーの絶縁劣化により発熱し、合成樹脂と成形品へ着火し延焼拡大したもの	3		1	1	451	4 10			62,173
	10月	20:20	22:29	建物	不明				1					19,708
	11月	2:00	5:45	建物	不明	1		1		349	2 14			13,295
7	2月	13:00	18:10	建物	不明	3	1			125	3 5	1		49,834
	3月	5:30	10:40	建物	吊り下げていたガスブルーダーが落下、床に敷いていたコンクリートパネルに裸火が直接触れ、延焼拡大したもの	3				490				22,297
	4月	19:00	22:17	建物	ストーブより輻射を受け発火し、紙屑等へ着火し延焼拡大したもの	1	1	1		98	6 8	1	3	14,389
	4月	17:10	19:59	建物	不明	1			1	152	1 4	1		23,463

警 防



令和7年度納入 横手ポンプ1号車

車 両 配 置 状 況

令和8年4月1日現在

区 分 所 属	計	ポ ン プ 車	タ ン ク 車	梯 子 車	化 学 車	救 助 工 作 車	救 急 車	指 揮 車	査 察 車	広 報 車	資 器 材 搬 送 車	連 絡 車
消 防 本 部	8	1	1					2	1	1	1	1
消 防 署	8	1	1	1	1	1	2				1	
南 分 署	6	1	1				2			2		
西 分 署	6	1	1				2			2		
平 鹿 分 署	4	1	1				1			1		
山 内 分 署	3	1					1			1		
計	35	6	5	1	1	1	8	2	1	7	2	1

消防車両等一覧表

令和8年4月1日現在

区分 所属	種 別	車 名	車両番号	年式	型別	ポンプ 製作所	登 録 年月日	備 考
消防本部	指 揮 車	トヨタ	秋田830 さ1702	H29	—	—	H29. 2. 23	
	指 揮 車	トヨタ	秋田830 さ2301	R5	—	—	R5. 1. 18	
	査 察 車	日 産	秋田800 す1807	H25	—	—	H25. 11. 15	
	連 絡 車	ホンダ	秋田300 の9053	H21	—	—	H21. 11. 17	
	広 報 車	トヨタ	秋田800 さ3762	H14	—	—	H14. 8. 28	
	ポ ン プ 車	三 菱	秋田800 さ3156	H14	CD- I	日 機	H14. 2. 13	
	タ ン ク 車	日 野	秋田800 は245	H15	II	日 機	H15. 3. 7	積載水2,500 ℓ
	資器材搬送車	トヨタ	秋田800 さ9080	H21	—	—	H21. 7. 9	1.35 tトラック
消防署	ポ ン プ 車	いすゞ	秋田830 さ2507	R7	CD- I	日 機	R7. 7. 22	
	タ ン ク 車	いすゞ	秋田830 さ2202	R4	II	長野ポンプ	R4. 2. 15	積載水3,000 ℓ
	化 学 車	日 野	秋田800 は398	H17	III	日 機	H17. 3. 11	薬剤1,200ℓ、積載水2,000ℓ
	救 助 工 作 車	日 野	秋田830 さ1912	R1	II	—	R1. 12. 19	
	梯 子 車	日 野	秋田830 ち2012	R2	35M級	—	R2. 12. 21	
	資器材搬送車	いすゞ	秋田830 す2503	R7	—	—	R7. 3. 12	2.0 tトラック
	救 急 車	トヨタ	秋田830 さ2209	R4	—	—	R4. 9. 16	
	救 急 車	トヨタ	秋田830 す1602	H28	—	—	H28. 2. 26	市民より寄贈

南 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田800す1168	H24	CD- I	日 機	H24. 11. 2	
	タ ン ク 車	い す ゞ	秋田830 さ1403	H26	I-B	日 機	H26. 3. 3	CAFS装置付き、積載水1,500ℓ
	救 急 車	ト ヨ タ	秋田800す4891	H30	—	—	H30. 10. 4	
	救 急 車	ト ヨ タ	秋田830 さ2110	R3	—	—	R3. 10. 29	
	広 報 車	ダイハツ	秋田883 あ1908	R1	—	—	R1. 8. 20	
	広 報 車	日 産	秋田800 さ9347	H21	—	—	H21. 11. 30	
西 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830 せ1911	R1	CD- I	日 機	R1. 11. 28	
	タ ン ク 車	い す ゞ	秋田830 さ1402	H26	II	日 機	H26. 2. 13	積載水2,000ℓ
	救 急 車	ト ヨ タ	秋田830 す1909	R1	—	—	R1. 9. 20	
	救 急 車	ト ヨ タ	秋田830 さ2509	R7	—	—	R7. 9. 10	
	広 報 車	ダイハツ	秋田883 あ2301	R5	—	—	R5. 1. 18	
	広 報 車	日 産	秋田800 さ9346	H21	—	—	H21. 11. 30	
平 鹿 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田800す3616	H28	CD- I	日 機	H28. 11. 1	
	タ ン ク 車	い す ゞ	秋田830 さ1412	H26	I-B	日 機	H26. 12. 17	CAFS装置付き、積載水1,500ℓ
	救 急 車	ト ヨ タ	秋田830 さ2510	R7	—	—	R7. 9. 10	
	広 報 車	ト ヨ タ	秋田830 せ2411	R6	—	—	R6. 11. 18	
山 内 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830 さ1712	H29	CD- I	日 機	H29. 12. 4	
	救 急 車	ト ヨ タ	秋田830 さ2401	R6	—	—	R6. 1. 18	
	広 報 車	日 産	秋田800 さ9348	H21	—	—	H21. 11. 30	

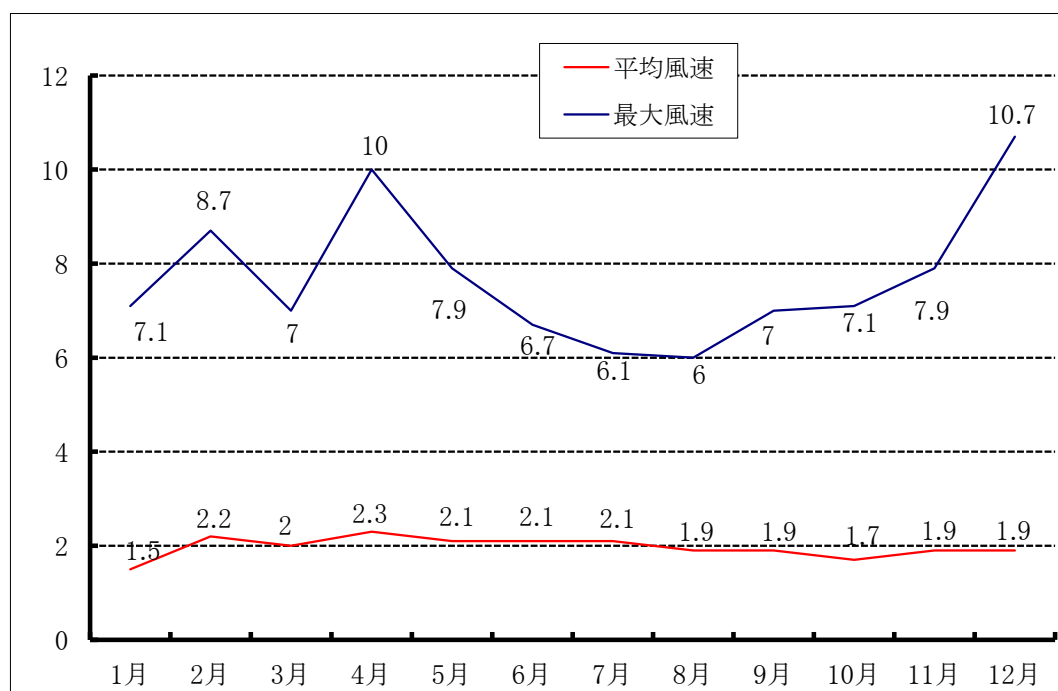
気 象 統 計

(令和7年)
気象庁観測

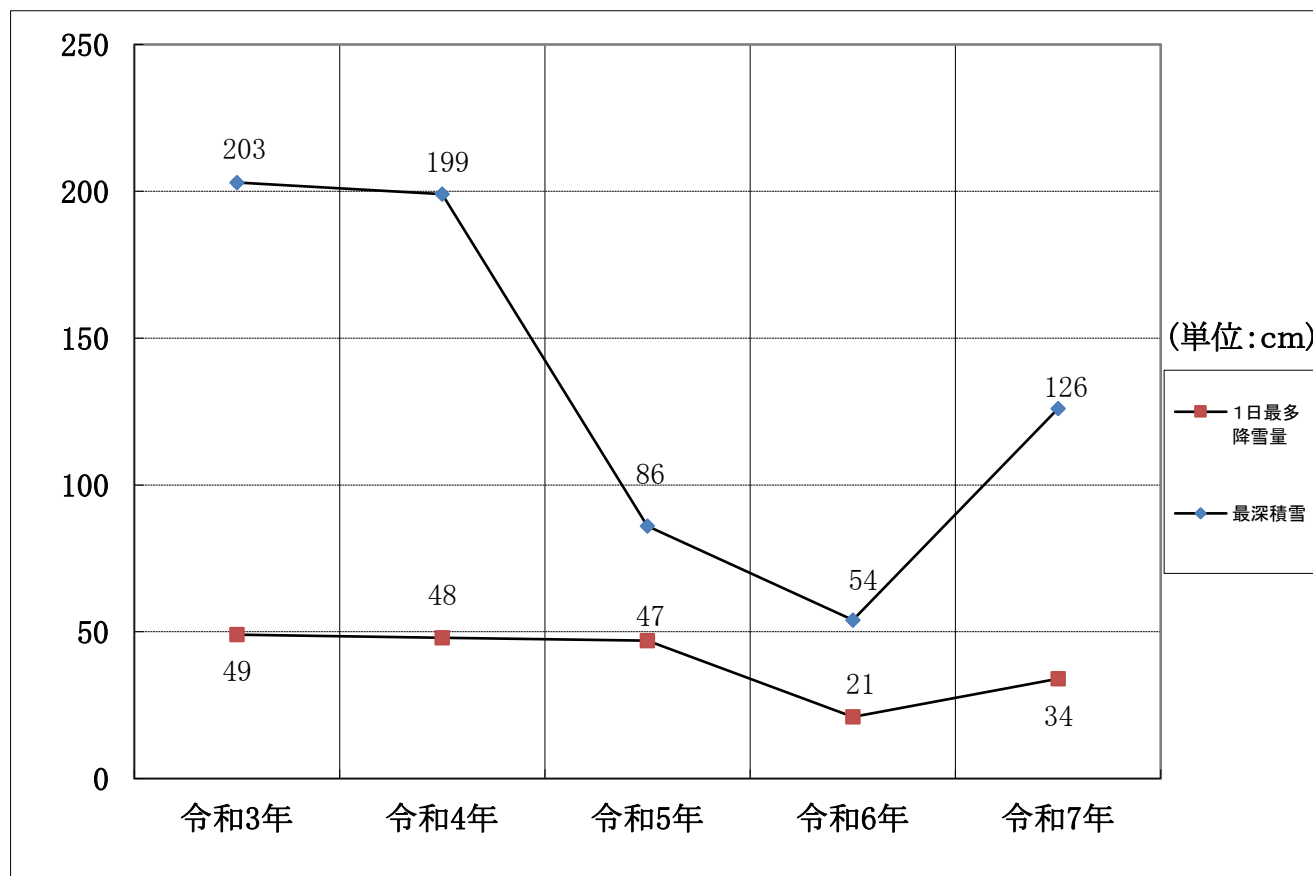
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大風速	7.1	8.7	7	10	7.9	6.7	6.1	6	7	7.1	7.9	10.7
平均風速	1.5	2.2	2	2.3	2.1	2.1	2.1	1.9	1.9	1.7	1.9	1.9
最高気温	7.6	11.6	16.2	25.6	28.7	35.4	38	37.4	35	27.8	17.6	17.2
最低気温	-8.9	-7.8	-3.6	-2.7	3.3	10.4	17.6	18.9	12.3	1.6	-1	-4.8
平均気温	-0.2	-0.4	3.7	10.3	15.4	22.1	27.2	26.6	22.1	14.1	7.3	2.4
最小湿度	50	34	28	18	16	29	29	19	31	34	43	46
平均湿度	95	87	80	82	78	80	77	82	85	84	88	94
降水量mm	150.5	149.5	70.5	129	138.5	53	35.5	178	202.5	143.5	178.5	270.5
降雪量cm	184	202	31	—	—	—	—	—	—	—	—	163
最深積雪cm	101	126	81	—	—	—	—	—	—	—	—	54

月別平均風速と最大風速

(令和7年)
気象庁観測

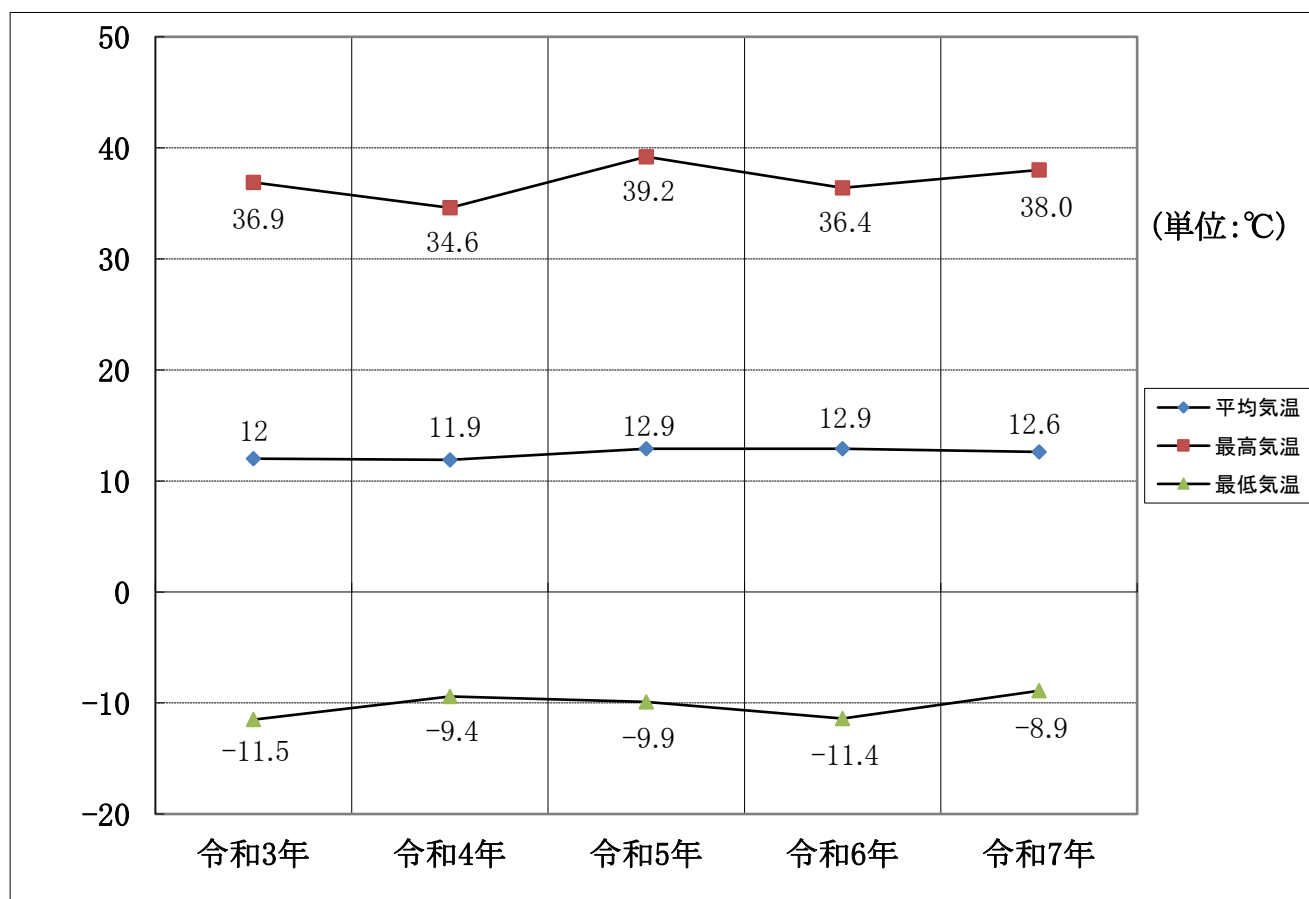


過去5年間の1日最多降雪量、最深積雪（寒候年）



気象庁ウェブサイト(<https://www.data.jma.go.jp>)から引用

過去5年間の気温の推移



気象庁ウェブサイト(<https://www.data.jma.go.jp>)から引用

救 助 概 況

出動件数 活動件数 救助人員 事故種別	令和 3 年			令和 4 年			令和 5 年			令和 6 年			令和 7 年		
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
合 計	47	25	26	46	25	29	48	18	19	43	16	28	57	31	31
建 物 火 災													2	2	2
火 災 (建 物 以 外)															
交 通 事 故	17	7	7	25	15	19	33	8	9	26	9	11	38	19	19
水 難 事 故	4	3	3	3	1	1	4	3	3	3	2	2	3	2	2
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	1	1	1	1	1	1				2	1	11			
機 械 に よ る 事 故	1			2			4	4	4	3			3	2	2
建 物 等 に よ る 事 故	1	1	1				2	2	2	1			2	1	1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故				1	1	1	2			1			3	2	2
破 裂 事 故															
そ の 他 の 事 故	23	13	14	14	7	7	3	1	1	7	4	4	6	3	3

救助器具 保有一覧

令和8年4月1日現在

器具名	個数	器具名	個数	器具名	個数
一般救助用器具		呼吸保護用器具		高度救助用器具	
かぎ付きはしご	5	空気呼吸器	57	画像探索機	1
三連梯子	14	空気補充用ボンベ		地中音響探知機	
金属製折りたたみはしご・ワイヤーはしご	7	酸素呼吸器	5	熱画像直視装置	7
空気式救助マット	1	簡易呼吸器	2	夜間用暗視装置	
救命索発射銃	1	防塵マスク	138	電磁波探査装置	
救助用縛帯	15	送排風機	2	二酸化炭素探査装置	
平担架	9	エアラインマスク		水中探査装置	
重量物排除用器具		隊員保護用器具		地震警報器	
油圧ジャッキ	3	耐電手袋	17	その他の救助用器具	
油圧スプレッダー	2	耐電衣	6	投光器	23
可搬ウィンチ	6	耐電ズボン	6	携帯投光器	37
マンホール救助器具	1	耐電長靴	6	携帯拡声器	25
救助用簡易起重機		防塵メガネ	49	携帯無線機	29
マット型空気ジャッキ（一式）	2	携帯警報機	50	応急処置用セット	4
大型油圧スプレッダー	7	防毒マスク	15	車両移動器具	4
救助用支柱器具	1	化学防護服	40	緩降機	4
チェーンブロック	1	陽圧式化学防護服	5	ロープ登降機	8
切断用器具		耐熱服	2	救助用降下機	4
油圧切断機	3	放射線防護服	2	発電機	15
エンジンカッター	9	特殊ヘルメット	40	その他	
ガス溶断器	1	除染用器具		大型ブロアー	
チェーンソー	11	除染シャワー	1	ウォーターカッター	
鉄線カッター	11	除染剤散布器	2		
空気鋸	2	水難救助用器具			
大型油圧切断機	6	潜水器具	11		
空気切断機	1	救命胴衣	93		
コンクリートチェーンソー	1	水中投光器	12		
破壊用器具		救命浮環	40		
万能斧	30	浮標	1		
ハンマー	14	救命ボート	4		
携帯用コンクリート破壊器具	6	船外機	1		
削岩機	1	水中スクーター			
ハンマドリル	1	水中無線機	5		
検知・測定用器具		水中時計	8		
生物剤検知器		水中テレビカメラ	1		
可燃性ガス測定器	2	山岳救助用器具			
有毒ガス測定器	2	登山器具			
酸素濃度測定器	2	バスケット型担架	4		
放射線測定器	20	検索用器具			
化学剤検知器	1	簡易画像探索機	1		

指令



通信指令台

指令設備

《機器構成》 令和8年4月1日現在

項	機器名	数量	備考
1	指令装置		
	(1) 指令台	3 台	1 席 4 画面構成 通常時：指令 1 席 4 画面× 3 輻輳時：指令台 1 席 2 画面× 6
	(2) 自動出動指定装置	1 式	
	ア 制御処理装置	1 式	サーバ 2 台による二重化構成
	イ ディスプレイ		
	a 制御処理装置	3 台	地図等検索装置の制御処理装置も兼ねる
	b ディスプレイ	3 面	タッチディスプレイ
	(3) 地図等検索装置		
	ア 地図等検索装置		1 (2) イ a 項にて機能を実現
	イ 地図用ディスプレイ	3 面	タッチディスプレイ
	ウ 地図データ	1 式	
	(4) 支援情報表示装置		
	ア 制御処理装置	3 台	受付補助装置の制御処理装置も兼ねる
	イ 支援情報ディスプレイ	3 面	タッチディスプレイ
	(5) 受付補助装置		
	ア 制御処理装置		1 (4) ア項にて機能を実現
	イ 受付補助ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
	(6) 手書きメモ入力装置		1 (5) 項にて機能を実現
	(7) 長時間録音装置	1 台	1 6 チャンネル収容
	(8) 非常用指令設備	1 式	光 I P 対応
	(9) 指令制御装置	1 式	光 I P 対応
	(1 0) 携帯電話・I P 電話受信転送装置		1 (8) 項にて機能を実現
	(1 1) プリンタ	1 台	
	(1 2) カラープリンタ	1 台	
	(1 3) カラー A 1 プロッター	1 台	指揮台分含む
	(1 4) 拡張台	4 台	
	(1 5) データメンテナンス		
	ア 制御処理装置	1 式	
	イ ディスプレイ	1 台	
	(1 6) 事案共有サーバ	1 式	

項	機器名	数量	備考
2	表示盤		
	(1) 支援情報表示盤	1 面	8 6 型液晶ディスプレイ
	(2) 車両運用表示盤	1 面	8 6 型液晶ディスプレイ
	(3) 多目的情報表示盤	2 面	8 6 型液晶ディスプレイ
	(4) 映像制御装置	1 式	
	(5) 表示盤端末		
	ア 制御処理装置	1 式	車両運用表示、支援情報表示
	イ ディスプレイ	1 式	
3	指揮台		
	(1) 指揮台	1 台	1 席 4 画面構成 通常時：指令台 1 席 4 画面×3 輻輳時：指令台 1 席 2 画面×6
	(2) 自動出動指定装置		
	ア ディスプレイ		
	a 制御処理装置	1 台	地図等検索装置の制御処理装置も兼ねる
	b ディスプレイ	1 面	タッチディスプレイ
	(3) 地図等検索装置		
	ア 地図検索装置		3 (2) ア a 項にて機能を実現
	イ 地図用ディスプレイ	1 台	タッチディスプレイ
	ウ 地図データ	1 式	
	(4) 支援情報表示装置		
	ア 制御処理装置	1 台	受付補助装置の制御処理装置も兼ねる
	イ 支援情報ディスプレイ	1 台	タッチディスプレイ
	(5) 受付補助装置		
	ア 制御処理装置		3 (4) ア 項にて機能を実現
	イ 受付補助ディスプレイ	1 台	タッチディスプレイ
4	指令電送装置		
	(1) 指令情報送信装置	1 式	1 (2) ア 項にて機能を実現
5	気象情報収集装置		
	(1) 気象情報収集装置	1 式	
	(2) 気象情報収集端末	1 式	風向、気温、湿度、雨量
6	災害状況等自動案内	1 式	
7	順次指令装置	1 式	電話回線対応型

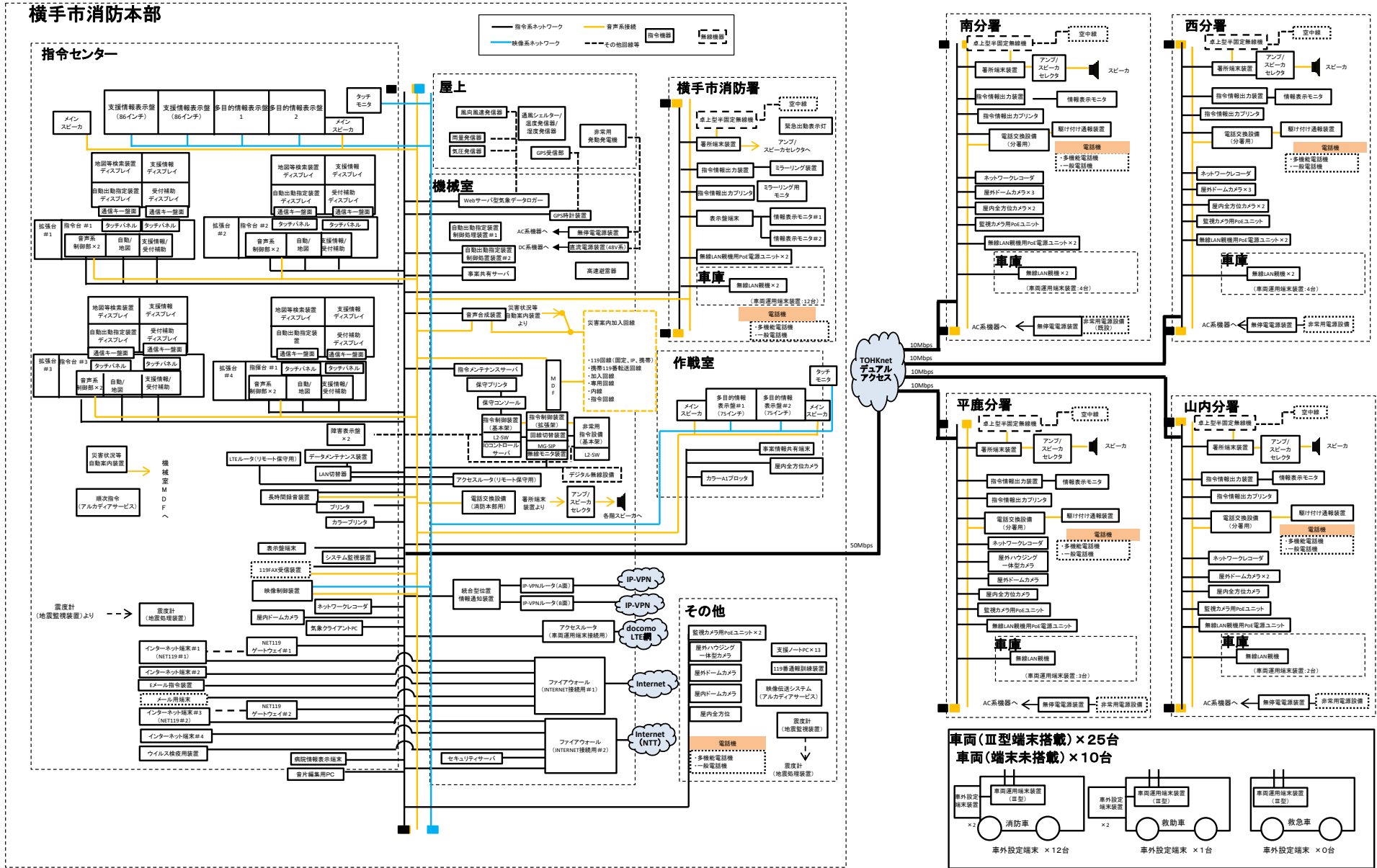
項	機器名	数量	備考
8	音声合成装置	1 式	
	(1) 音声合成装置	1 台	
	(2) 音片編集用 P C	1 台	
	(3) 音片編集ソフト	1 式	音片編集用 P C に実装
9	出動車両運用管理装置		
	(1) 出動車両管理装置	1 台	
	(2) 車両運用端末装置 (Ⅲ型)	2 5 台	
	(3) 車外設定端末装置 (2 箇所)	1 3 組	2 6 式 (1 3 × 2)
	(4) 無線 L A N 親機	8 式	
1 0	システム監視装置		端末、ディスプレイ、着信表示灯
	(1) システム監視装置	1 式	
	(2) ディスプレイ	1 台	
	(3) 着信灯	1 台	
	(4) 接点ボックス	1 台	
1 1	統合型位置情報通知装置		
	(1) 統合型位置情報通知装置	1 式	二重化構成
	(2) I P - V P N ルータ	2 台	
	(3) 切替 B O X	4 台	
1 2	E メール指令装置		
	(1) E メール装置	1 式	
	(2) ディスプレイ	1 台	
1 3	ネットワーク/セキュリティ		
	(1) ネットワーク装置	1 式	ファイアウォール等含む
	(2) ウイルス対策サーバ	1 式	
1 4	M D F	1 式	
1 5	高速避雷器 (通信用)	1 式	
1 6	震度計	1 式	
1 7	収容架		
	(1) 1 9 インチラック	3 台	
1 8	インターネット端末 (F C - P C)		N E T 1 1 9 等用の多目的 P C
	(1) インターネット端末	4 台	
	(2) ディスプレイ	4 台	
1 9	現場映像伝送システム		
	(1) 映像伝送システム	1 式	

項	機器名	数量	備考
20	緊急出動表示灯	1 式	
21	支援ノートPC		支援用ならびにWEB会議用
	(1) 支援ノートPC	13 台	
	(2) モバイルルータ	5 台	
22	119番通報訓練装置	1 式	
23	病院情報表示端末		
	(1) 病院情報表示端末	1 式	
	(2) ディスプレイ	1 台	
24	NET119ゲートウェイ		
	(1) NET119ゲートウェイ	2 式	
25	作戦室表示盤		
	(1) 多目的情報表示盤	2 面	75型液晶ディスプレイ
	(2) 事案情報共有端末（作戦室）	1 式	
26	指令装置		
	(1) 署所端末装置	5 式	
27	指令伝送装置		
	(1) 指令情報出力装置	5 式	
28	機器収容ラック	5 式	OAラック
29	情報表示装置		
	(1) モニタ	6 台	50型液晶ディスプレイ
	(2) 表示盤端末（消防署）		
	ア 制御処理装置	1 式	各分署は27（1）ア項にて機能を実現
	イ ディスプレイ	1 台	各分署は27（1）イ項にて機能を実現
30	駆け付け通報装置	4 式	
31	放送設備		
	(1) アンプ・スピーカセクター	5 式	
32	ミラーリング設備		
	(1) ミラーリング用モニタ	1 台	21.5型液晶ディスプレイ
	(2) ミラーリング装置	1 式	
33	電話交換設備		
	(1) 交換機（消防本部用）	1 台	
	(2) 交換機（分署用）	4 台	
	(3) 多機能電話機	67 台	
	(4) 一般電話機	19 台	

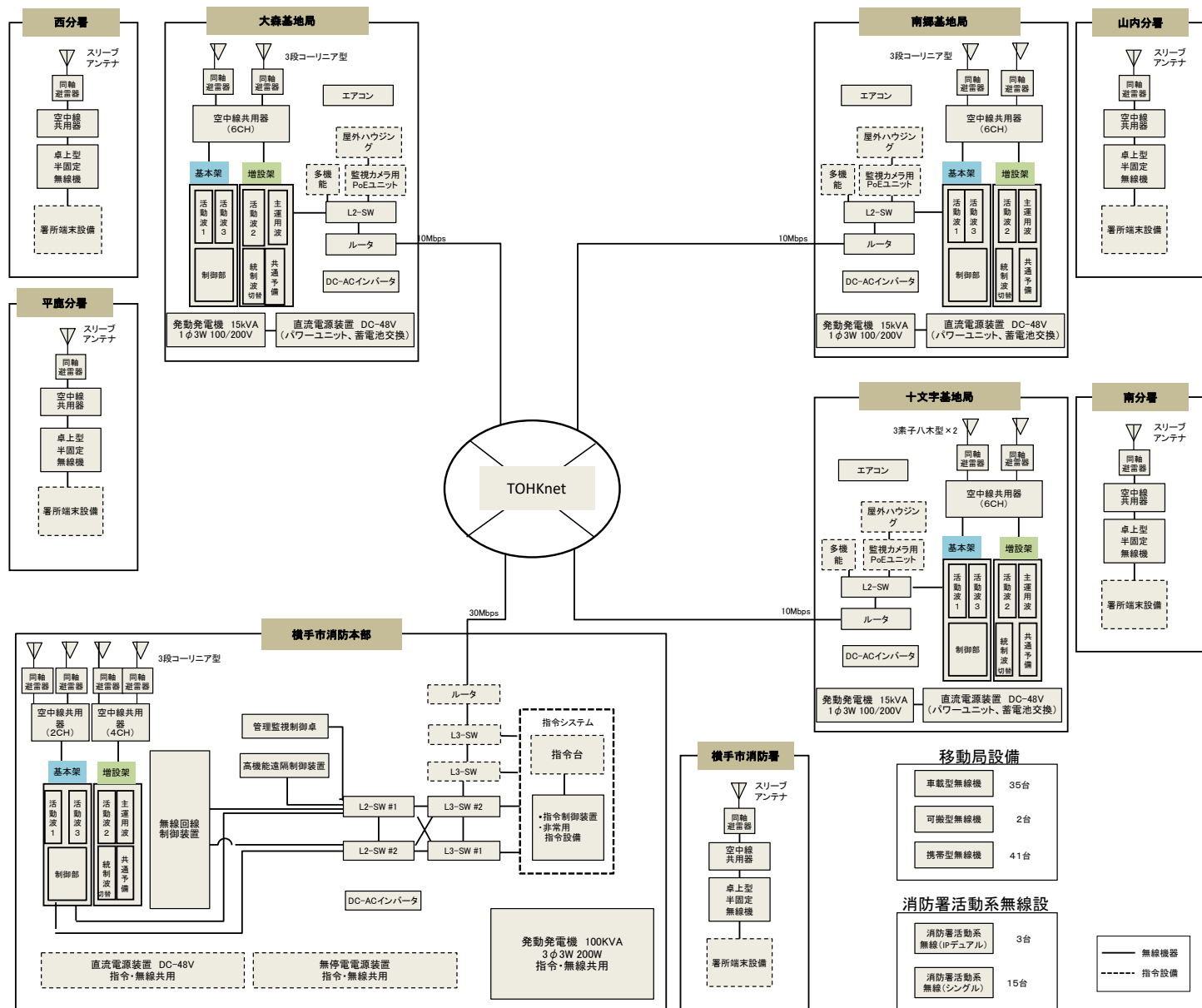
項	機器名	数量	備考
3 4	監視カメラ		
	(1) 屋外ハウジング一体型	5 台	
	(2) 屋外ドームカメラ	1 0 台	
	(3) 屋内ドームカメラ	7 台	
	(4) 屋内全方位カメラ	1 1 台	
3 5	P o Eユニット	8 台	
3 6	ネットワークレコーダ		
	(1) 消防本部用	1 台	
	(2) 分署用	4 台	
3 7	映像監視ソフトウェア	1 式	
3 8	無線回線制御装置	1 式	3 2 c h
3 9	管理監視制御卓		
	(1) 管理監視制御装置	1 式	
4 0	高機能遠隔制御装置	1 式	
4 1	基地局無線装置 基本架	4 式	統制波 3 c h 切替
4 2	基地局無線装置 増設架	4 式	4 T R X実装
4 3	2 6 0 M H z 帯空中線共用器 (基地局用)		
	(1) 空中線共用器 (ハイブリッド: 2 C H用)	1 式	消防本部基地局
	(2) 空中線共用器 (ハイブリッド: 4 C H用)	1 式	消防本部基地局
	(3) 空中線共用器 (ハイブリッド: 6 C H用)	3 式	大森、十文字、南郷基地局
4 4	2 6 0 M H z 帯空中線 (基地局用)		
	(1) 3 段コーリニア型	8 基	消防本部、大森、南郷基地局
	(2) 3 素子八木型	2 基	十文字基地局
4 5	同軸避雷器	1 5 台	基地局＋各署
4 6	ネットワーク装置		
	(1) 基地局	4 組	
4 7	D C / A Cインバータ		
	(1) 基地局	4 台	
4 8	エアコン (局舎用)	3 台	
4 9	車載型無線装置		
	(1) 車載型無線機	3 5 台	
5 0	卓上型無線機		
	(1) 卓上型半固定無線機	5 台	

項	機器名	数量	備考
5 1	可搬型無線機		
	(1) 可搬型移動局無線装置	2 台	
5 2	携帯型無線機		
	(1) 携帯型無線機	4 1 台	
5 3	消防署活動系無線		
	(1) 消防署活動系無線機 (デュアル)	3 台	アナログ、I P、付属品含む
	(2) 消防署活動系無線機 (シングル)	1 5 台	アナログ、付属品含む
5 4	電源設備		
	(1) 指令システム		
	ア 無停電電源装置	1 基	消防本部用
	イ 無停電電源装置	4 基	署所用
	ウ 直流電源装置	1 基	
	エ 非常用発動発電機	1 基	
	(2) 消防救急デジタル無線システム		
	ア 直流電源装置 パワーユニット交換	3 組	4 8 V 1 0 0 A
	イ 蓄電池 交換	3 組	長寿命型M S E
	ウ 非常用発動発電機	3 基	定格出力1 5 k W
5 5	付属品及び予備品	1 式	
5 6	その他備品	1 式	

横手市消防本部 指令システム系統図



横手市消防本部 消防デジタル無線システム概略図



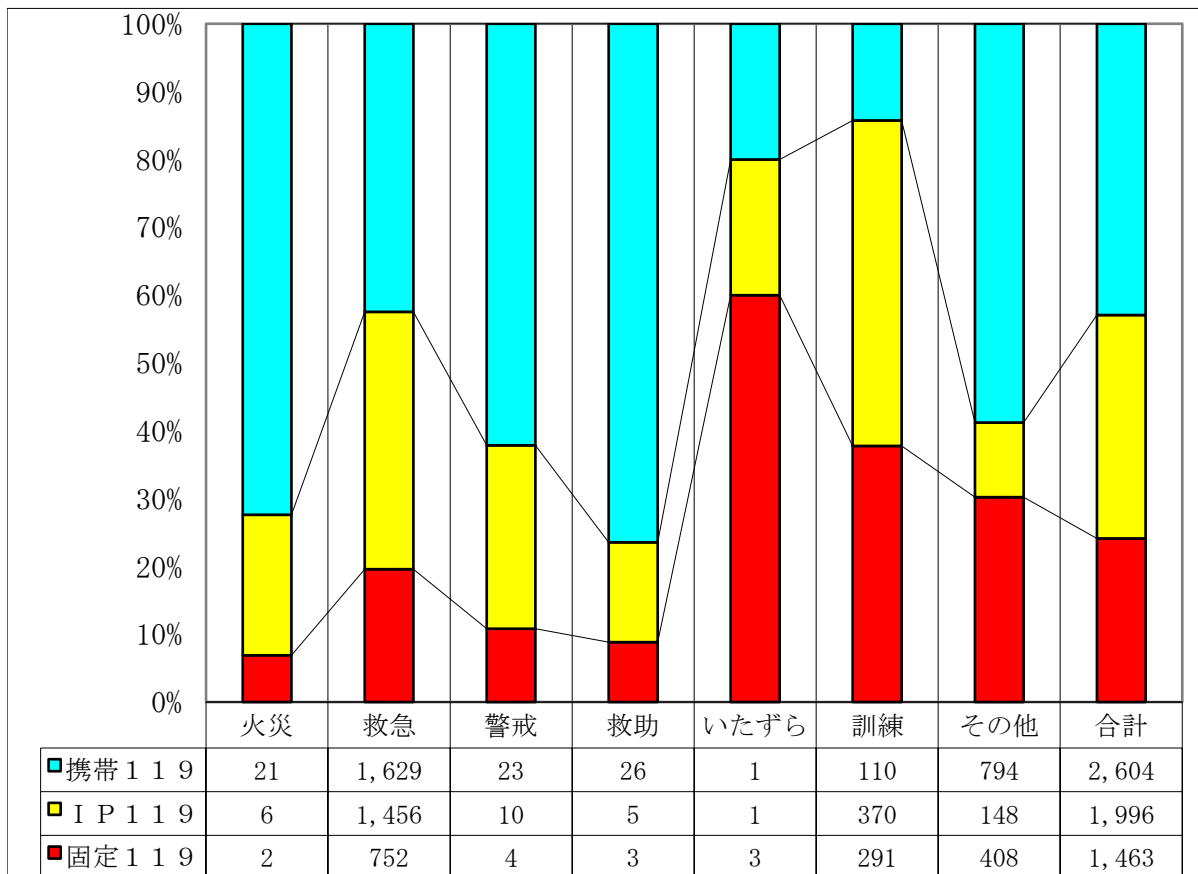
119番通報受付状況

令和7年度

	火災	救急	警戒	救助	いたずら	訓練	その他	合計
4月	4	307	3	3	1	36	81	435
5月	1	291	3	3		59	127	484
6月	6	267	2	2		97	97	471
7月	2	353	1		1	71	108	536
8月	9	328	4	3		28	107	479
9月		309	1	4		60	79	453
10月		314	3	5		137	140	599
11月		333	1	1		103	115	553
12月	1	351	10	3		51	238	654
1月	2	359	3	4	1	25	68	462
2月		302	2	4		38	104	450
3月	4	323	4	2	2	66	86	487
合計	29	3,837	37	34	5	771	1,350	6,063

119番発信種別の比較

令和7年度



救 急



西救急2号車の更新

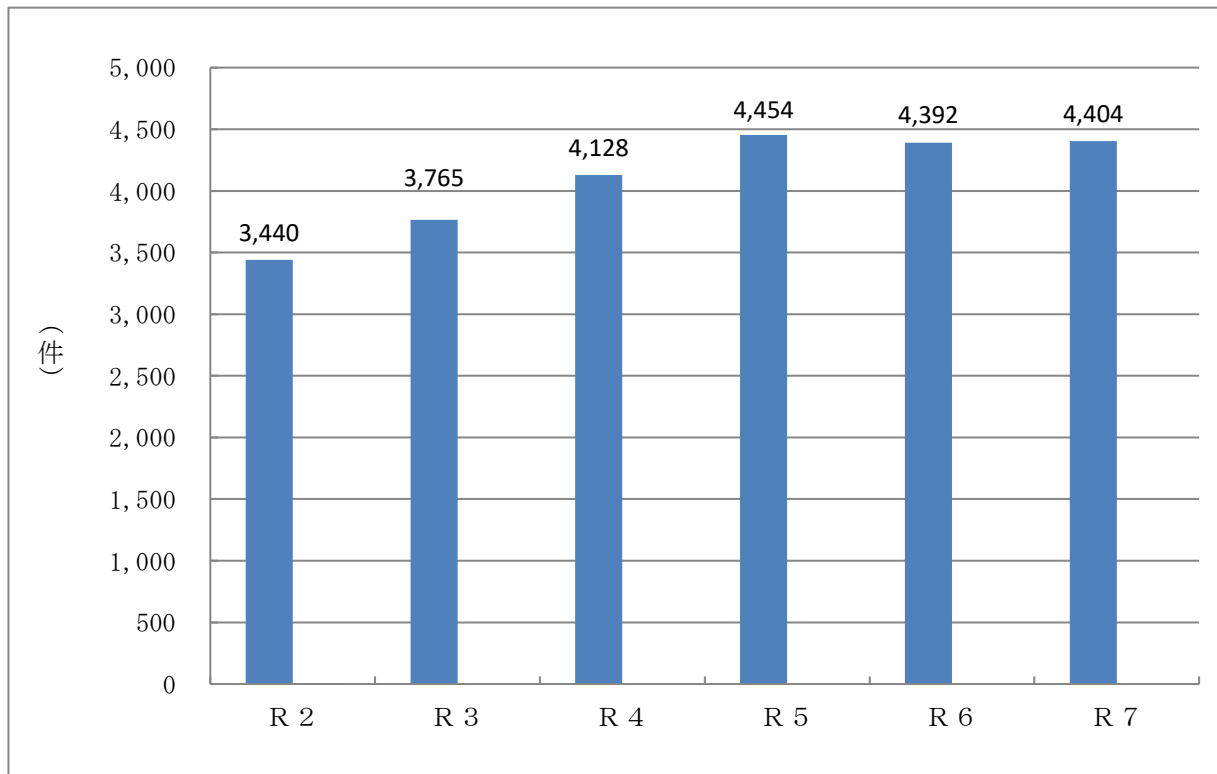
救急業務の推移

令和7年中の横手市における救急出動件数は4,404件で4,138人を医療機関に搬送した。これを前年と比較すると件数で12件増加、搬送人員1人の減少となった。

前年比で有意な増減はないが、人口減少のなか、救急搬送の可能性が高い高齢者人口は減少しないため、今後しばらく救急件数は横ばいとなる見通しとなっている。

5年前との比較でみると出動件数は964件の増加、搬送人員は881人の増加となっている。

第1図 救急出動件数の推移



第1表 救急出動件数及び搬送人員の推移

	出動件数	前年比	搬送人員	前年比
令和2年	3,440	-425	3,257	-424
令和3年	3,765	+325	3,582	+325
令和4年	4,128	+363	3,908	+326
令和5年	4,454	+326	4,146	+238
令和6年	4,392	-62	4,139	-7
令和7年	4,404	+12	4,138	-1

救急業務の実施状況

(1) 救急出動状況及び搬送人員

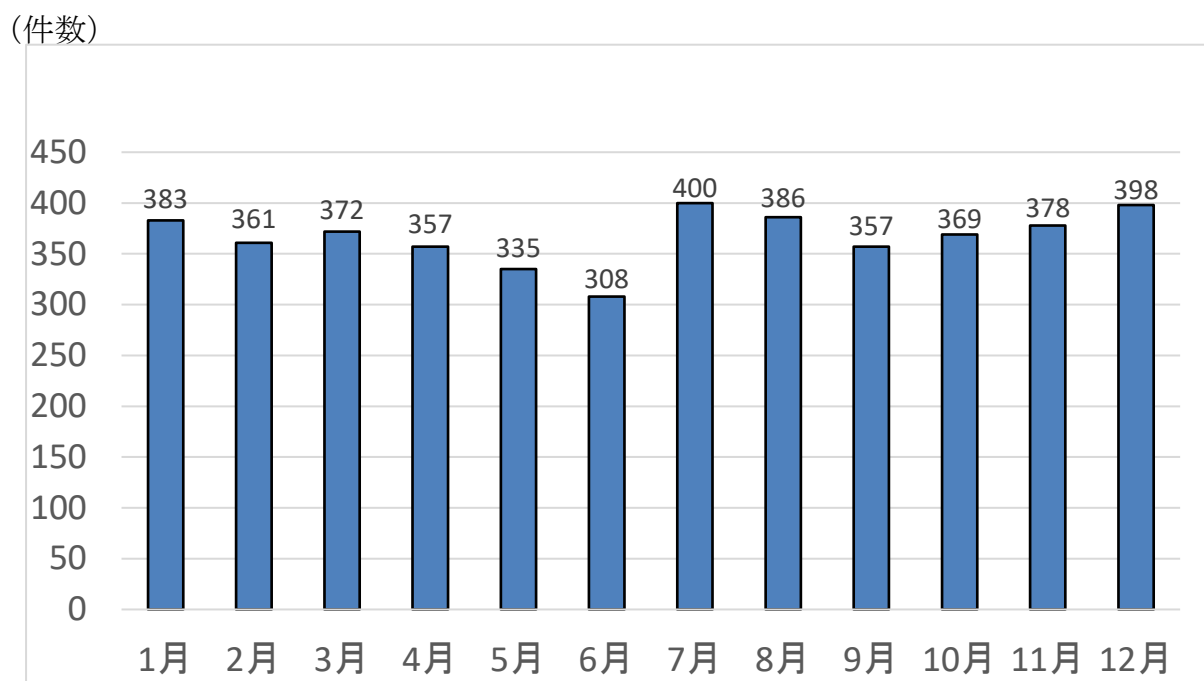
令和7年中の出動件数は4,404件で1日平均12.1件、搬送人員は、4,138人で管内人口78,951人（令和7年12月31日現在）のうち概ね19人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。事故種別出動件数では、急病が3,013件（68.4%）一般負傷649件（14.7%）、転院搬送377件（8.6%）の順で上位を占めている。

地域別の救急出動件数は、横手1,882件（前年1,853件）、平鹿604件（前年636件）、十文字505件（前年506件）、増田410件（前年430件）、雄物川383件（前年391件）、大森271件（前年232件）、大雄184件（前年177件）山内163件（前年166件）、管外への出動2件（前年1件）の順となっている。

第2表 救急出動の概要

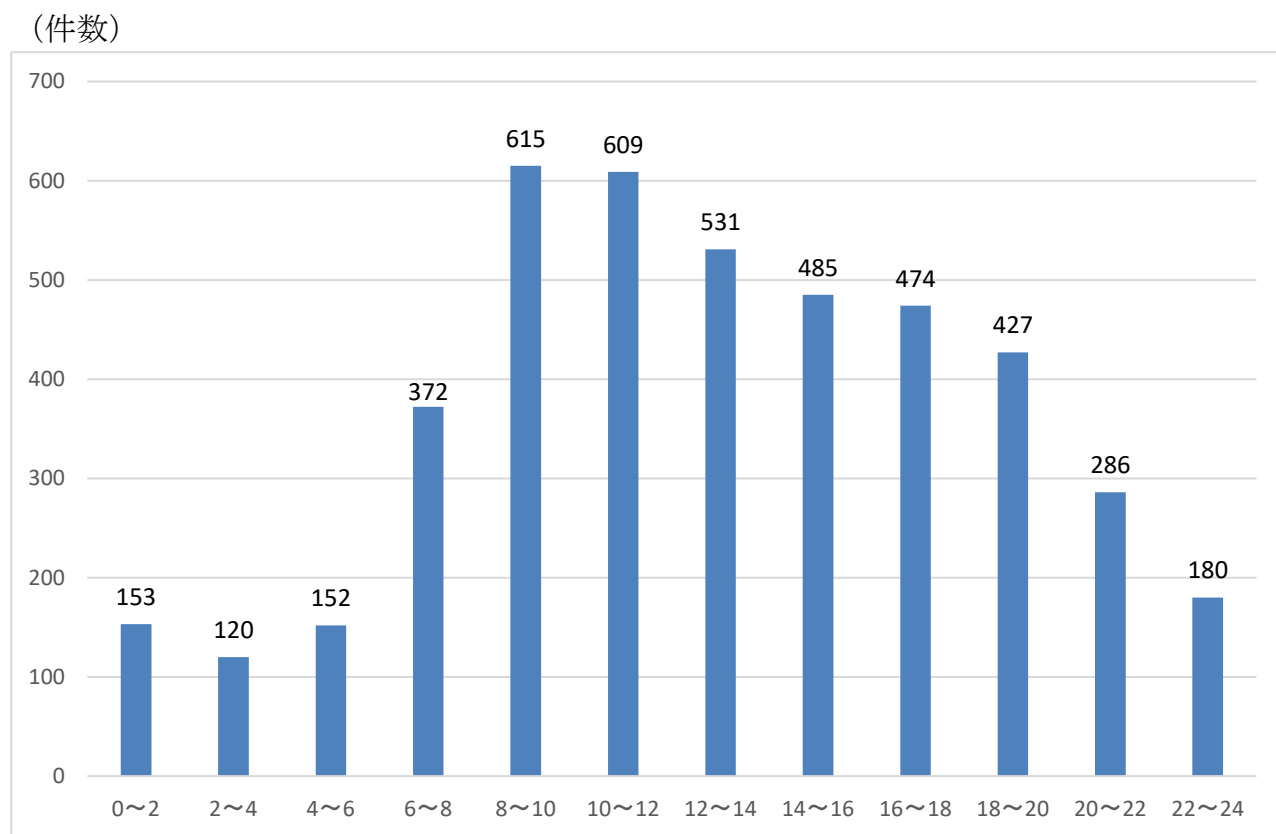
	令和6年	令和7年
管内人口	80,765人	78,951人
出動件数	4,392件	4,404件
搬送人員	4,139人	4,138人
1日あたりの出動件数	12.0件	12.1件
1日の最多出動件数	25件	25件
人口1万人あたりの出動件数	543.8件	557.8件
管内人口／搬送人員	19.5人に1人	19.1人に1人
救急出動最多事故種別	急病	急病
救急出動最多月	12月	7月
救急出動最多曜日	月曜	金曜
救急出動最多時間帯	8時～10時	8時～10時

第2図 月別救急出動件数（令和7年）



(月)

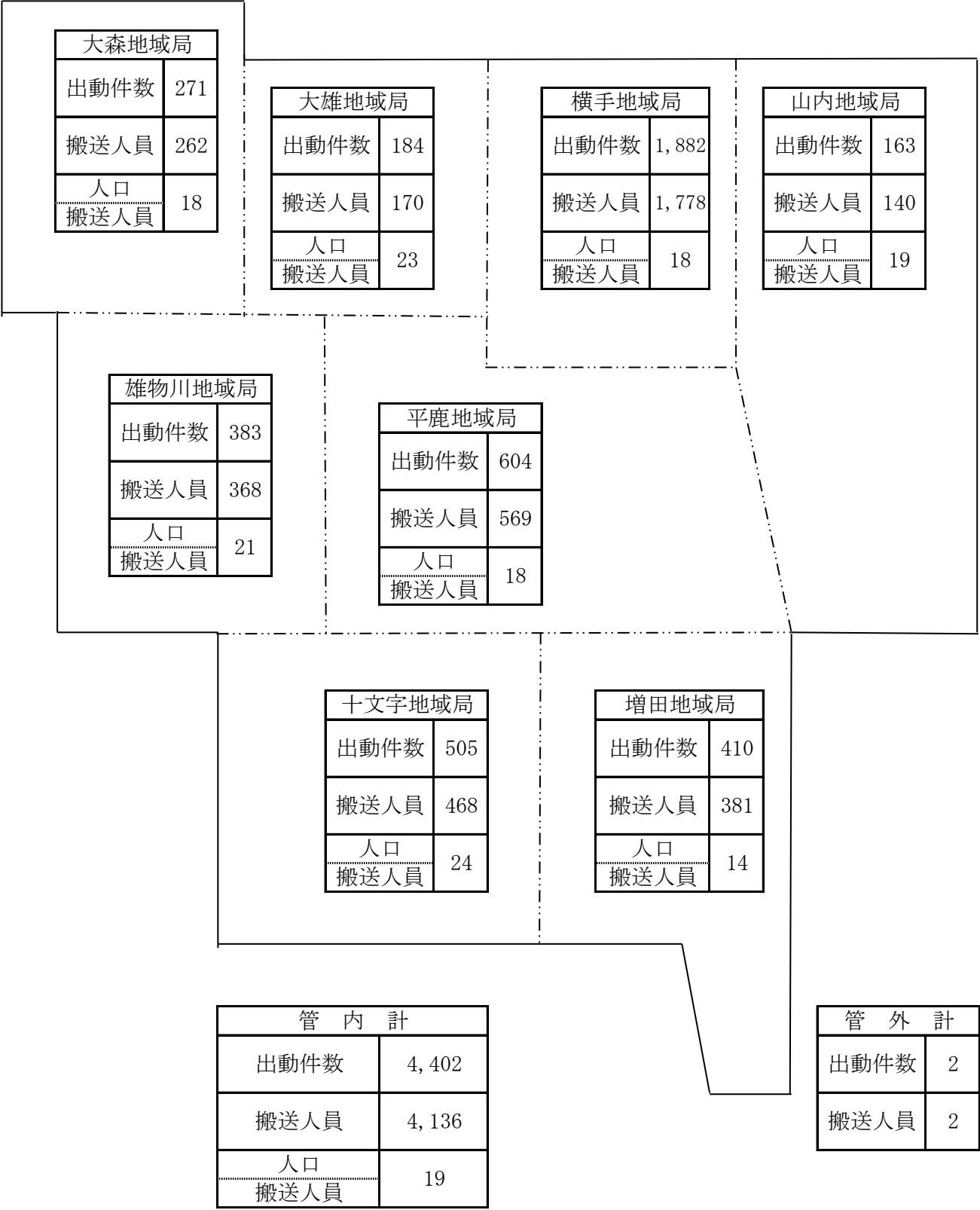
第3図 時間帯別救急出動件数（令和7年）



(時間帯)

第 4 図 地域別救急出動件数及び搬送人員

(令和 7 年中)



(2) 傷病程度及び年齢別搬送人員の状況

令和7年中の搬送人員は4,138人で傷病程度状況は、死亡144人（全体の3.5%）重症565人（同13.7%）、中等症1,975人（同47.7%）で、これらをあわせた傷病者の割合は全体の64.9%にあたる。一方で入院加療を必要としない軽症者の割合は35.1%と高い数値になっている。

また、年齢別では65歳以上の年齢層が3,146人と全体の76.0%を占めており、高齢化社会の影響により高年齢層の救急搬送人員の割合が高くなっている。

第3表 傷病程度別搬送人員

	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送・その他
計	4,138	7		3	226	40	11	610	4	16	2,850	371
死 亡	144	1			2			27		3	108	3
重 症	565	2		2	11	4	1	69		3	351	122
中等症	1,975	1			70	23	4	271	1	7	1,386	212
軽 症	1,454	3		1	143	13	6	243	3	3	1,005	34
その他												
備 考	○死 亡 初診時において、死亡が確認されたもの。 ○重 症 3週間以上の入院加療を必要とするもの。 ○中等症 入院を必要とするもので重症に至らないもの。 ○軽 症 入院を必要としないもの。 ○その他 医師の診断がないもの。											

第4表 年齢別搬送人員

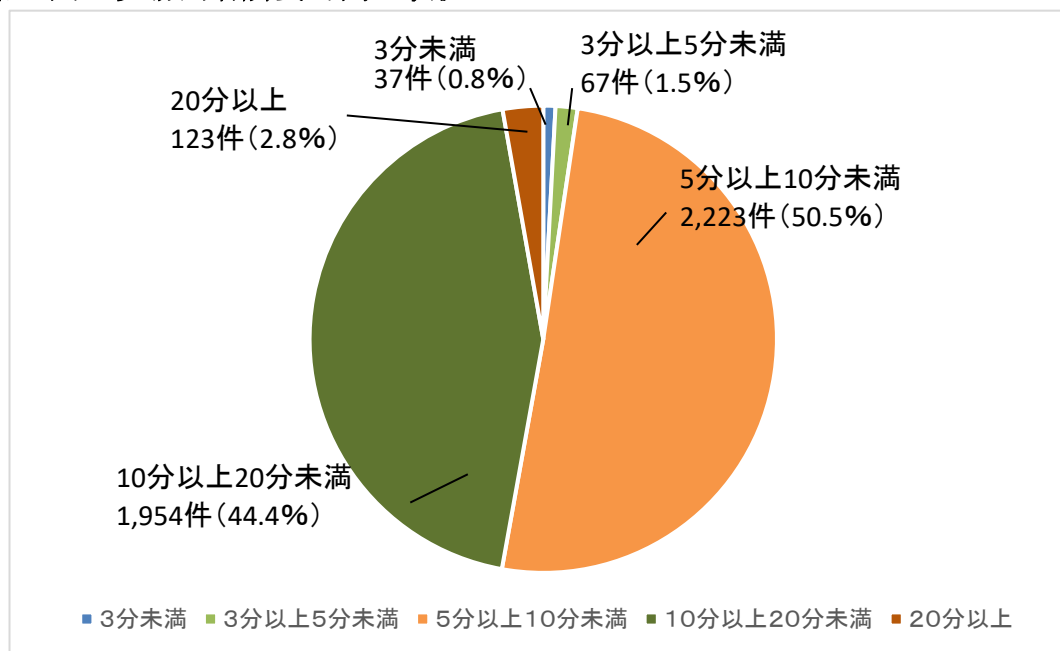
	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送・その他
計	4,138	7		3	226	40	11	610	4	16	2,850	371
新生児	5										1	4
乳幼児	82				6			6			63	7
少年	77				13		8	15		2	35	4
成人	828	2		1	120	27	3	66	2	10	493	104
高齢者	3,146	5		2	87	13		523	2	4	2,258	252
備 考	○新生児 生後28日未満の者 ○乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者 ○少 年 満7歳以上満18歳未満の者 ○成 人 満18歳以上満65歳未満の者 ○高齢者 満65歳以上の者											

(3) 現場到着所要時間

令和7年中の救急出動件数4,404件を現場到着所要時間別（覚知から現場に到着するまでに要した時間）にみると、5分以上10分未満が2,223件で最も多く、全体の50.5%を占めている。

なお、平均現場到着所要時間は10.0分（前年10.1分）となっている。

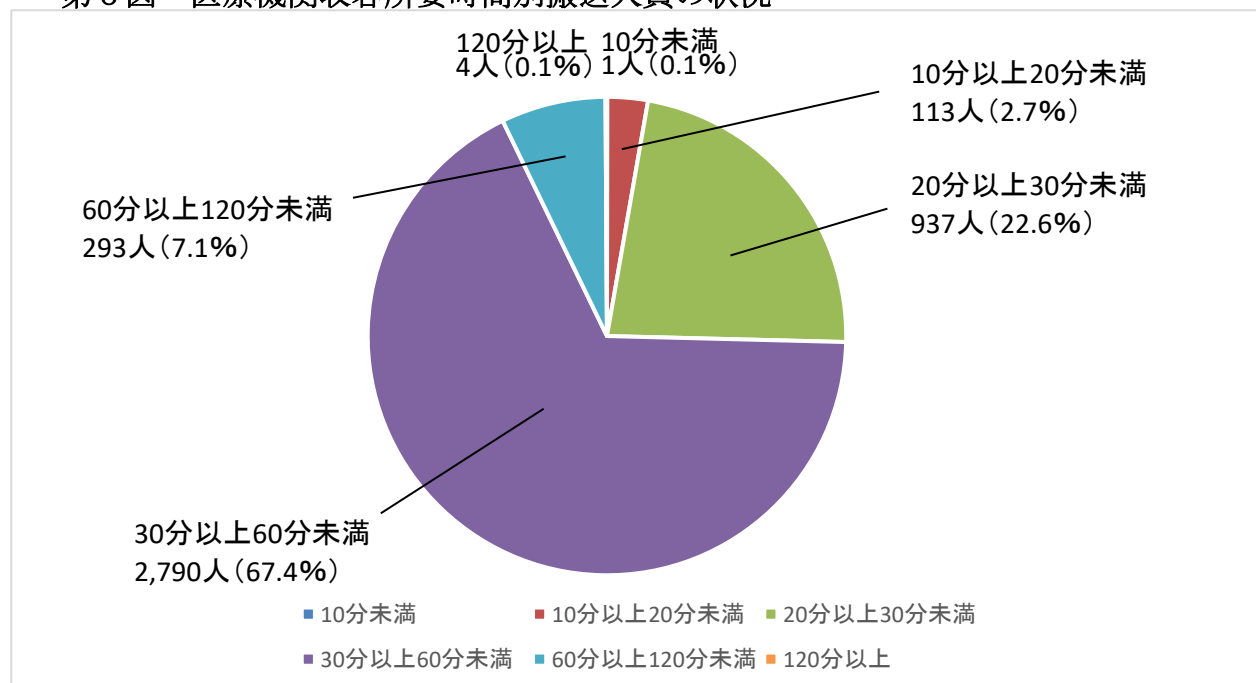
第5図 現場到着所要時間の状況



(4) 医療機関収容所要時間

令和7年中の救急自動車による搬送人員4,138人についての収容所要時間（覚知から医療機関に到着し医師引継ぎまでの時間）の状況は、30分以上60分未満が2,790人（67.4%）で最も多く、次いで20分以上30分未満の937人（22.6%）となっている。なお、平均医療機関収容時間は38.6分（前年38.7分）となっている。

第6図 医療機関収容所要時間別搬送人員の状況



(5) 救急隊員の行った応急処置等の実施状況

令和7年中の搬送人員4,138人であり、そのうち救急隊員が応急処置を行った傷病者は4,063人（搬送人員の98.2%）となっている。

平成19年7月から運用開始されている、認定救命士によるアドレナリン投与は51件実施されており、令和6年の38件と比べると13件増加している。

なお、平成26年4月から追加された心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は69件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は12件が認定救命士により実施されている。

第5表 事故種別ごとの応急処置実施数

事故種別 応急処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
止血	8	5	49	6	68
被覆	5	15	83	8	111
固定		35	25	6	66
保温	21	3	13	8	45
酸素吸入	800	17	57	123	997
人工呼吸	17	2	3	7	29
胸骨圧迫	2		1	1	4
心肺蘇生	129	2	32	9	172
在宅療法継続	113		2	4	119
血圧測定	2,677	219	570	307	3,773
心音・呼吸音聴取	945	79	72	38	1,134
血中酸素飽和度測定	2,727	224	574	350	3,875
心電図測定	1,954	102	175	158	2,389
気道確保	179	4	37	15	235
（うち経鼻エアウェイ）	1		2		3
（うち喉頭鏡、鉗子等）	15		11	2	28
（うちラリングアルマスク等）	3		6	1	10
（うち気管挿管）	2		2		4
除細動	13			2	15
静脈路確保（CPA前）	66		2	1	69
静脈路確保（CPA後）	81	2	25	6	114
アドレナリン投与	38	1	11	1	51
ブドウ糖投与	12				12
その他の処置	2,785	218	594	222	3,819

住民に対する応急手当の普及状況

救急隊の要請から現場に到着するまでに要する時間は、令和7年中の平均が10.0分であった。この間に、一般市民による応急手当が適切に実施されれば大きな救命効果が得られることから、住民に対する応急手当の知識と技術の普及を目的に、救命講習会やインターネットを活用したeラーニングによる普及啓発活動を積極的に進めている。

平成6年より実施した普通救命講習の受講者は延べ49,159人に達している。

第6表 講習会実施状況

年別	上級救命講習		普通救命講習		入門コース		その他の講習		計	
平成29年	1回	30人	65回	1,635人	29回	783人	29回	773人	124回	3,221人
平成30年	1回	26人	55回	1,309人	29回	606人	35回	752人	120回	2,693人
平成31年 令和元年	1回	25人	59回	1,409人	32回	665人	22回	473人	114回	2,572人
令和2年	1回	17人	21回	714人	8回	176人	3回	17人	33回	924人
令和3年	1回	19人	32回	612人	22回	427人	2回	16人	57回	1,074人
令和4年	1回	16人	50回	607人	13回	161人	6回	91人	70回	875人
令和5年	1回	16人	59回	716人	16回	298人	9回	134人	85回	1,164人
令和6年	1回	20人	65回	861人	17回	324人	9回	129人	92回	1,334人
令和7年	1回	19人	57回	682人	23回	354人	14回	416人	95回	1,471人

第7図 心肺停止傷病者に対する一般住民の応急手当実施状況



※普通救命講習受講者延べ人数の訂正について
令和元年以降に刊行の普通救命講習受講者延べ人数に誤値があり下記のとおり訂正しております。

	H29	H30	H30/R1	R2	R3	R4	R5	R6
正	42,249	43,558	44,967	45,681	46,293	46,900	47,616	48,477
誤	42,105	43,414	44,823	45,537	46,149	46,756	47,472	48,333

消防団



令和7年度 雄物川総合水防演習のワンシーン

横手市消防団概況

令和8年4月1日現在

統 計 項 目		統 計 値	
階級別定員	団 長 (名)	1	
	副 団 長 (名)	8	
	分 団 長 (名)	64	
	副 分 団 長 (名)	62	
	部 長 (名)	196	
	班 長 (名)	409	
	団 員 (名)	1,460	
	計 (名)	2,200	
実 員 (名)		1,885	
団員平均年齢		男子 50.5 歳	女子 49.4 歳
市職員（実員の内数） (名)		186	
普通ポンプ自動車 (台)		4	
小型動力ポンプ付き積載車 (台)		84	
小型動力ポンプ (台)		101	
消火栓（私設及び基準外含む） (基)		1,587	
防火水槽（私設及び基準外含む） (基)		1,114	

報 酬

種別	支払区分	報酬額（単位：円）
年額報酬	団 長	90,000
	副 団 長	73,100
	分 団 長 職 (副支団長職)	54,800
	分 分 団 長 職 (分団長職)	50,500
	副 分 団 長	45,500
	部 長	37,000
	班 長	37,000
	団 員	36,500
出動報酬	災 害 出 動 (1回につき4時間未満)	2,500
	災 害 出 動 (1回につき4時間以上7時間45分未満)	5,000
	災 害 出 動 (1回につき7時間45分以上)	8,000
	大 規 模 災 害 出 動 (1日につき4時間未満)	2,500
	大 規 模 災 害 出 動 (1日につき4時間以上7時間45分未満)	5,000
	大 規 模 災 害 出 動 (1日につき7時間45分以上)	8,000
	警 戒 出 動 (1回につき)	2,500
	訓 練 出 動 (1回につき)	2,500
	そ の 他 (1回につき)	2,500

※ 機関員として任命されている者は年額報酬に5,700円を加算する。

※「大規模災害出動」とは、出動命令から解散まで24時間を超える災害に係る出動とする。

歴代消防団長一覧表

令和8年4月1日現在

歴 代	氏 名	就 任	退 任	備 考（在職期間）
初 代	菊 池 二 郎	平31.4.1	令3.3.31	在職期間 2年
2 代	菅 原 一 太 郎	令3.4.1	令5.3.31	在職期間 2年
3 代	樋 渡 徹	令5.4.1	現 在	

※平成31年4月1日、横手市内8消防団を統合し、名称を横手市消防団とした。

支部訓練大会種目別成績表

(直近5大会)

年 度	種 目	第 1 位	第 2 位	第 3 位
令和元年度	総 合	大 森 支 団	十 文 字 支 団	平 鹿 支 団
	規 律 訓 練	大 森 支 団	大 雄 支 団	十 文 字 支 団
	小型ポンプ操法	十 文 字 支 団	平 鹿 支 団	山 内 支 団
	ポ ン プ 車 操 法	十 文 字 支 団	大 森 支 団	雄 物 川 支 団
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の拡大により中止			
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の拡大により中止			
令和4年度	総 合	—	—	—
	規 律 訓 練	横 手 支 団	雄 物 川 支 団	大 雄 支 団
	小型ポンプ操法	十 文 字 支 団	山 内 支 団	平 鹿 支 団
	ポ ン プ 車 操 法	十 文 字 支 団	雄 物 川 支 団	—
令和5年度	総 合	—	—	—
	規 律 訓 練	横 手 支 団	大 森 支 団	平 鹿 支 団
	小型ポンプ操法	山 内 支 団	十 文 字 支 団	横 手 支 団
	ポ ン プ 車 操 法	大 森 支 団	十 文 字 支 団	雄 物 川 支 団
令和6年度	総 合	十 文 字 支 団	横 手 支 団	山 内 支 団
	規 律 訓 練	十 文 字 支 団	横 手 支 団	山 内 支 団
	小型ポンプ操法	十 文 字 支 団	横 手 支 団	山 内 支 団
	ポ ン プ 車 操 法	—	—	—
令和7年度	総 合	十 文 字 支 団	山 内 支 団	横 手 支 団
	規 律 訓 練	十 文 字 支 団	大 森 支 団	横 手 支 団
	小型ポンプ操法	十 文 字 支 団	山 内 支 団	横 手 支 団
	ポ ン プ 車 操 法	—	—	—

災害



秋田県消防防災航空隊合同訓練の様子

災 害 年 表

年 号	地 域	種 別	記 事
明治 29 年	全 域	地 震 (陸羽)	仙北を震源とした地震が 8 月 23 日から発生し、8 月 31 日 8 時 37 分 M6.4 の最大震を観測。これにより平鹿郡で死者 18 名、負傷者 111 名、焼失 1 棟、全半壊 1,709 棟、破損 6,707 棟のほか、道路、橋梁棟に被害。
大正 2 年	全 域	地 震 (強首)	3 月 15 日仙北で M7.1 の地震発生これにより平鹿郡で死者 4 名、負傷者 8 名、住家非住家全壊 46 棟、半壊 52 棟、破損 890 棟の被害。
大正 3 年	大 雄	火 災	5 月 7 日阿気本村より出火。役場、駐在所、郵便局、住宅 37 棟、非住家 30 棟を全焼。消防器具置場を焼失。
大正 4 年	十 文 字	火 災	10 月 28 日睦合役場より出火。戸籍簿、除籍簿、寄留簿、役場に保存する書類を焼失。
昭和 2 年	増 田	火 災	5 月 31 日縫殿村通覚寺より出火、折からの強風に煽られ 18 戸に延焼する。損害額 3 万円。
昭和 3 年	横 手	火 災	7 月 31 日水上より出火、住家 12 戸焼失。消防夫 1 名負傷。損害額 17,425 円。
昭和 6 年	横 手	火 災	1 月 17 日秋田県立横手中学校(現県立横手高校)寄宿舍放火により焼失。
	増 田	火 災	3 月 19 日増田昭和館より出火。
昭和 8 年	十 文 字	火 災	梨木で 7 戸焼失。(大杉焼失)
昭和 11 年	増 田	火 災	1 月 6 日上町より出火。5 棟全焼。
昭和 12 年	平 鹿	火 災	5 月 11 日六日町新町より出火、9 棟全焼。
昭和 13 年	増 田	火 災	4 月 29 日樋場より出火、全半焼 24 棟、損害額 17,500 円。
昭和 14 年	横 手	火 災	9 月 5 日隣村栄村火災に応援出動途中、同村赤谷地国道上で通行人を避けようとハンドルを切り、杉並木にポンプ車が衝突、常備消防部長と警防員 2 名が殉職。
昭和 15 年	大 森	火 災	神成部落より出火、6 戸全焼。
昭和 17 年	増 田	火 災	5 月 20 日放火により本町から出火、18 棟 23 世帯焼失。
	平 鹿	火 災	6 月 2 日宿館より出火。13 棟全焼。
昭和 18 年	横 手	火 災	3 月 27 日上飛瀬より出火、住家 3 棟、非住家 2 棟全焼、焼死者 1 名、損害額 12,300 円。この年残雪多くポンプ自動車通行不能のため、ガソリンポンプ 2 台で消火。
	大 森	水 害	8 月 12 日豪雨により横沢、極楽寺、船沢で橋脚が流失。横沢、極楽寺で道路決壊、上溝川左岸の護岸が流失。

昭和 19 年	横 手	火 災	5 月 9 日横手沢にて山火事発生、15mの風に煽られ林野 2 ha 焼失。
昭和 20 年	横 手	空 襲	7 月 15 日米軍艦載機 3 機飛来し、横手国民学校(旧横手工業高校) 付近に爆弾を投下、爆風により学校の窓ガラスや壁が落ちる被害を受けた。 8 月 5 日再度艦載機飛来し爆弾を投下、横手駅また走行中の列車に機銃掃射した。爆弾は駅前民家に命中、家は崩壊家族 6 人死亡、負傷者 2 名。
昭和 21 年	大 森	火 災	8 月 23 日本郷より出火、住家非住家 62 棟全半焼。
昭和 22 年	平 鹿	火 災	5 月宿館より出火、3 棟全焼。
	大 雄	水 害	7 月 23 日大雨により雄物川が増水し、阿気村地区の雄物川堤防 6 カ所決壊、その他河川の橋梁 10 数カ所流失した。 藤巻、六丁、山王、中島の低地一帯が水没、大森町まで一帯が冠水する。
	雄 物 川	水 害	7 月雄物川で大洪水、沼館橋流失。
	横 手	水 害	7 月 23 日大雨により横手川が増水氾濫。永久橋の中野西袂から中央へ 30mが橋脚とともに流失、床上浸水 500 棟。 8 月 2 日再度大雨で中の橋西岸 10m決壊、流失家屋 1、床上浸水 73 棟、床下浸水 398 棟ほか堤防決壊有り。 9 月 14 日～15 日、キャサリン台風が豪雨をもたらした横手川の水位は 7.7mに達する。本郷橋 20m、碓大橋 30m床上浸水 350 棟、床下浸水 1,057 棟。
	大 森	水 害	7 月 23 日、8 月 2 日、9 月 14 日～15 日大雨や台風により川西で橋脚 9 カ所流失、道路決壊 3 カ所。
	十 文 字	水 害	7～9 月にかけて、大雨と台風により皆瀬川が増水し繰り返し洪水が発生し川沿いの地域を中心に大きな被害を受けた。睦合村で流失家屋 11 棟、倒壊家屋 13 棟、半壊以上 8 棟、半壊以下 531 棟、床上浸水 306 棟、床下浸水 419 棟。植田村志摩集落で 7 戸が当時人家のなかった高口に移住した。
	山 内	水 害	村内まれにみる水害。
	増 田	火 災	12 月 30 日増田水力電気会社事務室より出火、同会社全焼。損害額 18,000 円
昭和 23 年	増 田	水 害	台風のため成瀬川橋、戸波橋流失。
昭和 24 年	増 田	火 災	2 月 27 日雄平農村工場より出火、建物 9 棟 361 坪を焼失。
	山 内	火 災	4 月 11 日相野々下三明岡の大火。(全焼 22 戸)
昭和 25 年	山 内	火 災	9 月 10 日相野々駅前(中島) 大火。(全焼 11 戸、15 世帯)

昭和 26 年	大 雄	火 災	12 月 31 日重福寺火災。
昭和 27 年	大 森	火 災	4 月 9 日五日町より出火、45 棟全半焼。
	十 文 字	火 災	三重小学校全焼
昭和 28 年	横 手	水 害	7 月 15 日から 3 日間にわたる降雨で県内の大小河川は増水。道路、橋梁、護岸の被害大、根岸町護岸 60m に被害。平和街道も 7 カ所寸断。
	大 森	火 災	3 月大森農協倉庫焼失。
	増 田	火 災	4 月 28 日専売公社たばこ収納場より出火、90 坪焼失。損害額 400 万円。
	大 森	火 災	5 月 18 日女郎出より出火、全焼住宅 14 棟、非住家 11 棟半焼 3 棟、損害額 594 万円。
昭和 29 年	横 手	火 災	11 月 24 日前郷字礼堂（現前郷二番町）より出火、住家 5 棟、非住家 1 棟全焼、7 棟半焼、負傷者 5 名、損害額 602 万円。
	大 森	火 災	矢走より出火、3 棟焼失。
	雄 物 川	火 災	二井山より出火、住家 9 棟、非住家 5 棟全焼。
昭和 30 年	大 森	火 災	8 月 11 日前田より出火、住家 12 棟、非住家 8 棟全焼、4 名焼死。損害額 1,102 万円。
	大 雄	火 災	3 月 31 日根田谷地田根森劇場火災。
昭和 31 年	横 手	水 害	6 月 24 日～26 日豪雨により横手川増水、全市消防団総出動。境大橋（木橋）、中の橋の一部流出、本郷橋、碓大橋流失、26 日 0 時 25 分サイレンを吹鳴、付近住民は横手公園に避難、交通網は麻痺。行方不明者 1 名、家屋流失 4 棟、床上浸水 231 棟、床下浸水 654 棟。
	大 森	水 害	6 月 25 日豪雨により、横沢、熊の堂、鉢山、芝橋の橋が流失。大森橋、武道線の道路 330m 流失。鉢山堤、石高堤、の溜め池が決壊、床下浸水 32 戸。
	大 雄	水 害	6 月 24 日大雨により雄物川増水及び氾濫、床下浸水 54 棟。
	山 内	水 害	6 月 24 日～25 日にかけての豪雨により、家屋の床下浸水 8 戸、行方不明者 1 名の外、橋梁 18 カ所、道路 37 路線、農地等に多大の被害、損害額 2,000 万円以上。
	平 鹿	火 災	11 月 4 日醍醐中学校火災、1 棟全焼。
	横 手	火 災	1 月 3 日寺町店舗併用住宅より出火、木造 2 階建を全焼。火元 23 歳女性、1 歳男児焼死。
	横 手	火 災	9 月 7 日睦成字関根より出火、住家 1 棟、非住家 4 棟全焼、住家 2 棟半焼。さらに 300m 離れた住家に飛火し、住家非住家各 1 棟全焼。損害額 302 万円。

昭和 32 年	平	鹿	火 災	2 月 1 日蛭野小学校火災、1 棟全焼。損害額 1, 500 万円。
	横	手	火 災	5 月 17 日安田谷地岸より出火、私鉄機関庫 1 棟 152 坪全焼。蒸気機関車 1、内燃機関車 1、客車 1、ラッセル車 1 など焼失。
	横	手	火 災	6 月 4 日上飛瀬（現寿町）タイヤ修理工場より出火、火元工場 1、同住家 1 全焼、隣家運送業者車庫全焼、同住家 1 棟全焼、納豆製造販売工場一部焼失、火元男性左手に火傷、消防士 1 名背部に火傷を負う。損害額 289 万円。
	大	森	水 害	8 月 26 日豪雨により藤野の雄物川護岸決壊。
昭和 33 年	横	手	火 災	12 月 12 日金沢中野字長持より出火、火元住家非住家各 1 棟、隣家 1 棟全焼、さらに、金沢南小学校（現市立金沢小学校）に延焼し、普通教室 2 室、音楽室の一部を焼失。損害額 301 万円。
	横	手	風 害	12 月 13 日暴風雨により全壊家屋 7 棟、一部破損 23 棟、電柱倒壊 22 本。
	大	森	火 災	4 月 23 日五日町より出火、4 棟全半焼。
	大	森	火 災	5 月 19 日木ノ根坂より出火、全焼住家 1 棟非住家 3 棟、半焼 1 棟、尚この火災で古文書、国宝級の文化財焼失。
昭和 34 年	大	森	水 害	7 月 29 日豪雨により大納川、上溝川の堤防 14 カ所決壊（420m）、水路決壊（355m）、橋梁流失 2 カ所。
	大	森	水 害	9 月 18 日台風による雨で雄物川、上溝川の堤防決壊（200 m）、崖崩れ 70m、橋の流失 3 カ所、床上浸水 21 戸、床下浸水 42 戸。
昭和 35 年	大	森	水 害	7 月 6 日豪雨により堤防や護岸が決壊、道路 9,500m 決壊。床上浸水 4 戸、床下浸水 174 戸。
昭和 36 年	横	手	火 災	2 月 11 日睦成字千手沢より出火、住家 1 棟及び、市有共同住宅（4 世帯）全焼。損害額 281 万円。
	大	森	火 災	3 月 20 日坂部開より出火、住家 5 棟、非住家 3 棟全焼。
	平	鹿	火 災	2 月 3 日浅舞小学校火災 1 棟半焼、損害額 2,000 万円。
	横	手	火 災	2 月 22 日上真山より出火、住家 2 棟非住家 2 棟全焼、部分焼 1 棟。この年は十数年ぶりの大雪に加え、前日の雨で道路状態が悪く各ポンプ隊は迂回し現場に着くも水利状態も悪くホース延長に時間を要した。また、一時国鉄の列車の運行を停止し消火にあたった
	横	手	火 災	4 月 11 日上飛瀬（現寿町）より出火、住家 4 棟、非住家 1 棟全焼。避難の際、2 階から飛び降りた女性が脊椎骨折の重症を負った。原因は放火の疑い。損害額 997 万円。

昭和 37 年	横 手	風 害	9 月 16 日台風 18 号により全壊家屋 1 棟、屋根の破損多数、杉立木の倒木 46 本。20 時火災警報を発令する。
	横 手	火 災	12 月 6 日前郷字外飛瀬（現前郷二番町）織物工場より出火、同工場 811 m ² 、同住家、土蔵造り倉庫 2 棟全焼。当日は強風波浪注意報が発令中で南東の風 7m と強く、市内消防団員 100 人あまりの出動の外、平鹿町、大森町、十文字町、大雄村及び大曲市から消火応援があった。 損害額 2,883 万円。
昭和 38 年	横 手	火 災	3 月 3 日下根岸町市立横手北小学校第 3 校舎より出火、木造校舎 2 棟、平屋建体育館 1 棟延べ 3,537 m ² を焼失、消防団員 400 名余、平鹿郡内のポンプ車及び大曲、湯沢市の消防署からの応援があり、風下の民家、寺院への延焼が阻止できた。原因不審火として調査したが不明。 損害額 3,790 円
昭和 40 年	大 雄	火 災	5 月 3 日上町より出火、住家 11 棟、非住家 7 棟全焼。
	横 手	雪 害	1 月と 2 月は概ね平年並みの降雪だったが、2 月下旬から 3 月にかけて冬型の気圧配置が強まり 3 月としては 20 年来の大雪となり、市民生活に大きな障害が出た。このため 3 月 13 日～16 日自衛隊の出動を要請し、隊員 110 名、車両 7 台をもって道路の除雪を行った。 主な被害は ・1 月 24 日睦成字上真山で倉庫 165 m ² 全壊、中型貨物車一部破損、1 名右足骨折を負う。 ・2 月 6 日雄物川町雄南小学校体育館（木造平屋建 297 m ² ）倒壊。 ・3 月 5 日鍛冶町で木造平屋建て倉庫 182 m ² 全壊、車両 2 台破損、商品多数に被害。 ・3 月 5 日柳町（現中央町）映画館木造一部 2 階建の客席部分 122 m ² 、2 階客席天井部分破損。 ・3 月 17 日大屋沢にて幅 10m 高さ 30m の雪崩が発生、死者 2 名（46 歳、16 歳男性）、負傷者 2 名。 ・3 月 17 日山内役場 30 m ² が潰れ、職員 3 名負傷。 ・3 月 24 日山内小松川地内で薪の上の雪が崩れて、1 名死亡。
	大 雄	水 害	4 月 21 日雪どけ水のため、田根森地内の県道、村道 3 カ所が一時通行不能となる。
	横 手	水 害	7 月 15 日、前日からの降水量は 105mm に達し横手川は増

			水、旭岡橋流失、中小河川の川田橋、野中橋、中杉沢橋が流失、横手川付近住民は高地へ避難、公共施設、農地道路、堤防等に甚大な被害を受ける。浄水場の被害で飲料水の供給が途絶、湯沢市、増田町より応援を受ける。床上浸水 1,150 棟、床下浸水 3,142 棟。死者行方不明者なし。 (災害救助法適用)
	大 森	水 害	7 月 15 日豪雨により大納川、上溝山城堰流域の橋の流失 5 ヲ所、山崩れ 5、護岸決壊 2、道路決壊、路面の流失 16 ヲ所、床上浸水 46、床下浸水 64 戸。横荘鉄道雄物川架橋の橋脚沈下。
	山 内	水 害	7 月 15 日豪雨により、橋脚の流失損壊 15 ヲ所の外、道路の決壊、農地等の流失埋没、建物の全半壊 6、床上浸水 20、床下浸水の 55 戸の被害を出した。損害額 13, 445 万円。 (村分)
	横 手	火 災	12 月 4 日四日町上町（現四日町 6 番）商店より出火、住家 1 棟非住家 3 棟全焼、非住家 1 棟半焼、住家 2 棟非住家 1 棟部分焼で延べ 1,513 m²焼失。市の中心街であり店舗、住宅が密集しており、建物の外動産 5, 277 万円余りの被害を出す。
昭和 41 年	大 森	水 害	3 月 5 日融雪により床上浸水 1 戸、床下浸水 35 戸。
	大 森	水 害	6 月 28 日～29 日豪雨により橋脚の流失 2 ヲ所、床上浸水 17 戸、床下浸水 51 戸、一部損壊 14 ヲ所。
昭和 43 年	山 内	雪 害	1 月 22 日山内村三又字松沢の砂防ダム建設工事現場で、長さ 100m、幅 20m、厚さ 2m の雪崩が発生、作業員 3 名が生き埋めとなり死亡。
昭和 44 年	大 森	火 災	4 月 27 日坂部小学校全焼。
	増 田	水 害	集中豪雨で戸波橋の一部が流失する。
昭和 45 年	増 田	地 震	東成瀬地震で震度 3 を記録、被害総額 4,000 万円。
	増 田	火 災	4 月 25 日雄平酪農組合職員寮より出火、寮及び隣接板金会社倉庫を全焼。
昭和 46 年	横 手	水 害	7 月 3 日断続的な降雨により横手川増水、床上浸水 5 棟、床下浸水 125 棟。
	大 森	水 害	7 月 3 日豪雨により床上浸水 8 戸、床下浸水 74 戸。
昭和 47 年	山 内	水 害	2 月 2 日～3 日集中豪雨により村内 4 河川が氾濫し、橋梁の流失 2 ヲ所の外、道路の決壊、農地の流失冠水、床上浸水 13 戸。
	十 文 字	水 害	8 月 2 日～3 日雷を伴う降雨により各河川増水、下仁井田地

昭和 48 年	大 森	火 災	区で床下浸水 36 棟。 1 月 9 日袴形保育園より出火、保育園併用住宅 1 棟全焼。損害額 776 万円。
昭和 49 年	横 手	雪 害	明治 27 年秋田气象台設置依頼最多の降積雪となり、1 月 11 日市では豪雪非常事態を宣言、1 月 25 日夜半から降り出した雪は一晚に 68 c m、27 日の朝は積雪 2.35m となる。市民が一斉に雪下ろしを始めた柳町（現中央町）では、2 階から家へ出入りする状態。交通は途絶、列車も全て止まった。県への自衛隊派遣を要請、28 日 205 名、29 日 120 名、山形から 85 名が到着、搬入した重機を駆使し 1 週間を要する除雪が昼夜を通して実施された。 2 月 14 日、15 日最高積雪 2.4m を記録。 1 月 31 日からは国鉄の外、横手大森線が不通となり学生、通勤者等徒歩で通学通勤する状態が 3 日間続いた。山内では 1 月 25 日～27 日降雪量 2.6m、積雪量 4 m。小学校は臨時休校。また、農林関係では果樹を中心に 33 億円の被害に及んだ。
昭和 50 年	横 手	火 災	8 月 30 日新坂町市立鳳中学校体育館より出火、体育館 841 m ² 焼失。原因不明、損害額 2,124 万円。
	雄物川	火 災	12 月 19 日常野より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 1 名。
	雄物川	火 災	2 月 18 日中島より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 1 名。
	大 雄	水 害	8 月 6 日集中豪雨により、雄物川大上橋が大雄村側 64m 流失した。
昭和 51 年	大 森	水 害	8 月 7 日豪雨により大納川氾濫、五日町、菅生田、昼川などで住宅の半壊 1、非住家半壊 3、床上浸水 184 戸、床下浸水 169 戸。横沢橋、極楽寺橋流失。
	大 森	火 災	10 月 21 日剣花より出火、住家 1 棟非住家 1 棟全焼、非住家 1 棟部分焼、焼死者 1 名。（火元 55 歳男性）
	横 手	火 災	1 月 2 日寿町より出火、店舗併用住宅 2 棟全焼、部分焼 1 棟、焼死者 2 名（火元 4 歳、3 歳男児）負傷者 1 名。
	横 手	風 害	3 月 31 日強風により住家、非住家 158 棟に被害、車庫ビニールハウスにも被害、横手西中学校、金沢小学校のトタン屋根剥がれる。新築工事中のビルの足場パイプが隣の風呂屋に倒れる。
	大 森	風 害	3 月 31 日強風により、全壊非住家 9 棟、半壊住家非住家 18 棟、一部損壊 185 棟、公共施設 15、その他 3 に被害。
	横 手	火 災	4 月 4 日田中町より出火、店舗併用住宅 2 棟、住家 4 棟全

昭和 52 年	山 内	火 災	焼、損害額 3,949 万円。
	雄物川	火 災	4 月 21 日黒沢より出火、木造一部 2 階建住家 1 棟全焼、焼死者 1 名、負傷者 1 名。損害額 531 万円。
	増 田	火 災	1 月 14 日今宿より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 1 名。
昭和 54 年	増 田	火 災	1 月 24 日増田字下川原より出火、仏壇工場 1 棟 (1,400 m ²) 全焼。損害額 1 億 640 万円。
	十 文 字	風 害	3 月 31 日新築中の住宅全壊 1 棟、一部破損 2 棟、非住家全壊 8 棟、屋根の被害、その他住宅被害 37。
	大 雄	風 害	3 月 31 日明朝より強風となり、住家 92、非住家 91 に被害、立木 195 本、役場総合車庫が倒壊、車両 5 台が損壊した。
昭和 55 年	山 内	火 災	4 月 23 日大松川より出火、住家 1 棟非住家 2 棟全焼、負傷者 1 名、損害額 1,373 万円。
	大 森	火 災	10 月 15 日八日町より出火、住家 4 棟全焼、3 棟部分焼。損害額 2,670 万円。
	大 森	火 災	6 月 26 日文天鏡田レストランパークより出火、非住家 1 棟全焼。損害額 2,757 万円。
	増 田	火 災	12 月 23 日湯野沢より出火、作業所併用住家 1 棟全焼。損害額 3,092 万円。
昭和 56 年	全 域	台 風	8 月 23 日台風 15 号による被害。住家全壊 1、一部損壊 15、非住家全壊 4、半壊 27、屋根の被害住家非住家 40、土砂崩れ 2 ヲ所、堤防決壊 8 ヲ所。
昭和 57 年	平 鹿	火 災	11 月 25 日秋南火工佐藤煙火工場爆発火災、2 棟全壊、3 棟半壊、28 棟ガラス等に被害。死者 2 名。
	横 手	火 災	5 月 15 日金沢中野、市立金沢中学校体育館用具室付近より出火、木造 2 階建校舎 2,244 m ² 焼失。損害額 5,142 万円。出火原因不明。なお、この年 5 月に入ってから放火と思われる火災が発生し、同中学校でも 5 月 8 日に不審火による出火があり、学校、市教育委員会、警察などで警戒警備に当たっていた矢先であった。
	大 森	火 災	5 月 17 日上野花火工場秋田火工爆発火災。非住家 4 棟全焼、周辺の約 90 棟で外壁、窓ガラス等破損。負傷者 2 名。損害額 509 万円。
昭和 58 年	雄物川	火 災	12 月 11 日二井山より出火、非住家 1 棟全焼。焼死者 1 名。
昭和 60 年	十 文 字	雪 害	1 月 14 日十文字文化センターの屋根の雪が、隣接する十文字中学校体育館西側用具室屋根に落下、中央部分 10m 倒壊する。
	横 手	火 災	1 月 23 日神明町のアパートより出火、同アパートを全焼、

昭和 61 年	増 田	火 災	部分焼 1、焼死者 2 名、負傷者 1 名。 2 月 4 日増田字七日町より出火、店舗併用住家 1 棟全焼、1 棟部分焼、負傷者 1 名。損害額 3,265 万円。
	山 内	火 災	3 月 23 日大沢より出火、全焼木造一部 2 階建住家 1 棟、半焼非住家 1 棟、焼死者 1 名。損害額 1,094 万円。
	雄物川	火 災	6 月 21 日童子ヶ沢より出火、森林 5a 焼失、焼死者 1 名。
	横 手	水 害	8 月 6 日雷雨により河川増水、床上浸水 9、床下浸水 109、屋根の被害 8、堤防決壊 1、崖崩れ 3、道路損壊 2 ヲ所。
	横 手	雪 害	2 月 14 日婦気大堤で木造平屋建倉庫 60 m ² が雪の重みで倒壊。
昭和 62 年	雄物川	雪 害	2 月 14 日矢神で農機具格納庫 130 m ² が雪の重みで倒壊。
	大 森	火 災	3 月 25 日五日町傳福寺より出火、寺院併用住家 1 棟全焼。
	横 手	風 害	3 月 25 日強風により飛んできた戸が当たり 61 歳女性負傷。非住家全壊 15、半壊 6、一部損壊 111。
	増 田	風 害	3 月 25 日増田高校特別棟の屋根が 174 m ² 剥離。
	平 鹿	風 害	3 月 25 日 58 歳男性が強風により屋根より転落負傷する。蛭野小学校体育館屋根 112 m ² 、同校舎と体育館の渡り廊下の屋根 33 m ² 剥離。
	横 手	水 害	8 月 16 日～17 日豪雨により横手川が増水、館地区、大沢地区、幸町の堤防決壊。栄地区の住宅横の土砂が流失。
	増 田	水 害	8 月 16 日～17 日床下浸水非住家 2、地滑り 2、道路決壊 3、河川の決壊 13 ヲ所。
	平 鹿	水 害	8 月 16 日～17 日床下浸水 14 棟。
	雄物川	水 害	8 月 16 日～17 日、8 月 28 日～29 日にかけて 2 度の集中豪雨で雄物川堤防決壊。5 億 6 千万円の被害。
	大 森	水 害	8 月 16 日～17 日床下浸水住家 4 棟、非住家 9 棟。
昭和 63 年	十 文 字	水 害	8 月 16 日～17 日床下浸水住家 7 棟。 8 月 29 日床下浸水住家 5 棟。
	山 内	水 害	8 月 16 日～17 日の豪雨により河川の決壊、橋梁、道路流失、床下浸水 11 戸の被害。
	十 文 字	火 災	2 月 26 日十五野新田より出火、住家 3 棟、非住家 1 棟全、住家 1 棟部分焼。
	横 手	火 災	8 月 1 1 日黒川字悪戸、寺院より出火、寺院併用庫裏 1 棟全焼、部分焼 3 棟。この火災で 50 k g ガスボンベが爆発、約 40m吹き飛ぶ。
	山 内	火 災	11 月 8 日筏より出火、木造 2 階建住家 1 棟、非住家 1 棟全焼。焼死者 1 名、損害額 2,511 万円。

平成元年	平 鹿	火 災	6 月 11 日樽見内耕新農場より出火、非住家全焼 3 棟、半焼 10 棟（いずれも鶏舎）、鶏 30,000 羽、鶏卵 3,000 k g 焼失。損害額 4,124 万円。
平成 2 年	雄物川	火 災	7 月 22 日東里より出火、住宅 1 棟全焼、焼死者 1 名。
	大 雄	火 災	2 月 4 日西中島より出火、木造 2 階建作業上併用住家全焼。焼死者 1 名（男性 17 歳）、負傷者 1 名（19 歳男性）。
	十文字	火 災	3 月 1 日谷地新田より出火、住家 2 棟、非住家 3 棟全焼、住家 3 棟、非住家 1 棟部分焼。
平成 3 年	全 域	台 風	9 月 28 日台風 19 号により非住家全壊 10 棟、半壊住家 15 棟をはじめ、住家非住家 1,071 棟、文教施設 24、農業施設等、多くの被害。また、煙突修理中の 64 歳男性が強風により転落負傷する。
平成 5 年	平 鹿	火 災	4 月 5 日伊勢堂より出火、住家 3 棟全半焼、焼死者 1 名、損害額 5,584 万円。原因放火。
	横 手	火 災	10 月 4 日城西町の飲食店より出火、店舗住家 1 棟全焼、焼死者 2 名、負傷者 1 名。
平成 6 年	平 鹿	火 災	4 月 19 日桑ノ木より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 3 名。損害額 1,447 万円。
	増 田	火 災	7 月 27 日縫殿より出火、工場併用住家 1 棟全焼、消防士 1 名負傷。損害額 9,871 万円。
平成 7 年	大 森	水 害	8 月 16 日～17 日集中豪雨により、檜岡川、猿田川、上溝川が増水、土砂崩れ 5 ヲ所、道路陥没 3 ヲ所、通行止め 4 ヲ所、床上浸水 12 棟、床下浸水 18 棟、田畑冠水 111ha。
平成 8 年	平 鹿	火 災	3 月 1 日阿弥陀田より出火、住家 1 棟全焼、非住家 1 棟部分焼、住家 1 棟ぼや、焼死者 1 名（女性）。原因囲炉裏炬燵の不始末。
	雄物川	火 災	9 月 15 日砂子田地内住家 1 棟 149 m ² 全焼。損害額 1,887 万円。原因仏壇ローソクの不始末。
	山 内	火 災	10 月 14 日土渕より出火、住家 1 棟 306 m ² 全焼。負傷者 2 名、損害額 2,104 万円。原因たばこの不始末。
平成 9 年	十文字	火 災	3 月 16 日植田地内住家 1 棟 252 m ² 全焼。死者 2 名、損害額 1,525 万円。原因フライパン加熱の疑い。
	横 手	火 災	9 月 30 日、蛇の崎町住宅密集地より出火、住家全焼 3 棟、部分焼 2 棟 488 m ² 焼失と、非住家 4 棟ぼや、一酸化炭素中毒及び火傷者 2 名。損害額 5,785 万円。
平成 10 年	横 手	火 災	2 月 23 日赤坂より出火、全焼住家 1 棟、非住家 1 棟、部分焼住家 2 棟。損害額 2,300 万円。

平成 11 年	雄物川	火 災	4 月 20 日谷地新田地内非住家（空き屋）1 棟 395 m ² 全焼。損害額 2,643 万円。
	横 手	水 害	7 月 28 日梅ノ木後外 4 町内が降り始めから短時間に 65mm の局地的な大雨により、床上浸水 4 棟、床下浸水 31 棟、道路冠水 4 ヲ所など、市民生活に大きな影響を及ぼす。
	雄物川	火 災	1 月 31 日東里より出火、住家併用豚舎 1 棟 400 m ² 焼失。豚 80 頭、損害額 2,260 万円。
	雄物川	雪 害	3 月 3 日沼館で倉庫（土蔵造）の張り出し部分 217 m ² が雪の重みで損壊し車両 6 台全半壊。
	横 手	火 災	3 月 16 日中央町住家 1 棟 227 m ² 全焼。損害額 3,087 万円。
	増 田	風 害	3 月 22 日低気圧接近による強風のため、住家、非住家 5 棟屋根トタン剥離、杉、樅の木多数倒木し電線に被害有り。（最大瞬間風速 28m 増田分署計測）
	平 鹿	風 害	同日 住家、非住家 8 棟屋根トタン剥離。
	十 文 字	風 害	同日 住家、非住家 8 棟屋根、壁体トタン剥離、農業施設等に被害多い。
	雄物川	風 害	同日 沼館八幡神社境内の樹齢 150 年、100 年の杉倒木。
	大 雄	風 害	同日 屋根トタン修理中突風にあおられ転落受傷（重症）。
平成 12 年	山 内	火 災	4 月 22 日三又より出火、全焼住家 1 棟、非住家 2 棟 390 m ² 焼失。焼死者 1 名。
	十 文 字	水 害	4 月 27 日佐賀会地内皆瀬川右岸河川敷（旧堤防）大雨に融雪が加わり幅 20m にわたり崩落、木流し工法行う。
	横 手	火 災	5 月 5 日赤坂より出火、全焼非住家 2 棟、669 m ² 焼失。
	雄物川	火 災	9 月 3 日東里より出火、全焼住家 1 棟、半焼住家 1 棟、住家併用作業場 1 棟、ぼや 1 棟の 645 m ² 焼失。
	平 鹿	火 災	9 月 14 日祭典用の曳き山車 1 台焼損、負傷者 3 名。
	平 鹿	風 害	5 月 8 日竜巻により範囲幅 150m×長さ 300m の住家 9 棟、非住家 12 棟に被害。
	全 域	風 害	12 月 19 日正午過ぎから突風による被害発生、住家、非住家 37 棟の屋根トタン剥離、瞬間最大風速 31m を記録する。
	横 手	火 災	3 月 7 日幸町より出火、住家 2 棟 419 m ² 全焼、類焼 2 棟。損害額 9,572 万円。
	雄物川	火 災	4 月 11 日沼館より出火、住家 1 棟 121 m ² 全焼、焼死者 1 名。損害額 1,241 万円。
	増 田	火 災	4 月 27 日山林 4 ha 杉立木 280 本焼失、防災ヘリコプター「なまはげ」出動する。
平成 13 年	横手・山内	水 害	8 月 1 日集中豪雨により横手川が警戒水位に達し、横手で

平成 14 年	横 手	火 災	は降り始めから 155mm、山内で総雨量 214mm を記録した。両地区では建物、農業、道路関係に大きな被害をもたらした。損害総額、横手 1 億 6,800 万円、山内、5 億 3,900 万円。
	増 田	火 災	1 月 7 日石町より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 1 名。損害額 1,791 万円。
	全 域	土砂水害	2 月 25 日火石田より出火、住家 1 棟全焼、焼死者 1 名。損害額 1,187 万円。
	横 手	土砂水害	7 月 10 日～11 日台風 6 号により各地で土砂災害が発生、雄物川町では雄物川増水のためスイカ、水稻など 52ha に被害。
	横 手	土砂水害	8 月 1 日～2 日集中豪雨により市内 7 ヲ所土砂災害が発生し 30 棟に床下浸水などの被害。
	横 手	土砂水害	8 月 19 日～20 日台風 13 号による豪雨のため市内 6 ヲ所に土砂災害発生。道路冠水 14 ヲ所、根岸町、神明町、荒沼地区等で 70 棟 100 世帯が床下浸水等の被害を受ける。
	山 内	火 災	9 月 13 日三又地内製材所 1 棟 477 m ² 全焼。損害額 1,310 万円。原因アセチレンバーナーによる飛び火の疑い。
	全 域	風 害	10 月 1 日～2 日台風 21 号の強風被害が発生、立木倒木 6、農業用施設倒壊、損壊など 69 棟、リンゴの倒木落下など被害 177ha に及ぶ。
平成 15 年	大 森	火 災	10 月 7 日西野共同住宅 97 m ² 部分焼。損害額 1,888 万円。
	大 森	火 災	5 月 5 日川西で住家 1 棟 262 m ² 全焼。損害額 2,583 万円。原因ガスコンロの消し忘れ。
	十 文 字	風 害	6 月 20 日台風 6 号から変わった低気圧の強風のため、農業用ハウスの被覆ビニール剥離、損壊など 25 棟に被害が発生する。
平成 16 年	山 内	火 災	8 月 17 日相野々で店舗併用住宅 2 棟 763 m ² 全焼。損害額 4,897 万円。原因 お盆送り火の灰の不始末。
	横 手	火 災	12 月 5 日朝日が丘で住家 1 棟 149 m ² 全焼。焼死者 1 名。
	横 手	火 災	12 月 11 日南町で住家 2 棟 219 m ² 全焼。損害額 1,280 万円。
	横 手	火 災	2 月 14 日大町地内で旅館 1 棟 999 m ² 全焼。損害額 11,388 万円。
	増田.雄物川.十文字	水 害	7 月 17 日～18 日の集中豪雨のため、増田町道路法面 6 ヲ所崩落、十文字町、雄物川町で河川敷農作物に被害。損害額 9,042 万円。
	大 森	火 災	11 月 7 日八沢木地内縫製工場 1 棟 531 m ² 全焼、負傷者 3 名。

平成 17 年	増 田	火 災	損害額 5,618 万円。
	横 手	火 災	12 月 9 日 亀田地内住家 1 棟 342 m ² 全焼、焼死者 1 名。
	横 手	火 災	8 月 31 日 赤坂地内住家 173 m ² 全焼。損害額 2,581 万円。
平成 18 年	横 手	火 災	9 月 20 日 平和町地内住家 173 m ² 全焼、負傷者 3 名。損害額 1,687 万円。
	全 域	雪 害	11 月 15 日 金沢地内住家全焼 1 棟、半焼 1 棟、部分焼 5 棟、ぼや 2 棟、延べ 420 m ² 焼失。損害額 1,515 万円。
	十 文 字	火 災	17 年 12 月中旬から本格的に雪が降り始め、1 月下旬には最深積雪 190cm（山内）を記録、各地域局で雪害対策部が設置された。雪に起因した事故も多発し、人的事故（救急搬送）は 56 件（内死者 2 名）、建物被害 25 棟及び農業施設 28 棟など損害額は 2,000 万円以上に及ぶ。
平成 19 年	平 鹿	火 災	1 月 6 日 上鍋倉地内アパート 491 m ² 全焼。損害額 3,885 万円。原因たばこの不始末。
	雄 物 川	火 災	1 月 23 日 浅舞地内住家全焼 1 棟、部分焼 1 棟、419 m ² 焼失。損害額 1,616 万円。
	平 鹿	火 災	5 月 5 日 上西野地内住家 1 棟 293 m ² 全焼。損害額 2,451 万円。
平成 20 年	横 手	火 災	2 月 10 日 浅舞地内店舗併用住家より出火、全焼 4 棟、部分焼 1 棟、延べ 1,696 m ² 焼失。負傷者 2 名、損害額 11,003 万円。
	山 内	火 災	2 月 17 日 外ノ目地内住家 1 棟 272 m ² 全焼。死者 1 名、損害額 1,114 万円。
	山 内	火 災	3 月 26 日 平野沢地内住家 1 棟 161 m ² 全焼。死者 1 名。
平成 20 年	平 鹿	火 災	5 月 23 日 山内土湊林野火災発生秋田県消防防災ヘリコプター「なまはげ」出動要請。焼失面積 1ha、15 年生杉立木 1,967 本焼損。
	全 域	雪 害	11 月 18 日 醍醐地内住家 1 棟 135 m ² 全焼。死者 1 名。
	増 田	火 災	降積雪量は平年並みであったが 19 年 11 月中旬より雪による人的被害（除雪作業中の事故、雪道歩行中の転倒等）が多発し、20 年 3 月上旬まで延べ 42 名が救急搬送される。（死亡 2 名、重傷 9 名、中等傷 12 名、軽傷 19 名）
平成 20 年	大 森	火 災	1 月 1 日 増田字関ノ口地内で住家 1 棟 221 m ² を全焼。損害額 2,680 万円。原因灯明の不始末。
	横 手	火 災	4 月 5 日 板井田地内で住家 1 棟半焼。死者 1 名。
	横 手	火 災	7 月 3 日 南町住家 2 棟全焼、4 棟ぼや。焼損面積 171 m ² 。損害額 1,724 万円。原因たばこの不始末。

平成 21 年	横 手	火 災	8 月 2 日清水町地内住家 1 棟全焼、2 棟部分焼。焼損面積 262 m ² 、1 名負傷。損害額 1,002 万円。原因配線半断線による短絡の疑い。
	大 森	火 災	11 月 19 日袴形地内住家 1 棟全焼、非住家 1 棟ぼや。焼損面積 403 m ² 、負傷者 1 名、損害額 1,190 万円。原因いぶり大根火の不始末。
	横 手	火 災	12 月 13 日横手町地内住家 2 棟全焼、部分焼 2 棟、非住家 1 棟半焼。焼損面積 226 m ² 、負傷者 1 名、損害額 1,331 万円。原因反射式ストーブ取り扱い不良。
	横 手	火 災	12 月 28 日平和町地内店舗併用住宅より出火、住家 2 棟全焼、非住家 1 棟ぼや。焼損面積 219 m ² 、損害額 2587 万円。原因放火。
	十 文 字	火 災	1 月 19 日日本町地内で店舗併用住宅より出火、住家 1 棟全焼、2 棟部分焼、ぼや 1 棟。焼損面積 324 m ² 、損害額 31,244 万円。
	横 手	火 災	2 月 8 日朝日が丘地内住家 1 棟全焼。焼損面積 168 m ² 、損害額 2,496 万円。
平成 22 年	大 森	火 災	4 月 30 日板井田地内住家 1 棟全焼、1 棟ぼや、非住家 1 棟全焼。焼損面積 455 m ² 、損害額 1,365 万円。
	雄 物 川	火 災	4 月 23 日谷地新田地内住家 1 棟全焼、1 棟部分焼、1 棟ぼや、非住家 1 棟ぼや。焼損面積 158 m ² 。死者 1 名。
	雄 物 川	風水害	7 月 3 日、雄物川地区で短時間に局地的な大雨、突風により床下浸水 65 棟、突風被害 2 棟、法面崩壊 6 箇所、道路冠水 6 箇所、県道通行止め 1 箇所、停電 1,400 戸のほか、農地冠水などに被害が及ぶ。
平成 23 年	山 内	火 災	9 月 26 日土渕地内住家 1 棟全焼。焼損面積 184 m ² 、死者 1 名。
	平 鹿	火 災	樽見内地内豚舎 1 棟 653 m ² 全焼。損害額 1,067 万円。
	全 域	雪 害	1 月から 2 月上旬にかけ記録的な大雪となり、1 月 24 日横手市雪害対策本部を設置。2 月 1 日には山内分署観測で最深積雪 228 c m を観測する。雪害も多発し、除雪中の事故で 65 名（死亡 6 名、重傷 19 名、軽傷 43 名）、歩行中の転倒などで 34 名が救急搬送される。また、建物被害は住家一部破損 71 棟、非住家全壊 29、半壊 13、一部破損 114 棟、農業関係被害は 36 億 7 千万円以上に及んだ。
	全 域	地 震	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災） 3 月 11 日 14 時 46 分三陸沖でマグニチュード 9.0 の地震が

平成 24 年			発生、東北太平洋側を中心に津波による甚大な被害が発生した。横手市で震度 5 弱を観測。管内ではこの地震による人的、物的被害はなかったものの、全域が停電となりライフラインに大きな影響が出た。また、3 月 11 日から 31 日まで岩手県に 13 隊延べ 41 名、4 月 13 日から 17 日、25 日から 28 日まで宮城県に 2 隊延べ 10 名の緊急消防援助隊を派遣した。
	全 域	地 震	4 月 7 日東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の余震により震度 5 強を観測。翌日まで市内全域が停電となる。
	全 域	水 害	6 月 23 日から 24 日にかけての大雨により山内地区の秋田自動車道法面崩落により住家 1 棟が全壊したのをはじめ、住家床下浸水 8 棟、非住家床下浸水 7 棟、崖崩れ 8 箇所の被害。
	横 手	火 災	7 月 5 日秋田自動車道上り線 48.6k p、普通貨物自動車 1 台焼損。損害額 1,061 万円。
	平 鹿	火 災	9 月 7 日醍醐地内農作業小屋 1 棟 207 m ² 全焼。損害額 1,039 万円。
	全 域	風 害	12 月 4 日秋田県全域に暴風警報が発令され、強風により屋根トタンの剥離 3 棟、街路灯 2 本倒れる。
	全 域	雪 害	雪による人的被害では、除雪作業中の事故が 35 件（軽傷 20 名、重症 15 名）、歩行中の転倒等が 25 件であった。建物被害では、住家一部破損が 4 棟、非住家全壊が 8 棟、半壊が 3 棟、その他倒壊が 2 件であった。
	雄 物 川	火 災	1 月 11 日雄物川町薄井住家 1 棟 200 m ² 全焼。怪我人 3 名、損害額 444 万円。
	平 鹿	火 災	3 月 3 日平鹿町醍醐住家 1 棟 219 m ² 、農作業小屋 139 m ² を全焼。死者 1 名、怪我人 1 名、損害額 1,281 万円。
	全 域	風 害	4 月 2 日に発生した温帯低気圧が、3 日 15 時には中心気圧が 972hPa に下がり、爆弾低気圧となった。3 日深夜から 4 日朝まで約 10 時間、平均風速 15m の強風が吹き、消防本部観測データでは 4 日 5 時 23 分に 36.7m の最大瞬間風速を記録する。横手市管内において人的被害なし。 約 13,900 戸で停電となり、建物被害 791 棟、農業施設被害 826 棟、農作物被害 22,845 m ² 、公共施設被害 146 施設、指定文化財被害 7 件、その他被害 240 件の被害が生じた。 被害総額は 933,729 千円（概算）。
	平 鹿	火 災	7 月 3 日平鹿町浅舞金属加工製造工場 1 棟 394 m ² 全焼。

平成 25 年	横手、平鹿 雄物川、十 文字、山内	水 害	損害額 3,944 万円。 7 月 5 日から 6 日にかけての大雨により、住家床上浸水 3 棟、床下浸水 65 棟、非住家の浸水 86 棟、農作物は 690ha を超える冠水被害が発生する。24 時間雨量では、7 月の観測史上最大となる 107.5 ミリを記録する。
	増 田	火 災	10 月 25 日増田町亀田地内で住家 1 棟、車庫 1 棟、物置 2 棟、計 4 棟全焼。怪我人 2 名。損害額 671 万円。
	平 鹿	火 災	12 月 12 日平鹿町浅舞地内で住家 1 棟 100 m²全焼、部分焼 1 棟、半焼 1 棟、焼損面積 219 m²。死者 2 名。
	全 域	雪 害	1 月 7 日大雪対策連絡部設置、2 月 21 日に雪害対策部に移行する。2 月 26 日には山内分署観測で最深積雪 225 c m を観測する。雪害も多発し、除雪中の事故で 35 名（死亡 3 名、重傷 15 名、軽傷 17 名）、歩行中の転倒などで 26 名が救急搬送される。また、建物被害は非住家全壊 4 棟、非住家半壊 9 棟、一部破損 3 棟であった。
	全 域	風水害	4 月 6 日から 8 日にかけての大雨及び強風により、雄物川河川公園が冠水し、平鹿町で屋根トタン剥離、山内で電線切断の被害が発生する。
	大 雄	火 災	5 月 10 日大雄地内、住家 1 棟 211 m²全焼、住家 1 棟 36 m²部分焼、木造車庫のタキロン若干燃焼。怪我人 1 名、損害額 415 万円。
	十 文 字	火 災	5 月 22 日十文字町越前地内、住家 1 棟 152 m²、物置 10 m²全焼、部分焼 1 棟 22 m²、死者 2 名、損害額 397 万円。
	横 手	火 災	5 月 26 日横手市上境地内、住家併用寺院の庫裡部分 412 m²及び、物置 40 m² 1 棟全焼。損害額 5,332 万円。
	大 雄	火 災	5 月 27 日大雄地内、住家併用作業小屋 1 棟 403 m²、車庫 16 m²、物置小屋 10 m²全焼。損害額 1,210 万円。
	平 鹿	風 害	8 月 20 日、強風により平鹿町上吉田地内で住家 1 棟屋根トタン剥離、非住家 2 棟全壊、1 棟半壊、4 棟一部破損、ビニールハウス一部倒壊の被害が発生する。
平成 26 年	横 手	火 災	9 月 4 日横手市前郷地内、遊技場 1 棟 1,171 m²のうち、672 m²を焼損。損害額 1,706 万円。
	横 手	火 災	3 月 24 日横手市柳田地内、住家 1 棟 208 m²全焼、住家 1 棟 30 m²、非住家外壁 22 m²部分焼、エアコン室外機、エアコン配管カバー 2 本、網戸 1 枚焼損。損害額 1,038 万円。
	横 手	火 災	4 月 5 日横手市杉目地内、住家 173 m²全焼。損害額 1,022 万円。

平成 27 年	横 手	火 災	5 月 6 日横手市下八丁地内、住家 1 棟 317 m ² 全焼、普通自動車 2 台、廃車 1 台焼損。住家の外壁及び窓 133 m ² 、55 m ² 部分焼。損害額 4,278 万円。
	横 手	火 災	6 月 28 日横手市清川町地内、住家 228 m ² 全焼、車庫外壁 16 m ² 部分焼、住家 25 m ² 、24 m ² 部分焼。怪我人 1 名。損害額 903 万円。
	横手、大森 平鹿	風 害	12 月 17 日から 18 日にかけて暴風雪により、看板割れ 1 件、電線より火花 6 件の被害が発生する。
	平 鹿	火 災	2 月 9 日平鹿町下鍋倉地内、住家 231.38 m ² 全焼、死者 2 名、損害額 555 万円。
	横 手	火 災	2 月 10 日横手市睦成地内、住家併用農作業場 455.36 m ² 全焼、怪我人 1 名、損害額 2,243 万円。
	横手、大森 増田、十文 字、雄物川	風 害	3 月 10 日から 11 日にかけて暴風雪により、住家・非住家屋根トタン剥離 7 件、道路に飛散物 2 件、非住家シャッターの中柱破損 1 件、その他風害 2 件の被害が発生する。
	横 手	火 災	4 月 30 日横手市金沢中野地内、住家 248.31 m ² ・農作業小屋 157.26 m ² ・物置小屋 39.66 m ² 全焼、パイプ車庫の壁及び屋根 53 m ² ・スピードスプレイヤー 1 台焼損、怪我人 1 名、損害額 1,823 万円。
	横 手 十 文 字	水 害	9 月 11 日台風 18 号による大雨の影響で、浸水 2 件、道路冠水 3 件、その他冠水 1 件の被害が発生する。
	横 手	火 災	9 月 26 日横手市横山町地内、下宿 417.07 m ² 全焼、住家屋根 36.41 m ² ・建具 1.09 m ² 部分焼、電気メーター及び外部コンセント・変電所の機械・普通自動車 5 台・軽自動車 2 台焼損、怪我人 1 名、損害額 6,837 万円。
	横 手	風 害	10 月 2 日午前 10 時頃、1 時間瞬間最大風速 18.5m、平均 10.4m の強風が発生。住家屋根トタン剥離 1 件、道路への倒木 2 件の被害が発生する。
	全 域	風 害	10 月 8 日から 9 日にかけて暴風により、住家・非住家屋根トタン剥離 10 件、倒木 2 件、その他風害 4 件の被害が発生する。
	増 田	火 災	10 月 15 日増田町亀田地内、住家 111 m ² 全焼、農機具格納庫外壁 3 m ² 及び窓ガラス 2 枚 (0.69 m ²)・柿立木 1 本・杉立木 1 本・街路灯 1 灯焼損、怪我人 1 名、損害額 120 万円。
	十 文 字	火 災	12 月 2 日十文字町睦合地内、住家 215 m ² ・物置 236 m ² 全焼、住家床面積 25 m ² ・表面積 50 m ² 焼損、軽乗用車運転席側フロント窓ガラス 1 枚破損、怪我人 1 名、損害額 1,504 万円。

平成 28 年	横 手	火 災	2 月 2 日横手市金沢本町字本町地内、住家 1 棟全焼、物置小屋 1 棟部分焼、車庫 1 棟部分焼、住家 1 棟部分焼、空き家 1 棟部分焼、カーポート 1 基ぼや、住家 1 棟ぼや、負傷者 1 名、損害額 715 万円。
	雄物川	火 災	2 月 14 日雄物川町南形字町屋敷地内、住家 1 棟全焼、パイプ車庫 1 基焼損、損害額 554 万円。
	横 手	火 災	2 月 20 日横手市上八丁字天神町地内、きのこ栽培小屋 2 棟全焼、きのこ栽培小屋 1 棟部分焼、農業用ビニールハウス 1 棟焼損、損害額 2,665 万円。
	増 田	火 災	2 月 26 日増田町増田字伊勢堂南地内、住家 1 棟全焼、住家 2 棟部分焼、損害額 1,000 万円。
	全 域	風 害	4 月 17 日から 18 日にかけて発生した強風により、住家、非住家トタン剥離 19 件、倒木 2 件の被害が発生する。
	増 田	火 災	5 月 3 日増田町増田字田町地内、住家 1 棟部分焼、死者 1 名、損害額 93 万円。
	横 手	火 災	6 月 11 日横手市安田字ブンナ沢地内、住家 1 棟全焼、負傷者 1 名、損害額 1,128 万円。
	横 手	火 災	9 月 20 日横手市赤坂字後野地内、住家 1 棟全焼、住家 1 棟部分焼、事務所 1 棟部分焼、スチールパイプ製車庫 1 基焼損、スチール製物置 1 台焼損、廃車 1 台焼損、普通自動車 1 台焼損、損害額 317 万円。
	増 田	火 災	1 月 11 日増田町戸波字姥懐地内、農作業小屋 1 棟全焼、農機具格納庫 1 棟部分焼、自家用軽貨物自動車 1 台焼損、杉立木 10 本焼損、損害額 1,629 万円。
	雄物川	火 災	1 月 21 日雄物川町今宿字西ノ在家地内、住家兼作業小屋 1 棟全焼、美容店併用住家 1 棟全焼、車庫兼倉庫 1 棟部分焼、住家 1 棟部分焼、農作業小屋 1 棟部分焼、死者 1 名、損害額 889 万円。
平成 29 年	大 森	火 災	4 月 6 日大森町上溝字松原地内、住家 1 棟全焼、住家 3 棟部分焼、作業場兼物置 1 棟部分焼、物置小屋 1 棟部分焼、負傷者 2 名、死者 1 名、損害額 798 万円。
	全 域	風 害	4 月 11 日から 13 日にかけて発生した強風により、人的被害 1 件、住家、非住家トタン剥離 9 件の被害が発生する。
	全 域	風 害	4 月 17 日から 18 日にかけて発生した強風により、住家、非住家トタン剥離 8 件の被害が発生する。
	横 手	火 災	5 月 4 日横手市朝倉町地内、物置小屋兼車庫 1 棟全焼、長屋住家 1 棟半焼、事務所 1 棟部分焼、スチール製物置 1 台

平成 30 年	山 内	火 災	焼損、損害額 2,223 万円。
	全 域	水 害	7 月 6 日横手市山内土渕字二瀬地内、店舗併用住家 1 棟全焼、住家 2 棟全焼、損害額 5,070 万円。
	横 手	火 災	7 月 22 日夕方より大雨となり、横手市では 1 時間の降水量 68.5mm、期間降水量 316.5mm と観測史上最大の降雨を記録し、大森地区、横手地区を中心に多くの浸水、冠水被害が発生した。人的被害は軽傷者 3 名、避難所からの救急搬送者 2 名、救助人員 21 名。物的被害は住家半壊 2 棟、床上浸水 210 棟、床下浸水 440 棟、道路損壊 34 箇所、崖崩れ 72 箇所、孤立状況は 94 世帯、255 名である。
	横 手	火 災	8 月 22 日横手市南町地内、下宿 1 棟全焼、空き家 2 棟全焼、物置 1 棟全焼、学童施設 1 棟部分焼、軽自動車 1 台焼損、普通自動車 1 台焼損、自動販売機 1 台焼損、死者 5 名、負傷者 10 名、損害額 1,671 万円。
	横 手 山 内	風 害	9 月 20 日上空約 5,500 メートルに氷点下 21 度前後の寒気を伴った低気圧に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が不安定となり、県南を中心に雷を伴った強い風雨に見舞われた。横手市では突風とみられる強風が発生し、倒木や住家の屋根が飛ばされるなどの被害が相次いだ。人的被害無し。住家一部破損 13 棟、非住家破損 33 棟、倒木被害 18 件。
	横 手	火 災	11 月 7 日横手市八幡字石町地内、長屋住宅 1 棟全焼、住家 2 棟部分焼、死者 1 名、損害額 108 万円。
	全 域	風 雪 害	3 月 1 日から 2 日にかけて発生した暴風雪により、住家住家一部破損 7 棟、公共建物 1 棟トタン剥離非住家倒壊 4 棟、剥離 4 件、車両の立往生 4 件、積雪による道路冠水 1 件の被害が発生する。
	増 田	火 災	4 月 13 日増田地内店舗兼住家 1 棟部分焼、死者 1 名。損害額 89 万円
	大 森	火 災	4 月 22 日袴形地内住家 1 棟、非住家 2 棟全焼、住家 1 棟、車庫 1 棟部分焼。損害額 1,855 万円。
	横 手	火 災	8 月 15 日卸町地内倉庫兼事務所兼作業場 1 棟全焼、倉庫 1 棟、お堂部分焼、軽貨物自動車 1 台焼損。損害額 3,316 万円。
	全 域	風 害	9 月 4 日から 5 日にかけて台風 21 号による強風の影響で、住家一部破損 4 棟、非住家トタン剥離 7 棟、倒木 4 件、公共建物 1 棟の被害が発生する。

平成31年	大 雄	火 災	10月4日田根森東地内住家1棟、非住家1棟全焼。損害額243万円。
	平 鹿	火 災	12月10日下吉田地内住家1棟全焼、損害額998万円。
	横 手	火 災	2月7日安田地内住家1棟全焼、負傷者1名。損害額256万円。
	平 鹿	火 災	2月9日上吉田地内住家1棟全焼、普通自動車1台、軽自動車1台焼損。損害額530万円。
	十 文 字	火 災	2月25日睦合地内住家1棟、住家2棟部分焼、お堂1棟焼損、負傷者1名。損害額742万円。
令和元年	横 手	火 災	3月25日杉目地内住家1棟非住家1棟全焼、非住家1棟部分焼、パイプ車庫焼損、普通自動車1台焼損。損害額553万円。
	増 田	火 災	4月6日増田地内住家1棟全焼、防犯灯1基焼損、負傷者1名、損害額266万円。
	全 域	風 害	5月20日強風の影響でトタン剥離住家5棟、非住家9棟、倒木1件の被害が発生する。
	十 文 字	火 災	6月2日梨木地内住家1棟全焼、住家2棟、非住家2棟損害額650万円。
	全 域	風 水 害	8月10日雷雨の影響で住家トタン剥離4棟、住家床下浸水3棟、落雷による被害2件、道路冠水4件、倒木5件の被害が発生する。
令和2年	横 手	火 災	9月25日八幡地内住家1棟全焼、負傷者2名、損害額1,720万円。
	雄 物 川	火 災	11月5日造山地内住家1棟全焼、死者1名、損害額461万円。
	横 手	火 災	12月6日金沢本町地内住家4棟、非住家3棟全焼、住家3棟部分焼、住家1棟ぼや、損害額3,116万円。
	全 域	風 害	3月20日強風の影響で住家一部破損4件、トタン剥離4件の被害が発生する。
	増 田	火 災	7月3日増田地内住家1棟全焼、死者1名、損害額2,324万円。
	平 鹿	火 災	10月20日下吉田地内住家1棟全焼、半焼1棟、部分焼2棟、負傷者1名、損害額1,391万円。
	平 鹿	火 災	11月6日醍醐地内住家1棟全焼、住家1棟部分焼、損害額1,258万円。
	大 森	火 災	12月12日板井田地内住家1棟全焼、住家1棟、非住家1棟部分焼、死者1名、負傷者1名、損害額484万円。

令和3年	雄物川	火災	12月15日西野地内住家1棟全焼、住家1棟、非住家1棟部分焼、損害額742万円。
	全域	雪害	1月4日積雪189センチメートルを記録し、横手市は大雪災害対策本部を設置。 1月6日から自衛隊による活動。 1月7日に災害救助法適用が決定。 2月5日に観測史上最大203センチメートルの積雪を記録。人的被害は死者3名を含む計79名。 建物被害は住家1棟、非住家19棟の全壊を含む計471棟。農業被害は農業用ハウス1844棟、作業小屋・畜舎等159棟の全壊を含む2707件の被害。
	増田	火災	1月11日亀田地内住家1棟全焼、損害額840万円。
	平鹿	火災	1月17日浅舞地内非住家1棟半焼、損害額645万円。
	全域	風害	2月16、17日強風の影響で住家一部破損38棟、トタン剥離住家56棟、倒木4件、負傷者1名の被害が発生する。
	大雄	火災	6月6日大雄地内住家1棟全焼、住家1棟部分焼、非住家1棟ぼや、損害額442万円。
	大森	火災	6月10日大森地内住家1棟全焼、非住家3棟全焼、住家1棟半焼、住家1棟部分焼、住家3棟部分焼、損害額8,547万円。
	全域	風水害	6月14日強風、大雨の影響で非住家全壊1件、一部破損3件、倒木3件、トタン剥離3件の被害が発生する。
	増田	火災	11月17日亀田地内住家1棟全焼、住家2棟ぼや、損害額843万円。
	十文字	火災	12月3日越前地内住家1棟全焼、住家1棟部分焼、住家2棟ぼや、非住家4棟部分焼、非住家1棟ぼや、損害額733万円。
令和4年	大雄	火災	4月11日大雄地内住家1棟部分焼、非住家2棟全焼、傷者2名、損害額210万円。
	山内	土砂	8月13日三又地内において大雨による土砂崩れが発生。人的、建物被害無し。同日、土湊地内で私道脇の法面が崩れたことによる住家1件の孤立が発生。人的、建物被害は無し。
	全域	風害	9月6日強風の影響で住家屋根トタン剥離1件、非住家屋根トタン剥離3件、一部破損1件の被害が発生する。
	横手	火災	9月10日安本地内非住家（工場）1棟半焼、傷者1名、損害額1億4092万円。

令和5年	平 鹿	火 災	9月19日浅舞地内住家1棟、非住家2棟全焼、住家1棟、非住家1棟部分焼、住家1棟ぼや、損害額2,283万円。
	大 雄	火 災	11月30日大雄地内住家1棟全焼、損害額410万円。
	横 手	火 災	12月28日杉沢地内住家1棟全焼、住家1棟ぼや、傷者1名、損害額100万円。
	平 鹿	火 災	4月2日中吉田地内住家1棟全焼、非住家1棟全焼、非住家部分焼1棟、損害額367万円。
	雄物川	火 災	5月3日沼館地内住家3棟全焼、住家2棟部分焼、非住家1棟部分焼、非住家1棟ぼや、傷者1名、損害額1,514万円。
	平 鹿	火 災	5月22日浅舞地内住家1棟全焼、死者1名、傷者1名、損害額120万円。
	横 手	火 災	5月27日田中町地内非住家（飲食店）1棟半焼、傷者2名、損害額317万円。
	横手、増田	水 害	7月15日から7月16日にかけて秋田県を中心に記録的な大雨となる。土砂崩れ2件、道路冠水2件、倒木2件の被害が発生する。
	平 鹿	火 災	8月31日樽見内地内住家1棟全焼、非住家1棟半焼、非住家1棟部分焼、損害額335万円。
	横 手	火 災	9月29日明永町地内住家1棟全焼、非住家1棟部分焼、傷者1名、損害額544万円。
令和6年	十文字	火 災	10月17日宝龍地内住家2棟全焼、死者1名、傷者1名、損害額318万円。
	雄物川	火 災	12月25日谷地新田地内住家2棟全焼、住家3棟部分焼、非住家2棟部分焼、住家1棟ぼや、死者1名、傷者2名、損害額2,229万円。
	横 手	火 災	1月11日黒川地内住家1棟全焼、住家2棟部分焼、損害額260万円。
	大 森	火 災	3月2日大森地内住家3棟全焼、住家1棟ぼや、非住家1棟部分焼、損害額6,217万円。
	増 田	火 災	4月7日熊渕地内ビニールハウス（牛舎）1棟、稲わら4ロール、ミニローダー1台、収容物及び自家用車2台焼損、傷者1名、損害額128万円。
	山 内	火 災	6月7日大松川地内林内作業車フォワーダ1台、積荷の杉原木2本焼損、損害額379万円。
	十文字	火 災	6月23日睦合地内住家1棟全焼、住家1棟部分焼、傷者4名、損害額861万円。
	全 域	水 害	7月24日から7月25日にかけて秋田県と山形県を中心に

令和 7 年	雄物川	火 災	記録的な大雨となる。孤立 2 件、崖崩れ 6 件、住家床上浸水 2 棟、住家床下浸水 36 棟、非住家床下浸水 13 棟の被害が発生する。(消防本部対応事案のみ)
	横 手	火 災	10 月 25 日南形地内工場のマシニングセンタ 2 基、エアコン 1 基焼損、損害額 1,970 万円。
	山 内	火 災	11 月 23 日安田地内軽乗用車 1 台、普通乗用車 1 台、合成樹脂製ストッカー 2 台、アルミ製台車 1 台焼損、損害額 154 万円。
	増 田	火 災	11 月 23 日土渕地内住家 1 棟全焼、非住家 1 棟部分焼、損害額 1,813 万円。
	横 手	火 災	11 月 24 日狙半内地内住家 1 棟全焼、住家 1 棟部分焼、損害額 1,329 万円。
	横 手	火 災	12 月 10 日大屋新町地内住家 1 棟全焼、非住家 1 棟部分焼、傷者 1 名、損害額 257 万円。
	横 手	火 災	2 月 19 日神明町地内住家 2 棟全焼、住家 1 棟半焼、非住家 1 棟全焼、軽自動車 1 台、消雪ポンプ用制御基板 1 基焼損、死者 1 名、損害額 4,983 万円。
	増 田	火 災	3 月 7 日吉野地内非住家 1 棟全焼、住家 1 棟部分焼、非住家 1 棟部分焼、普通乗用車 1 台焼損、損害額 763 万円。
	十文字	火 災	3 月 26 日佐賀会地内非住家 1 棟全焼、豚舎 2 棟全焼、損害額 2,229 万円。
	横 手	火 災	4 月 11 日蛇の崎町地内住家 1 棟全焼、住家 1 棟部分焼、共同住宅 1 棟半焼、死者 1 名、損害額 1,438 万円。
	大 森	火 災	4 月 16 日上溝地内住家 1 棟全焼、死者 1 名、損害額 2,346 万円。
	平 鹿	火 災	5 月 17 日浅舞地内住家 1 棟部分焼、住家 1 棟ぼや、非住家 1 棟全焼、非住家 1 棟半焼、損害額 293 万円。
	横 手	火 災	6 月 11 日睦成地内住家 1 棟全焼、非住家 3 棟半焼、死者 1 名、損害額 233 万円。
	平 鹿	火 災	8 月 5 日醍醐地内住家 1 棟全焼、住家 1 棟部分焼、非住家 2 棟部分焼、傷者 2 名、損害額 847 万円。
	雄物川	火 災	8 月 31 日大沢地内住家 1 棟全焼、非住家 1 棟全焼、非住家 1 棟部分焼、トラクター 1 台焼損、傷者 1 名、損害額 2,306 万円。
	全 域	風 害	12 月 15 日強風の影響で住家屋根トタン剥離 5 件、外壁剥離 1 件、非住家屋根トタン剥離 1 件、倒木 1 件、ホームタンク転倒 1 件の被害が発生する。